「ナ行」「ラ行」ノ如キモ彼等蕃人ニハ決シテ困難ヲ感ズルコトナシ唯發音上一ノ缺点トモ謂フベキハ彼蕃人ハ凡十二三歳ニ至レバ男女共ニ左右二門歯ヲ故ラニ缺損スルノ風習アルヲ以テ時トシテ發音ノ明瞭ヲ缺クモノナキニアラザルノミ

男女ノ記憶力　記憶力ニ關スル經驗ハ未ダ不完全ナルヲ免カレズト雖モ「ア行」「カ行」等ヲ素讀的ニ教授スルトキハ大抵二十回ニシテ男女共ニ記憶シ明瞭ニ素讀セシムルヲ得其記憶ノ持續力ニ至リテハ稍々薄弱ナル感アリ感ニ男子ハ女子ニ比シテ一層薄弱ナルモノヽ如シ是レ男子ハ狩獵等活潑ナル業務ニヨリテ其心理ヲ攪乱セラルヽコト女子ニ比スレバ甚シキニ基因スベシ

蕃人ノ患者治療法

蕃地ノ病氣ハ通例マラリヤ胃病眼病外傷病ニシテ其他ハ甚ダ稀有ナルガ故ニ其ノ療法ニ至リテ簡單ナリ故ニ平素ハ派出所員ニ豫メ此等普通ノ療法ヲ教ヘ主要ノ藥品及ビ二三ノ器具ヲ派出所ニ備ヘシメ適宜治療ヲ爲サシム從來ノ經驗ニ依レバ蕃人ニ施療セル藥効ノ現著ナルハ實ニ驚クベキ成績ヲ呈セリ撫墾署ニハ又醫術ニ經驗アル署員ヲ置キ時々蕃社ヲ巡回施療セシメ又派出所員ノ治療ヲ監督シ藥品器具ヲ補給セシムル此署員ニハ時期ヲ計リテ順次各蕃社ニ種痘ヲ爲サシムルコト最モ緊要ナルコトヽス蕃人亦之ヲ希望シ居レリ

蕃人ノ衣食住改良

蕃人ノ衣食住ハ何レモ不完全ニシテ風俗及ビ衞生ノ點ヨリ改良スベキモノ少カラズト雖モ其最モ急務ナルハ左ノ如シ

一、男子ニ半袴ヲ著用セシムルコト是レマラリヤ寒冒及ビ外傷ヲ豫防シ得ルノミナラズ風俗上ニモ最モ必要ナルコトニシテ加フルニ彼ノ森林放火ヲ禁止スルニハ須ラク之ヲ奬勵セザルベカラズ

二、食ノ改良ニ就テハ先ヅ農業ヲ奬勵シ家畜ヲ繁殖セシメ味噌豆腐等ノ簡易ナル滋養食品ノ製造法ヲ教ヘ漸次滋養材料ヲ增加シテ其調理法ヲ敎習セシムルニ在リ

三、住宅ノ改良ハ先ヅ入口ニ戸扉壁ニ窓ヲ設ケシメ臥寢ハ悉ク床上ニ於テセシムルコト最モ必要ナリ

右ノ外食事ノ際ハ碗箸ヲ使用セシメ朝ハ手足及ビ顔面ヲ清洗セシメ且ツ大小便所ヲ設ケテ之ヲ肥料ニ利用セシムルコトヲ必要トス又住宅ノ近傍ハ常ニ掃

除セシメ樹木草花ヲ其周圍ニ植エシメ以テ清潔ト天然ノ美トヲ好樂セシムルコト必要ナリ

又蕃人ヲシテ職業ニ勤勉シ秩序的ニ勞働セシムル樣漸次其生活ノ情態ヲ改良スルコト必要ナリ若シ從來ノ如ク遊獵魚漁等自然物ノ收獲ニノミ甘ンジテ秩序的ニ勞働セズ職業ニ依賴シ安ンジテ衣食ヲ獲ルノ方ヲ知ラシメザル時ハ或ハ原因ナキノ結果ヲ收メント企テ或ハ安閑トシテ惰眠ニ陷リ或ハ感情ヲ一時ニ迸發スル等ノ危害ナキ能ハズ然レドモ若シ彼等ニ秩序アル職業ヲ與ヘ常ニ之ヲ勤勉セシムルトキハ彼等ハ其精力ヲ規則的ニ適當ニ消費スルガ故ニ一時ニ感情ヲ迸發スルノ餘裕ナク自然ノ慣習ハ遂ニ彼等ヲ柔化シテ順良和朴ノ民タルニ至ラシムルヲ得ベシ實ニ定職ヲ與ヘテ秩序ヲ立ツルコトハ彼等ヲ野蠻ヨリ救ヒテ文明ニ進マシムルノ一楔子ナリ

蕃社ニ入リテ親シク彼等生活ノ狀態ヲ觀ルニ老幼男女相睦ミ互ニ無我ニ談笑スル樣如何ニモ樂天的ナルガ如シ是レ實ニ彼等ノ賞スベキ美風ナレバ彼等ノ生活ヲ改良スルニ當リ此等美風ノ保存ニ注意スルヲ要ス

彼等時アリテ兇暴獰猛ヲ逞フシ生血ヲ軟リテ平然タリト雖モ若シ復心ニ入ルトキハ温情春ノ如シ故ニ彼等ヲ導クニ宜シキヲ得漸次其生活ヲ改良セバ豈優雅園藝ノ良室家ヲ得ラレザランヤ

蕃人ノ一般ニ美術的觀念ヲ乏シキハ固ヨリ言ヲ待タズ是レ常ニ衣食住ニ汲々トシテ尙ホ足ラザルモノアルガ爲メノミ故ニ若シ衣食住ヲ改良シ適宜ノ職業ヲ與ヘテ此等ノ安心ヲ得セシメバ彼等ノ美術的觀念ハ期セズシテ發動スルヤ明ナリ是亦衣食住改良ノ必要ナル一原因ナリトス

蕃人ト音樂及ビ唱歌

音樂ハ粗暴野鄙獰猛等ノ蠻性ヲ柔ゲテ優雅温良ノ人タラシムルニ有効ナルハ明ナリ彼ノ米國南部諸州ノ黑人ヲ敎育スル學校ノ如キモ日々ノ課目中頗ル此音樂ニ重キヲ置キ其効果ニ依リテ能ク奴隷的性情ノ失セ難キ黑人ノ男女少年ヲ薰化シ善導シツヽアルハ其確證トシテ見ルベキモノナリ故ニ蕃人ニモ勉メテ音樂ヲ奬勵シテ其優美ノ趣味ヲ開發シ其適當ナルモノヲ選ミテ之ヲ彼等ノ家庭内ニ入レ彼等ガ平素ノ慰樂術タラシムルヲ要ス既ニ蕃人ニハ一種ノ樂器アリ四五寸許リナル竹弓ニ細キ籐條ヲ張レルモノニシテ其一端ヲ齒ニテ噛ミ一端ヲ左手ニテ把持シ口唇ヲ動カシツヽ右手ノ爪ニテ之ヲ彈ズルナリ其音清

識ニシテ幽雅掬スベキモノアリ男女皆之ヲ愛好ス月夜寂々タル頃社内此處彼處ニ其聲ヲ聞カザルコトナシ多クハ未婚青年ノ弄スル所ナリト云フ

當署員ニ音樂ヲ能クスル者アルヲ以テ尺八明笛鼓弓等ヲ試ミシメ更ニ手風琴及ビ紙胴琴ヲ備付ケ來署蕃人ニ試ミタルコト屢々ナリ彼等ハ此音樂ヲ聽ク毎ニ非常ニ悦ビテ靜カニ之ヲ傾聽シ唯其止マンコトヲ患フルモノヽ如シ喧騒勝ナル彼等モ一タビ音樂ヲ始ムルトキハ俄然靜肅ニ其附近ニ集合シ或ハ蹲踞或ハ著坐或ハ戸壁ニ倚リテ傾聽ニ餘念ナク其心絃ヲ動カスヲ看取スルヲ得ルナリ

蕃人ハ又男女ヲ問ハズ非常ニ唱歌ヲ愛好ス彼等ハ靜坐スルトキ勞働スルトキ常ニ蕃歌ヲ唱和シ特ニ臥床シタル時ハ睡眠ニ至ルマデ殆ド其歌聲ヲ絶タズ又彼等ノ飲酒催醉シタルトキハ互ニ手ヲ携ヘ立チテ環狀ヲ作リ浪々搖々波狀ノ蕃舞ヲ始メ其一張一弛ニ和シテ此蕃歌ヲ合唱ス音調優雅ニシテ賦節漁歌ニ類似シ頗ル心神ヲ慰ムルニ足ルモノアリ依テ當署ハ又彼等ノ唱歌ヲ愛好スルヲ利用シ自然ニ彼等ノ道念ヲ高ムル爲メニ最モ平易ナル日本語ヲ用ヒテ一種ノ唱歌ヲ作リ其賦節ハ勉メテ從來ノ蕃歌ニ類似セシメ以テ之ヲ彼等ニ教授奬勵シ彼等ノ常唱ニ供セント是亦多少彼等ノ心情ヲ柔ゲ彼等ノ慰藉タルヲ得ベシ

蕃人ト金錢トノ關係

蕃人ニ智識ヲ增加シ富ノ蓄積ヲ教フル爲ニハ先ヅ金錢ノ價値及ビ之ガ使用ノ道ヲ知ラシムルコト必要ナリ又通事社丁及ビ奸商等ノ不當ノ物品交換ヲ防グ爲メニモ之ヲ知ラシムルヲ要ス然レドモ殊更ニ急激ノ方法ヲ執ルハ却テ害アリテ益ナキガ故ニ彼等ノ智識ノ開發ニ伴フテ漸次ニ知了セシムルヲ得策トス撫墾署出張所及ビ派出所員ハ何時ニテモ蕃人ノ請求ニ應ジテ金錢ニ相當スル希望物品ヲ買與スルヲ蕃人等ニ告示シ蕃人ノ金錢使用ハ必ズ撫墾署ノ世話ヲ受ケシムルコト必要ナリ蕃人等モ他人ニ托スルヨリハ比較的多額ノ物品ヲ與ヘラルヽヲ以テ自然撫墾署ニ依頼スルニ至ルナルベシ

撫墾署員ニ對スル蕃人ノ感想

元來蕃人ハ日本人ニ對シテ良好ノ感想ヲ有スルヲ常トス是レ一ハ從來清人ヲ嫌惡輕侮シ居リシト又一ハ日本人ト蕃人トハ其祖先ヲ同クスルトノ觀念ヲ有スルニ因ル即チ彼等ハ日本人ヲ見ル毎ニ己ガ胸ヲ叩テ互ニ兄弟タルヲ表示スルヲ常トシ日本人若シ胸ヲ叩テ之ニ應ズル時ハ彼等ハ歡喜ニ堪ヘザルノ狀ヲ

呈ス是各社蕃人ノ常態ナリ然ルニ撫墾署ハ此兄弟視スル日本人ノ官署ニシテ加フルニ常ニ愛撫恵與ヲ爲スガ故ニ撫墾署ニ對スル彼等蕃人ノ感想ハ勢ヒ良好ナラザルヲ得ザルナリ現ニ蕃社ニ入リ又ハ蕃地探檢中彼等ノ擧動ヲ察シ又數回撫墾署ニ來リタル彼等ノ實況ヲ考フルニ富ニ署員ノ命令訓示ニ柔順ナリシノミナラズ或ハ勞苦ヲ厭ハズシテ甘ンジテ使役ニ服シ又能ク總テ科業ニ勤勉ナリシ如キ以テ其好感情ヲ知ルニ足レリ然レドモ今日有スル所ノ彼等ノ感情ハ尙皮想的薄弱ノ好感情トイハザルベカラズ卽チ其眞相ヲ穿ツトキハ彼等ハ土人ヲ嫌惡輕侮シテ日本人ヲ兄弟視スルガ爲メ又撫墾署ハ彼等ヲ愛撫シ彼等ニ恵與スルガ爲メニ假想的觀念ト利慾ノ心トヨリ今日ノ好感情ヲ表スルニ過ギズ故ニ若シ更ニ異リタル假想的感念ニ訴ヘ或ハ其利慾ヲ利用シテ巧ニ彼等ヲ欺瞞煽動スル有力者アルニ遭ヘバ薄弱ナル彼等今日ノ感相ハ一朝ニシテ急轉シ如何ナル反響ヲモ成シ兼ネマシキヤ必セリ是レ今日通事社丁等ノ惡ムヘキヲ知ルモ未ダ俄ニ處斷セズ却テ其甘心ヲ買ヒツヽアル所以ナリ蕃人ノ良好ナル今日ノ感想モ前陳ノ如ク薄弱ニシテ賴ムベカラザルモノトセバ如何ニシテ之ヲ强固ニシ如何ニシテ斷ツベカラザルノ連鎖ヲ與フベキカ是レ撫蕃上重要ノ一問題ナリトス

凡ソ人心ノ結合ハ宗教的連鎖ヨリ强固ナルハナシ彼ノ英國有名ノ殖民總督ボーエン氏ガ嘗テマオリ爭鬪ノ危殆ニ陷リ殆ド救フベカラザルノ危運ニ遭遇シ而カモ能ク平定ノ奇効ヲ奏スルヲ得シハ全ク彼等蕃人ニ從來基督教ヲ傳導シ彼等ニ斷ツベカラザルノ宗教的連鎖ヲ與ヘ置キシニ因レルコト彼ノボーエン氏ノ明言スル所ナラズヤ蒙昧ナル蕃人等ハ普通ノ愛撫恵與ヲ爲スモ之ガ爲メニ其本心ヲ動カシテ感謝ノ念ヲ惹起スルコト至リテ鈍弱ナリ是レ從來ノ經驗ニヨリテ明カナル所況ンヤ撫育費ニハ限リアリ恵與モ多數ノ蕃人ニ向ヒテハ到底豐カナル能ハザル事實ナルヲヤ故ニ蕃人ノ感情ヲ攪動シ蕃人ノ心意ヲ結合シテ彼我ノ間ニ斷ツベカラザルノ連鎖ヲ設クルガ爲メニ彼等固有ノ幼稚ナル宗教心ヲ開發シ彼等ニ崇拜スベキ權威者ヲ與ヘ以テ宗教的結合ヲ全フスルヲ要ス是レ蕃地傳道ノ必要ナル所以ニシテ又其子弟教育ニ宗教ノ加味ヲ希望スル所以ナリ

樟腦製造者ト蕃人トノ關係

樟腦製造地ハ概シテ蕃山又ハ其附近ニ多シ從來ノ製腦者ハ若干ノ物品ヲ蕃人ニ恵

與シ其歓心ヲ求メテ以テ業務ニ從事スルヲ多シトス是レ蕃人ハ蕃山ヲ自己ノ所有ト妄信シ樟樹ノ伐採ヲ默過セザルニ因ルナリ然ルニ惠與品ノ優給缺乏ハ啻ニ蕃人ノ感情ニ關スルノミナラズ物品交換者ノ營業上ニ干繫ヲ及ボシ延テ撫蕃政策上ニ影響ナキヲ免カレズ故ニ當署ハ左ノ方針ニヨリ之ヲ處理ス

一、從來ノ製腦者ニ對シテハ其惠與方法ニ干涉シ撫蕃上ニ影響ナカラシムルヲ勉ムルコト

二、將來製腦ヲ許可セントスルトキハ撫墾署ニ於テ豫メ蕃人ト相當ノ契約ヲ結ビ總テノ係累ヲ除去シ製腦者ト蕃人トノ間ニハ全ク關係ナカラシムルコト

開墾ト蕃人トノ意向

蕃人ハ元來開墾ヲ嫌惡ス殊ニ土人ノ蕃社ニ接近シテ開墾居住スルハ彼等ノ大ニ嫌惡スル所ナリ現ニ阿里山蕃上四社總土目ウオンノ如キハ之ガ禁止ヲ出願スルニ及ベリ是レ一ハ土匪內山ノ開墾地ヲ根據トシ蕃租ヲ掠奪シテ大ニ蕃人ニ損害ヲ與ヘタルト又一ニハ蕃人モ土匪ニ關係アルニ非ズヤト疑ハルヽヲ恐レテナリ故ニ蕃界ニ開墾スベキ適當ノ土地アリトスルモ今俄ニ之ヲ開墾スルハ撫蕃上好マシキ事ニ非ズ殊ニ當署管內ニハ最早適當ナル一ノ開墾地ナキガ如クナルヲ以テ蕃界ノ開墾移住ニ就キテハ急激ノ奬勵ヲナザヽル方針ナリ

若シ又蕃界ニ適當ナル開墾地アルヲ發見セバ將來蕃社ノ模範農家トナリ傍ラ蕃人化育ヲ熱望スル所ノ確實ナル內地人ノ移住豫備地トシテ之ヲ保存スルヲ得策トス況ンヤ森林漸次ニ繁殖セバ經濟上ノ損失ハ論ズルニ足ラザルヲヤ

森林事業ト蕃人ノ意向

蕃人ハ其蕃界ニ在ル森林ノ伐採ヲ好マザルコト一般ノ常態ナルガ如シ是レ從來ノ森林伐採ハ全ク土地ノ開墾ヲ意味シタレバナリ故ニ彼等ヲ誘導シテ林業ハ開墾ニ非ズ却テ益々良材ヲ繁殖セシムル所以ナルヲ知ラシメ先ヅ彼等ヲシテ從來ノ兀山禿岳ニ著々苗木ヲ移植セシメ之ガ保護ヲ命ジ一方ニハ山火ノ弊害ヲ諭シ漸次禁止ノ方針ヲ執リ漸次造林保護ノ實地ヲ示シ森林ノ伐木ニハ必ヅ彼等ヲ與ヘ造材運材亦彼等ヲ利用セハ彼等ハ森林事業ノ大ニ自己ノ利益タルヲ感得シ嫌惡ノ念ハ容易ニ變ジテ喜悅ノ念ニ化スベキヤ必セリ是レ當署ノ收入ニ大關係アルヲ以テ最モ注意シテ速ニ誘導スルヲ要ス

(乙)五指山撫墾署ニ於ケル撫墾事務取扱心得中ニ載スル所ノ要點左ノ如シ

蕃人訓示ノ要領

一、臺澎全島ハ日清戰役ノ結果ニヨリテ日本ノ要土ニ歸セシ事

二、蕃人等ハ臺灣漢人ト共ニ大日本皇帝陛下ノ臣民トナリシコト

三、蕃大ハ大日本皇帝陛下ニ忠節ヲ盡サヽルベカラザルコト

四、大日本皇帝陛下ハ一視同仁蕃人ト漢人トノ別ナク陛下ニ忠節ナル臣民ハ之ヲ愛撫シタマフコト

五、大日本皇帝陛下ガ特ニ撫墾署ヲ設ケサセタマヒ汝等蕃人ヲ撫育シ以テ汝等ノ幸福ヲ進メシメラルヽ仁恩ノ有難キコト

六、汝等蕃人ハ深ク大日本皇帝陛下ノ洪恩ヲ銘シ須臾モ忘ルベカザルコト

七、汝等ハ既ニ大日本帝國ノ臣民トナレル以上ハ謹ミテ大日本皇帝陛下ノ御命令ヲ遵奉セサルベカラズ

八、汝等ハ既ニ世ニ後レタル民ナレバ力メテ智能ヲ進メ蕃社ノ幸福ヲ增サヽルベカラズ

九、汝等ハ又國法ヲ遵守セザルベカラズ

十、日本ノ國法ニ於テハ人ヲ殺スヲ無上ノ罪惡トシテ之ヲ嚴罰ス人ヲ殺ス者ハ已亦死刑ヲ受ケザルベカラズ汝等ガ古來人ヲ殺シ頭ヲ馘ルノ習慣アルハ日本國法ノ容サヽル所ナリ汝等爾後誓テ此行ヲ犯スコト勿レ

蕃界巡視注意要概

一、蕃人ニ出入スル者取締方(二十九年府令第三十號)ノ勵行

二、蕃地蕃境ノ密腦寮取締

三、蕃地内ノ無斷開墾取締

四、森林盜伐ノ取締

五、蕃人出草ノ取締

六、樟腦製造取締

七、不逞腦丁ノ取締

八、森林火災ノ取締

九、樟樹根株ノ有無調査

十、蕃境形勢ノ監察

十一、蕃境ニ出ヅル蕃人出山ノ通路調査

十二、蕃境ニ於ケル蕃人土人ノ交渉監察
十三、蕃境ニ開墾スベキ地所有無ノ調査
十四、蕃境ニ造林スベキ地所有無ノ調査
十五、蕃境ニ於テ伐木スベキ森林ノ區域及樹種副産物ノ種類調査
十六、樹種見本蒐集(但葉トモ)
十七、蕃境ニ鑛物及ビ有用土石ノ有無調査
十八、蕃境ノ流脈細大調査

積極的撫蕃方針ノ實施

樟腦製造ハ蕃人ニ稼穡ヲ敎ヘ蕃地ヲ啓發スルノ捷徑ナル導火ナリ
臺灣樟腦ハ世界ニ對スル特有物産ニシテ其ノ産出ノ最モ旺盛ナル地ハ我ガ支配スル所ノ蕃山ニ在リ而シテ蕃人ハ其ノ先占的所有者ノ位置ヲ占ム惜哉清國統治時代ハ專ラ土民繁殖蕃人必滅ノ方針ヲ以テ偏頗政策ヲ施シタルガ爲メ曾ニ漢蕃兩者間ニ不和ヲ釀成シタルノミナラズ延テ不俱戴天ノ怨ヲ結ブニ至リ動モスレバ斬殺馘首ノ兇虐ヲ演ズルコト今尙ホ頻々トシテ止マズ要スルニ土人其ノ者ノ過ニアラス又生蕃其者ノ罪ニアラズ一國ノ主治者其ノ統治ヲ誤リ

蕃民ヲシテ其ノ所ヲ得セシメザル偏頗施設ノ然ラシムル結果ニ過ギザルベシ
其ノ局ニ當ル者須ラク沈思默考古今ノ事蹟ニ徵シ將來ノ形勢ヲ察シ愼重ニ愼重ヲ加ヘテ局面ヲ全フスルコトヲ力メザルベカラズ俊信乏ヲ署長ニ承ケ爾來署員各位ト異體同心赤誠一片以テ漸ク今日ニ至リ聊カ蕃社蕃族ノ實況ヲ見聞甄別スルノ智識ヲ得タルガ如シ是ニ於テ前項ノ如キ自問ヲ起シ纔ニ自答スル所アルヲ以テ之ヲ各位ニ移シテ親シク其ノ可否ヲ詢リテ之ヲ實地ニ試ミントスルノ希望アリ各位請フ襟領ヲ解キテ深意ノ在ル所ヲ授ケヨ

抑モ前陳片政不律ノ下ニ在リテ腦業ヲ營ミタル事蹟ハ一モ參考トスルノ價値ナク却テ惡習慣ヲ先入セシメタルガ如シ然レドモ今日ノ場合從來ノ成行トシテ土人ニ特典ヲ與ヘタル範圍ニ對シ今我ニ是非スルヲ得ズ須ラク蕃社ノ治安ヲ維持シテ三年ノ期限ヲ俟タザルベカラズ而シテ將來之ヲ去リテ氣慨アル內地人ノ專有ニ更ムルハ製腦目的ノ根底ナリ若シ此根底ヲ改定シタル曉ニハ之ト同時ニ撫墾署力ヲ藉リテ蕃人ニ腦業ヲ敎ヘ內地人製腦業者ヲシテ蕃人ヲ使役セシムルヲ要ス熟々蕃地ヲ益スベキ事業ノ種類ヲ顧ミルニ腦業ヲ措キテ他ニ勝レルモノアルヲ見ズ彼等ノ生產的思想ヲ助長スベキ速成ノ事業ハ專ラ茲

ニ在ルヤ疑ヲ容レズ或ハ曰ク樟腦アルガ爲メニ殺人ノ結果ヲ生ズト一見實ニ然カルモノヽ如キモ其ノ實ハ樟腦アルガ爲ニ然カルニ非ズシテ製腦者其ノ人ヲ得ザルト舊慣習ノ適合セザルモノアルニ由ルノミ樟腦ハ臺灣富源ノ一原素ニシテ四百萬圓ノ價値ト世界雄飛ノ名聲トヲ抱キツヽ前途有望ナル生產力ヲ有シ本島經營ノ要位ニ置カザルヲ得ザルモノナリサレバ根底的ニ改良ノ目的ヲ以テ積極的方針ヲ定メ撫育ト竝ビテ起業ノ成功ヲ期セザルベカラズ斯ク言ハバ一面土人ノ起業ヲ杜絕スルカノ疑ヒナキヲ得ズト雖モ俊信ノ意見爾カク偏頗ナルニアラズ凡ソ物ノ舊慣ヲ破リ舊套ヲ脫セントスルニ際シテハ新陳代謝ノ徑路トシテ一時彼我ノ兩全圓滑ヲ缺クコトアルハ數ノ免レザル所ナリ況ンヤ强壓的從來ノ惡習ヲ一洗シテ旨從的土人ノ專腦權ヲ內地人ニ移轉セントスルニ於テヲヤ巷間種々ノ浮說ヲ傳フル如キハ豫メ覺悟セザルベカラズ徒ニ恐レテ杞憂ヲ抱キ林業百年ノ基礎ヲ立テズ姑息ニ偏政不律ノ惡習ニ委シテ至大ノ財源ヲ藩蓋スル如キハ識者ノ爲サヽル所ナルノミナラズ苟モ當局者トシテ一日モ不問ニ付スベキモノニ非ズ宜シク銳意奮進之ガ目的ヲ貫キ基礎ヲ定メ以テ其ノ事業ノ秩序ヲ明ニシ之ヲ永遠ニ保續スルノ成算ヲ確實ナラシムベシ其ノ確實ナルヲ認メテ然ル後ニ土人ノ有力者ヲ引キ之ヲ營マシムルモ敢テ支障ナキノミナラズ土蕃ノ調和ノ爲メ進ミテ爲スベキハ職責上當然ナルヲ信ゼリ換言スレバ製腦樞ノ主客ヲ轉倒シ事業ノ秩序ヲ立テ從來獨占利己ノ惡慣ヲ打破シテ共同公益ノ道ヲ開キ蕃族固有ノ物產タル實ヲ知ラシメ益々之ヲ愛護スルノ精神ヲ培養シテ永ク其ノ澤ニ浴セシメ皇化ニ誘フト同時ニ衣食ノ資ヲ裕ナラシメントスルニ在リ此順序ニシテ稍々其ノ緖ニ就カントスルトキハ土人ノ感情モ自ラ挽回シテ始メテ日本政府ノ蕃地啓發ノ大趣意ヲ貫徹セシメタルモノト謂フベキ乎

以上ノ方針ヲ實施スルニ就キ其ノ利害ノ分ルヽ所ヲ擧グレバ概略左ノ項ニ過ギザルベシ

利

一、撫育上至大ノ便利ヲ與フルコト

一、蕃人ニ製腦業ヲ敎ユルコト

一、蕃人ニ森林ノ愛護心ヲ起サシムルコト

一、殺人獵首ノ觀念ヲ消去セシムルコト

一、内地人ヲ信認スルコト

一、樟腦ノ粗製濫造ナキニ至ルコト

一、無能無智ノ蕃族ヲシテ間接ニ樟腦税ヲ納メシムルニ至ルコト

一、土蕃ノ感情ヲ融和スルコト

一、山林ノ火災ヲ減少スルコト

一、老幼其ノ業ニ従事スルニ至ルコト

一、蕃人ヲシテ衣食ノ資ヲ裕カナラシムルコト

一、内地人土人共ニ安全ニ營業シ得ルコト

一、内地人ノ風俗ヲ蕃人ニ移スノ益アルコト

一、樟木ノ價値ヲ知ラシムルコト

一、濫伐ノ惡習ヲ一掃スルコト

一、此改良ニ依リテ收量ヲ增加スルコト

一、蕃地ノ往來自在ニシテ取締ノ道ヲ立ツルコト

害

一、一時土人ノ感情ヲ害スルコト

一、讒言蜚語訴狀ノ煩ヲ來タスコト

以上列記スルガ如ク利アリテ害ナキモノハ進ミテ之ガ實施ノ方法ヲ講究スルコト目下ノ急務ナルノミナラズ土人ノ製腦權モ一兩年ニシテ全部ノ滿期ニ屬シ全部滿期セザルモ已ニ權能ニ失スルモノ多ク之ニ代フルニ內地人ニシテ樟樹ノ拂下ヲ出願シ來ル者一二端緒ヲ開キタリ是レ卽チ新陳代謝ノ始メニシテ之ヨリ積極的撫蕃ノ方針ヲ注入セントスルニ在リ時期已ニ追レリト謂フベシ今日ニ於テ百年ノ畫策ヲ立テザレバ何レノ時ヲカ期スベキ當局者タルモノ堅固ノ方案ヲ立テ、起業者ヲ誘フト共ニ撫育ノ實力ヲ發達セシメザルヲ得ザルベシ云々

惠與品支給標準

惠與品ハ左ノ四等ニ分ツ

一、特　別　賞（狩獵ニ供スル銃器彈藥又ハ銃器又ハ彈藥又ハ日本刀）ノ　內　一具

一、壹　等　賞（水牛豚）ノ　內　一頭

一、貳　等　賞（衣服陌地農具家具樟腦鍋機具）ノ　內　一二品

一、參　等　賞（裝飾品雜貨染料種子類酒肉食料）ノ　內　一二品

其ノ特別賞與ノ標準左ノ如シ

一年間試驗シテ一社首狩ノ風習ヲ禁絶シ能ク稼業ヲ勤ムルノ効績著シキモノ

此風ヲ他社ニ及ボシテ効績顯著ナラシメタルモノ

蕃社内ニ道路ヲ開キ交通ヲ便ナラシメタルモノ

二十名以上ノ壯丁ヲ召集シテ非常ニ應ジ其ノ効ヲ奏シタル土目

一等賞給與ノ標準左ノ如シ

蕃童ヲ撫墾署及ビ出張所ニ奉公セシメ其ノ實ヲ擧ゲタルモノ

壯丁ニシテ撫墾署及ビ出張所ノ非常召集ニ應ジ功績アリタルモノ

撫墾署長及ビ署員又ハ撫墾署長ノ許可セル人ヲ蕃社内ニ誘引シテ能ク之ヲ保護シ其ノ目的ヲ達セシメタルモノ

蕃人ノ兇行ヲ未發ニ偵知シテ撫墾署又ハ出張所ニ密告シ之ヲ防遏シ得タルモノ

二等賞給與ノ標準左ノ如シ

社内ノ安寧ヲ維持スルモノ

加害者ヲ密告シタルモノ

樟腦製造業ヲ習得シタルモノ

造林及ビ炭燒ヲ習得シタルモノ

能ク父母祖父母及ビ土目ニ事フルモノ

喧嘩口論ヲ爲サヽルモノ

普通農業ヲ勵ムモノ

衣服改良ニ應ジタルモノ

木材見本及ビ其ノ葉ヲ集メテ撫墾署又ハ出張所ニ提出セシモノ

三等賞給與ノ標準左ノ如シ

蓮草ヲ耕作シ交換ノ料トナスモノ

鳥獸ヲ狩獵シ交換ノ料トナスモノ

苧蘇ヲ耕作シ交換ノ料トナスモノ

能ク機織ヲ勵ムモノ

山林ノ副産物ヲ收穫シテ交換ノ料トナスモノ

（參照ノ二）撫墾署長歴年沿革表

番	五指山撫墾署		大崁料撫墾署	叭哩沙撫墾署	
	米山俊信	山口義耀	宮ノ原藤八	河上左右	小野三郎
	二十九年四月二十二日撫墾署長主事ニ任ジ同月二十五日本撫墾署長ヲ命ズ				
	三十年十月八日非職ヲ命ズ				
	三十年十月八日撫墾署主事ニ任ジ同日本撫墾署長ヲ命ズ				
	三十一年六月二十日廢官				
	二十九年四月二十一日撫墾署主事ニ任ジ五月二十五日本撫墾署長ヲ命ズ				
	三十一年六月二十日廢官				
	二十九年四月二十一日撫墾署主事ニ任ジ同日本撫墾署長ヲ命ズ				
	三十年七月七日非職ヲ命ズ				
	三十年七月十五日撫墾署主事ニ任ジ同日本撫墾署長ヲ命ズ				
	三十一年六月二十日廢官				
	二十九年五月二十五日撫墾署主事ニ任ジ同日本撫墾署				

著寮撫墾署		埔里社撫墾署		東勢角撫墾署	南庄撫
佐竹義和	川上親賢	檜山鐵三郎	長野義虎	越智元雄	水間良輔
長ヲ命ズ					
二十九年九月二十五日撫墾署主事ニ任ジ同日本撫墾署長ヲ命ズ					
三十一年六月二十日廢官					
二十九年五月二十五日本撫墾署長心得（臺中縣埔里社支廳長トシテ）ヲ命ズ					
三十年五月二十五日非職ヲ命ズ					
三十年六月三十日本撫墾署長心得ヲ命ジ七月十五日撫墾署主事ニ任ジ同日本撫墾署長ヲ命ズ					
三十一年六月二十日廢官					
二十九年五月二十八日本撫墾署長心得（本撫墾署技手トシテ）ヲ命ジ三十年三月二十七日撫墾署主事ニ任ジ同日本撫墾署長ヲ命ズ					
三十一年六月二十日廢官					
二十九年四月二十一日撫墾署主事ニ任ジ五月二十五日本撫墾署長ヲ命ズ					

署	臺東撫墾署		林圯埔撫墾署		大湖撫墾	
署長	曾根俊虎		西田又二		本山清利	
二等	相良長綱		齋藤一音作		二等	梢
三十一年六月二十日廢官			二十九年五月二十五日撫墾署主事ニ任ジ同日本撫墾署長ヲ命ズ		三十年一月十日撫墾署主事ニ任ジ同日本撫墾署長ヲ命ズ	
二十九年十月三日本撫墾署長心得（臺南縣臺東支廳長トシテ）ヲ命ズ			二十九年九月十一日撫墾署主事ヲ任ジ同日本撫墾署長ヲ命ズ		二十九年四月二十一日撫墾署主事ニ任ジ五月二十五日本撫墾署長ヲ命ス	
三十一年六月二十日廢官			二十九年九月十一日同署長心得ヲ免ズ		三十年十二月十一日林務官ニ轉ズ	
二十九年五月二十六日本撫墾署長心得ヲ命ズ						
二十九年十月三日本撫墾署長心得（臺南縣臺東支廳長トシテ）ヲ命ズ						
三十一年六月二十日廢官						

署	恒春撫墾署		署	川上生之助
署長	安積五郎		署長	石井晋一
二等	相良長綱		二等	梢
二十九年十二月七日本撫墾署長心得（臺南縣恒春支廳長トシテ）ヲ命ズ			三十一年六月二十日廢官	
三十年十二月二十四日同署長心得ヲ免ス			二十九年五月二十五日本撫墾署長心得（臺南縣臺東支廳長トシテ）ヲ命ズ	
三十年十二月二十四日本署長心得（恒春辨務署長トシテ）ヲ命ズ			二十九年十二月七日同署長心得ヲ免ズ	
三十一年六月二十日廢官				

蕃人蕃地ニ關スル事務及其情況報告手續

八月訓令第二百二十四號ヲ以テ撫墾署事務及其管内情況報告手續ヲ廢止シ更ニ蕃人蕃地ニ關スル事務及其情況報告手續ヲ定ムル左ノ如シ

第一　報告ヲ分チテ年報臨時報ノ二種トス

第二　報告ハ蕃人蕃地ニ關スル一切ノ事務及其ノ情況ヲ網羅スベシト雖モ其ノ事項ノ概目左ノ如シ

一、既ニ施設セシ事項ノ成績現ニ施設中ニ係ル事項ノ景況及將來施設ヲ要スル事項ノ種類目的

二、普通人民ト蕃人トノ關係事項

三、普通人民ト蕃地ニ於テ起シ又ハ起サントスル事業ノ得失成績及ビ景況

四、蕃地出入取締ニ關スル事項

五、銃器彈藥取締ニ關スル事項

六、物品交換ニ關スル事項

七、隘勇隘丁ニ關スル事項

八、蕃人來署、應對ニ關スル事項

九、蕃人蕃地ノ景況及其ノ風俗人情習慣戸口調査

十、前記各事項ノ外必要ト認メタル事項

第三、臨時報ト シテ報告スベキ緊急事件中特ニ至急ヲ要スルモノハ先ヅ電報ヲ以テ其ノ事件ノ概要ヲ報ジ其ノ詳況ヲ報告スルモノトス

第四　第二項第二號ノ報告ニシテ殺傷ニ關スルモノハ左記ノ要件ヲ具シ其ノ都度報告スベシ

一、年月日時

一、場所（辨務署ヨリノ方位及距離）

一、被害者ノ住所氏名年齢職業及男女別

一、死體ノ狀況又ハ負傷ノ狀況

一、被害當時ノ狀況

一、加害者ノ住所及其員數等

一、暴行ニ供シタル兇器

一、加害ノ原因

第五、報告ハ總テ簡明ニ記述シ地名人名ニハ必ヅ片假名ヲ附シ且其ノ土地ニ關スルモノハ略圖ヲ以テ位置ヲ示スベシ

是ヨリ先キ總督府ニ於テ各撫墾署ニ向ヒ指示シタル蕃社戸口、蕃地面積蕃地事情蕃語蒐集等ノ諸調査ハ機關ノ縮小ト共ニ一頓挫ヲ來シ而シテ既往ノ成績ハ一部ノ調査ヲ了リタルモノナキニ非ザルモ多クハ半途未完ニ屬セリ然レドモ其ノ既知ノ部分ニ就キテ蕃情ヲ紹介スルノ捷徑ヲ作成セントシ宛カモ當時總督府ニ於テ殖產綜覽ナルモノヲ編纂スルノ企アリ時ノ殖產課ニ於テ之ヲ主掌スルコトヽ

殖產綜覽ニ記載スベキ蕃情

ナリシガ乃チ之ニ記載スベキ蕃地蕃人ニ關スル調査項目ハ左ノ如クナリキ

一、撫墾署ノ沿革
二、蕃租
三、蕃人刑罰
四、蕃人ノ風俗人情
五、蕃社ノ位置方法及距離面積等
六、蕃社名及頭目通事名
七、蕃社ノ戸口
八、蕃人ノ加害
九、蕃人トノ交易
十、蕃社ノ分布圖

マイバライ社討伐

而シテ其ノ擧ハ終ニ成ヲ見ズシテ中止セリ

八月臺北縣下五指山地方ノマイバラ社(アタイヤル族)ヲ討伐ス從來同社ノ蕃人ハ兇暴殺ヲ嗜ミテ官命ニ從ハズ曩ニ三十年中巡査ヲ殺害シ三十一年五指山撫墾署員ヲ誘ヒテ殺傷ヲ加ヘシヲ以テ遂ニ軍隊歩工混成大隊ヲ擧ケテ討伐シ蕃屋ヲ燒

對蕃政策

夷シテ歸順セシムルニ至レリ此蕃社ノ討伐ニ由リ對蕃ノ方針ヲ刷新スルノ必要ヲ認ムルニ至レリ

越エテ九月ニ及ビ蕃人蕃地ニ關スル政務ノ施設ヲ擴進スル爲メ殖産課ニ於テ調査審核ヲ累ヌ對蕃政策ヲ編製シ之ヲ民政長官ニ提出シタリ同案ハ蕃政擴張ノ主旨及ビ目的主義方針手段方法ヨリ特別機關ノ設置經費ノ出所ニ論及セシモノニシテ其全文左ノ如シ

一、蕃政擴張ノ主旨

現行ノ蕃政ハ蓋シ唯々一時ニ處スルノ政策タルニ外ナラズ若シ此儘ニテ推移セン乎政紀益々荒弛シ曾ニ其ノ寶庫ヲ開發スベカラザルノミナラズ蕃界附近ニ於ケル生業ヲ阻害シ而モ其ノ安寧益々紊亂セラレ爲ニ累ヲ政府ノ威信ニ及ボスコト鮮カラザルベシ是ニ於テ乎蕃政擴張ノ必要ヲ感ジ同時ニ其主義方針ヲ議シ其ノ方法手段ヲ講ズルノ必要ヲ感ズルコト切ナリ

二、蕃政ノ目的

主義方針及ビ方法手段ヲ議スルニ先チテ其ノ目的ヲ定ムルハ蓋シ正當ノ順序ナルベシ然ラハ則チ其ノ目的ハ如何ニ之ヲ定ムベキヤ曰ク蕃地ヲ開發シテ國

家經濟上ノ利得ヲ收メンガ爲メニ蕃政ヲ施設スルニ在リ

柳々蕃地ノ生産物トシテ著名ナル樟腦腦油ノ稅金ハ現ニ三四十萬圓アリ尙進テ林政ヲ整理セハ六七十萬圓ノ收入ヲ得ルコト難事ニアラザルナリ加之官營腦業ヲ實施セラルヽニ至ラバ數年ヲ出デズシテ年々百四五十萬圓ノ純收入ヲ得ベキ目算アリ蕃地ノ事亦多望ナル哉況ヤ其ノ他建築及ヒ鐵道用材薪炭材竝ニ副產物等ノ收益鮮少ナラザルニ於テヲヤ

國家ハ夫レ自身ノ幸福ヲ增進スル爲メニハ多少ノ艱難ヲモ辭スベカラザルノ約束アリ故ニ蕃地ノ事多少艱難ナリトスルモ現ニ前述ノ如キ利益ヲ目前ニ眺メナガラ進ミテ之ヲ收メザルハ正當ナル國家ノ行動トシテ見ルベカラス況ヤ之ガ爲ニ蕃界附近ノ生業ヲ阻害シ而モ其ノ安寧ヲ亂シ遂ニ累ヲ政府ノ威信ニモ及ボスノ虞アルニ於テヲヤ

以上ノ理勢ニ因リ國家ノ權義ヲ行ハンコトセハ勢必ズ蕃人統治ノ政策ヲ實行セザルベカラス何トナレバ蕃人ヲ統治スルニ非ザレバ蕃地ノ事得テ行フベカラス蕃地ノ事ヲ行フハ即亦蕃地ヲ統治スル所以ナレバナリ

三蕃政ノ主義

既ニ蕃地統治ノ政策ヲ行フノ必要アリ然ラバ則チ如何ナル主義ニ依テ以テ之ヲ行ヘバ可ナルヽカ即チ如何ナル主義ヲ以テセバ能ク蕃人統治ノ正理ニ副ヒ又其ノ實際ニ適スベキヤ是レ對蕃策ニ於テ最モ緊要ナル問題ナリトス此問題ニ對シテハ世間自ラ種々ノ說ヲナス者アリト雖モ多クハ其ノ一ヲ知リテ未ダ其ノ二ヲ知ラザル底ノ提議ニシテ到底傾聽ノ價値ナキナリ惟フニ該問題ハ歸著スル所ハ左記二主義中ノ一タルベシ

一全滅主義

二導化主義

全滅主義ハ壯ハ則チ壯ナリト雖モ第一人類ノ道義ニ反シ第二領土治民ノ本旨ニ戻ル若シ夫レ數歩ヲ讓リ蕃地ノ寶庫ヲ開キ良民ノ安寧ヲ維持スルガ爲メニ這般ノ道義本旨ニ抵觸スルヲ顧ミズトスルモ何レノ手段何レノ方法ヲ以テセバ能ク本島十萬ノ蕃族ヲ全滅シ得ルカ僅ニ其ノ一小部分ヲ討伐セントスルモ容易ノ業ニアラス況ヤ本島二分ノ一強ニ連亘蟠踞スル蕃族ノ全滅ニ於テヲヤ道理ニ於テ又實際ニ於テ全滅主義ノ到底實行スベカラザルコト前述ノ如シ然ラバ則チ唯一ニ導化主義アルノミ

本島ノ利源ヲ開發スルガ爲ニ本島ノ公安ヲ保持スルガ爲ニ國民ノ福利ヲ增進スルガ爲メニ既ニ全滅主義ヲ排シテ導化主義ヲ執ルノ必要アリ況ヤ方策其ノ宜シキヲ得バ彼等ヲ化育スルニ於テ將來頗ル有望ナル見込アルニ於テヲヤ故ニ蕃政ヲ行フニハ斷ジテ導化主義ヲ執ラザルベカラス

四蕃政ノ方針

既ニ導化主義ヲ執ルコトニ決定スル以上ハ如何ナル方針ヲ以テセバ可ナルベキカ惟フニ本問題ノ歸著スル所ハ左ニ列擧スル數項ノ中ノ一項タルベシ

一威壓ヲ以テスルモノ

二綏撫ヲ以テスルモノ

三威壓ヲ主トシ綏撫ヲ從トスルモノ

四綏撫ヲ主トシ威壓ヲ從トスルモノ

五綏撫ト威壓トヲ併行スルモノ

單ニ威力ヲ以テ之ヲ壓服セントセバ多クノ兵力ト費用トヲ要シ而モ容易ニ其ノ目的ヲ達スベカラザルノミナラズ却ヲ莫大ノ損害ヲ蒙ルコトアラン且ツ蕃人ガ暴行ヲ逞クスル所以ノモノハ畢竟其ノ蠻風ノ然ラシムル所ニシテ全ク他

意アルニアラザレバ此種ノ民人ニ對シ先ヅ其ノ平和的惡習矯正ノ手段ヲ用イズ直ニ討伐ヲ行フガ如キハ道義ノ許サヾル所ナリ然ラバ則チ威ヲ捨テヽ恩ニ依ラン乎忽チ恩ニ馴レ朝憲ヲ蔑如シ政府ノ威信全ク地ヲ拂フニ至ラン要スルニ以上ノ二項ハ孰モ其ノ極端ニ走ルモノ故ニ今ハ三項四項五項中ニ於テ其ノ一ヲ撰バザルベカラズ

威信ヲ主トシ綏撫ヲ從トスルトキハ兎角ニ彼レノ怨恨ヲ招キ易ク動モスレバ恩ニ酬ユルニ仇ヲ以テスルノ弊害ニ陷ルノミナラズ蕃政ノ主腦ト爲リテ行動スル丈ケノ威力ヲ平常ニ具備センセバ財政上ノ損失必ズ鮮少ナラザルベシ又綏撫ヲ主トシ威壓ヲ從トスルトキハ自然彼ヲシテ恩ニ馴レシムルノ惡弊ヲ生ジ威力之ニ亞グト雖モ其ノ効果頗ル淺薄ナルニ至ルベケレバ此二ツノモノハ未ダ以テ上策トスベカラズ

斯ク論ジ來ルトキハ殘ルモノ唯一ノ五項ニシテ此五項コソ寔ニ上乘ノ策トシテ爲政者ノ須ク服膺スベキ方針ナレ

抑々恩威併行ハ一般治民ノ要訣而モ蕃人ニ對スルニハ特ニ其ノ緊要ナルヲ覺ツ故ニ一面綏撫ノ精神ヲ以テ化育敎導ノ政ヲ行フト同時ニ一面威力ヲ示シテ

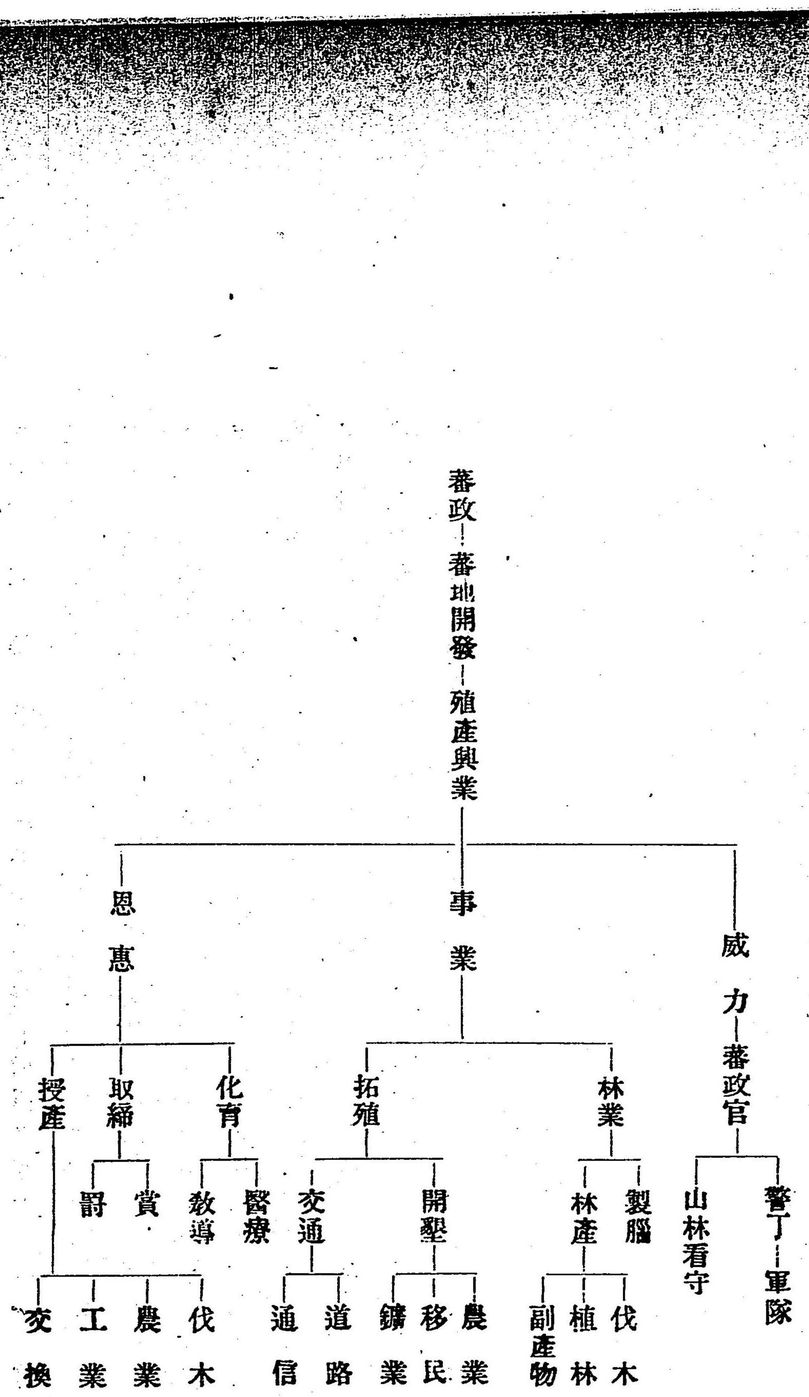
敬畏ノ念ヲ起サシムルヲ以テ其ノ成効ノ確實ナルヲ信ズ但南蕃ハ北蕃程ニ獰猛ナラズ且ツ稍々事理ヲ解スルガ故ニ北蕃ニ對スル丈ノ武力ヲ要セザルナリ從前撫墾署ニ於テ行ヒタル對蕃ノ方針ハ即チ恩威併行ノ精神ニ基ケルモノナリト雖モ威力ノ側ニ於テ機關ノ設備ヲ缺キタル爲メ兎角綏撫ノ一方ニ流レ易ク兩者併行ノ實ヲ見ルベカラザリシ是レ寔ニ遺憾トスル所ナリ

五蕃政ノ手段方法

既ニ恩威併行ヲ方針トスル上ハ其ノ方法モ亦自ラ恩威兩道ニ岐レザルベカラズ故ニ今之ヲ兩道ニ分說スベシ

一綏撫ノ手段方法　通常人ト異リ殆ド原人ニ齊シキ蕃人ヲ綏撫スルニハ所有ル手段方法ヲ施サヽルベカラズ就中其ノ最モ重モナルモノヲ擧グレバ冠婚葬祭其ノ他總テ社會上ノ要件ヲ裁斷シテ殺人馘首ノ惡習ヲ矯正シ人道ヲ敎ヘ產業ヲ授ケ醫療ヲ施シ賞罰ヲ明ニシ且ツ物品交換ノ便ヲ與フル等總テ皆誠ヲ推シ恩ヲ施シ以テ我ニ心服セシムルコトヲ期スルニ在リ故ニ蕃政ノ長官タル者ハ賞罰ノ大權ヲ附與シテ臨機應變ノ處置ヲ爲サシメ部下ノ官吏ニハ蕃地蕃人ニ對シ司法行政ノ警察權ヲ附與スルノ必要アリ但シ長官ニ賞罰ノ大權ヲ與ヘラルヽト雖モ特ニ重大ナル事件ハ總督ノ指揮ヲ受ケシムルヲ可トス

二威壓ノ手段方法　長官以下蕃政ニ從事スルモノハ各一定ノ制服ヲ着ケ銃劍ヲ佩ヒ以テ威貌ト實力トヲ備ヘ且ツ必要ノ場所ニハ警丁及ヒ山林看守ヲ配置シ以テ蕃政官ノ指揮監督ノ下ニ防備及ヒ犯罪搜查ノ機關トシテ行動セシムルヲ要ス故ニ是等機關ハ防備ニ足ル丈ケノ實力ヲ具備セバ以テ足レリトス若シ夫レ兇蕃ノ勢力强盛ニシテ當リ難キ場合ハ特ニ軍隊ノ力ヲ以テ之ヲ壓服スルノ手段ヲ執ラザルベカラス而シテ蕃政長官ニハ其ノ威力ヲ行フニ足ル丈ケノ特權ヲ附與スルヲ要ス但シ特ニ重大ナル事件ハ固ヨリ總督ノ指揮ヲ受ケザルベカラス以上陳述スル所ヲ一括シテ系統的ニ示セバ即チ左ノ如シ



六、特別機關ノ設置

以上ノ政策ヲ施行スルニハ特別機關ノ設置ヲ要ス何トナレバ蕃地蕃人ハ自ラ特別ノ境遇ニ在リ一般行政ノ下ニ掌理セラルヽ街庄及ヒ街庄民ト全ク其趣ヲ異ニスレバナリ是ヲ以テ總督直轄ノ下ニ專門ノ特別機關ヲ置キ一般行政ト分離シテ專ラ蕃政ヲ掌理セシムルノ方策ヲ執ラザルベカラズ現今ノ如ク蕃政ヲ擧ケテ辨務署一部ノ事務ニ屬セシムルトキハ其ノ組織及ヒ權限ノ狹小ナルガ上ニ辨務署ハ一般行政ノ爲ニ忙殺セラルヽガ故ニ到底其ノ徹弱ナル力ヲ以テ狂暴ナル蕃人廣漠タル蕃地ニ對スルコトヲ得ベカラザルナリ是ヲ以テ最モ强大ナル特別機關ヲ設置シ以テ適當ニ以上陳述セル政策ヲ實行スルヲ要ス

七經費ノ出所

蕃政ニ要スル費用ハ一切蕃地ヨリ生ズル收入ヲ以テ之ニ充テント欲ス即チ樟樹其ノ他立木並副產物ノ拂下ヨリ生ズル收入官行製腦ニ依テ生スル收入ハ少ナクモ百五六十萬圓ヲ下ラザレバ其ノ內ヨリ三四十萬圓ヲ蕃政費ニ充ツベシトスルモ國庫ハ尙之ニ依テ百二三十萬圓ヲ收ムベキ割合ナリ

十月更ニ蕃政施行方法ヲ調査シ導化取締授產和約及ヒ其ノ監督交換調查研究當

蕃政局設置ノ　局考ノ待遇等各項ノ手段方法ヲ編製シ十一月此旨趣ニ本ヅキヲ蕃政局設置ノ方
議　針ヲ立テ左ノ如ク官制竝ニ附屬規程ノ草案ヲ爲セリ

蕃政局官制案

第一條　臺灣總督府蕃政局ハ左ノ事務ヲ掌ル
一番民導化授產取締ニ關スル事項
二番地ノ山林ニ關スル事項
三樟腦ノ粗製再製精製保管賣渡ニ關スル項
四番地ノ拓殖ニ關スル事項
五番地蕃民ノ警察ニ關スル事項

第二條　臺灣總督府蕃政局支局ヲ必要ノ地方ニ置キ第一條ノ第一項第二項第四項第五項ノ事務及樟腦ノ粗製保管遞送ノ事務ヲ分掌セシム

第三條　臺灣總督府蕃政局樟腦精製所ヲ臺北ニ置キ樟腦ノ再製精製ヲ爲サシム

第四條　臺灣總督府蕃政局ニ左ノ職員ヲ置ク

局長

蕃政官
蕃政官補

第五條　局長ハ一人臺灣總督府民政長官ヲ以テ之ヲ充ツ臺灣總督ノ指揮監督ヲ承ケ局務ヲ綜理シ部下ノ官吏ヲ監督ス

局長ハ須要ノ地ニ支局ノ出張所ヲ置クコトヲ得

第六條　蕃政官ハ專任十六人奏任トス上官ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理ス

第七條　支局長ハ蕃政官ヲ以テ之ニ充ツ局長ノ指揮監督ヲ承ケ一切ノ事務ヲ掌理ス

第八條　精製所長ハ蕃政官ヲ以テ之ニ充ツ局長ノ指揮監督ヲ承ケ一切ノ所務ヲ掌理ス

第九條　蕃政官補ハ專任百七十二人判任トス上官ノ指揮ヲ承ケ局務ニ從事ス

第十條　支局ノ名稱位置管轄區域ハ臺灣總督之ヲ定ム

參考

辨務署第三課ト蕃政局トノ關係

蕃政局ノ事務ハ三年ヲ期シテ完成スルモノナレバ各辨務署第三課ニ屬スル事

務ハ該局設置ト同時ニ悉ク廢止サルベキモノニアラズ即チ蕃政支局ノ設置セラルヽ個所ニ限リ自然廢止セラルヽ譯ニテ該支局ノ設置セラルヽマデハ其ノ方面ノ蕃人蕃地ニ關スル事務ハ依然辨務署ニ屬ス

蕃政官ト司法警察權トノ關係

辨務署長ヲ以テ刑事訴訟法第四十七條ノ第一第四ニ該當スルモノト解釋セラレタルニ準シ蕃政官及ヒ蕃政官補ハ同條第一第四ニ該當スルモノト解釋ス

殖產課事務ト蕃政局トノ關係

殖產課事務ノ內ニテ蕃人蕃地ニ關スル事項及ヒ蕃地ノ森林原野ニ關スル總テノ事務ハ官制ノ結果自然蕃政局ニ推移ス

蕃政局分課規程案

第一條　臺灣總督府蕃政局ニ局長官房及庶務課製腦課會計課ヲ置ク

第二條　各課ニ課長一人ヲ置ク蕃政官又ハ蕃政官補ヲ以テ之ニ充ツ

第三條　課長ハ局長ノ命ヲ承ケ其ノ主務ヲ掌理ス

第四條　局長官房ニ於テ左ノ事務ヲ掌ル

一局長ノ官印及局印ノ保管ニ關スル事項

二官吏ノ進退身分ニ關スル事項

三恩給遺族扶助及諸手當ニ關スル事項

四文書ノ接受發送及編纂保存ニ關スル事項

五統計報告ニ關スル事項

第五條　庶務課ニ於テ左ノ事務ヲ掌ル

一蕃民ノ導化授產取締ニ關スル事項

二蕃地ノ山林ニ關スル事項

三蕃地ノ拓殖ニ關スル事項

四蕃地蕃民ノ警察ニ關スル事項

五他課ノ主管ニ屬セザル事項

第六條　製腦課ニ於テ左ノ事務ヲ掌ル

一樟腦ノ精製再製ニ關スル事項

二粗製樟腦ノ製造及原料授受ニ關スル事項

第七條　會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一樟腦腦油受渡賣却保管ニ關スル事項

二經費及收入ニ關スル事項
三樟腦腦油價格ニ關スル事項
四官有財產及物品ニ關スル事項
五局廳舍營及家屋建物借入ニ關スル事項
六局中取締及給仕小使其他傭人ニ關スル事項

林政廳創設ノ意見

之ト同時ニ有田總督府技師(殖產課勤務)ハ林政廳創設ノ意見ヲ當局者ニ提出セリ是レ林政施設ヲ主トシテ蕃地開發ノ目的ヲ達セメトスルモノニシテ其ノ要旨左ノ如シ

蕃地森林狀況及蕃人訓化策　蕃地ハ重ニ森林地內ニシテ蕃族ノ棲息場所耕作場所等ノ幾分ヲ除クモ猶百有餘萬町ノ面積ハ至ル所鬱蒼トシテ樹木繁茂シ古來斧斤ノ入ラサル森林ナレバ其ノ取扱ハ即チ蕃政ニ關係ヲ及ボシ又森林ニ依ラザルベカラズ今臺灣森林價值ノ標準タル樟樹生立ノ區域ヲ概定スレバ南ハ新高山附近ヲ以テ境界トシ北部ニ至ルニ從テ益々多ク又高低ヨリ之ヲ示セバ海拔三四千尺ヲ以テ限リトシ順次高サヲ增スニ從ヒ漸ク樟樹ヲ減ジテ他ノ濶葉樹ヲ增シ遂ニ針葉樹帶ニ移ルモノ、如シ

而シテ其ノ性殺戮ヲ嗜ミ知識ノ程度尙ホ低キヲ免カレザル北蕃ハ濁水溪以北ニ住シ樟樹ハ新高山以北ヲ鄕土トスレモ年々四千町步ノ面積ニ生立スル樟木ヲ伐採スルヲ得ベク一町步平均百尺〆ノ樟木ヲ有スルモノトスルモ年々四十萬尺〆ノ樟木ヲ伐採スルヲ得ベシ因テ一尺〆十五斤ノ樟腦ヲ得ルモノトスルモ年々六百萬斤ノ樟腦ヲ產出スルヲ得ルノ計算トナリ世界ノ樟腦需用高五百萬斤ハ優ニ臺灣森林ニ於テ之ヲ供給スルヲ得ベシ豈多望ナラズヤ之ヲ利用シテ臺灣ノ財源ヲ豐富ナラシムル亦臺灣施政ノ秘訣タラザルベカラズ即チ其ノ目的ヲ達センニハ成可早ク蕃人ヲ訓化シテ蕃界ノ出入ヲ自在ナラシメ伐木製腦ノ業ヲ起シ尙進テ之ヲ開拓シ蕃人ハ是等ノ事業ヲ妨碍スルコトナク其ノ業ヲ助ケ勞力賃ヲ得テ彼等ノ糊口生活ヲ豐ナラシメ安心立命ノ域ニ進マシムルニ在リ語ニ曰ク恒產アルモノハ恒心アリト彼蕃人ト雖モ已ヲ侵スモノナク又自己ニ恒產ヲ得ルノ利益ヲ與

フルモノアレバ喜ビテ之ヲ迎ヒ決シテ妨碍ヲ加フルガ如キコトナカルベキハ理ノ當ニ然ルベキ所從來ノ經歷ニ徴シ明瞭ナリトス而シテ其ノ蕃人ヲ訓化シ蕃地ノ森林ヲ利用スルニ最モ捷徑ナル手段ハ彼等ヲ圍繞スル所ノ樟樹ヲ利用シテ製腦業ヲ起シ漸次彼等ヲ敎ヘテ其ノ業ニ使役シ勞ニ酬フルニハ或ハ相當ノ衣食ヲ給シ又ハ賃錢ヲ與ヘテ勞働ノ利益ヲ悟ムシメ以テ知識ノ發達ヲ促シ恒產ヲ授ケ恒心ヲ興サシムルニ在リ是即チ蕃人ヲ訓化スルニハ先ツ林業ヲ開始スルヲ要シ森林ヲ開始スルニハ蕃人ヲ訓化セザルベカラザル所以ナリトス然レトモ蕃人ハ知慮淺薄ニシテ感情ノ變遷甚シク利ヲ見レバ忽チ喜ビ聊カ不利アレバ忽チ怒ルノ風アルヲ以テ只目前ノ利益ニ汲々タル射利的民業ニ委スベカラズ製腦ノ利益ノミヲ目的トセズシテ尙ホ蕃政ノ完備ヲ目的トスル官業ニ依リ之ヲ開始スルノ優レルハ今更喋々ヲ竢タザルナリ

蕃地橫斷策　臺灣ノ經營ヲ鞏固ナラシムルニ須要ナル事業多々アルベシト雖モ蕃地ノ森林ヲ利用シテ外國木材ノ輸入ヲ防遏シ以テ諸般ノ用材ヲ供給シ又製腦業ヲ保續シ以テ財源ノ豐富ヲ謀ルハ今日ノ急務ニシテ製腦業ニ依リ收益ヲ增スノ方又種々アリト雖モ蕃地以外ニ屬スル問題ハ暫ク之ヲ措キ此ニ蕃地ノ製腦業ヲ利用シ蕃地開發ノ大目的ヲ遂スルノ策ヲ論ゼントス即チ蕃地橫斷策是ナリ而レテ之ヲ實行スルニハ塲所ヲ撰バザルベカラズ其ノ之ヲ撰ブニ當リ注意スベキハ第一將來ノ統治上軍事又ハ交通上最モ便利ナル路線ヲ擇ブコト第二事業上最モ便利ニシテ第三蕃人感化上最モ効顯多キ部分ヲ擇フコトノ三點ニシテ此三要件ニ最モ適合スルハ臺北縣管下大嵙崁溪ヲ溯リ臺東廳管下花蓮港ニ通ズル路線ナルベシ何トナレバ此邊ハ最モ樟樹ニ富ミ溪流又大ニシテ開墾其ノ他ノ事業ニ有望ナル地積ヲ有シ又臺北臺東間ノ交通線トシテ最短距離ノ路線ナレバ軍道トシテ又郵便線路トシテ最モ適當ナルベク且ツ蕃薯溪ニ貫通スルトキハ有名ナル蕃薯原野ノ開發ヲ助ケ尙蕃人感化力ノ點ヨリ論ズレバ此事業ノ着手進行ハ自ラ北蕃全體ノ團結力ヲ殺キ慓悍ニ名アル石加祿太魯閣ノ勢ヲ牽制シ既ニ分水嶺ヲ越ヘテ東海ヲ望ムニ至レバ北蕃ノ風靡期シテ待ツベク最モ適當ナル路線ナルヲ以テ先ヅ此線路ヲ撰ミテ着手スルヲ急務ナリトス

其ノ方法ハ第一着手トシテ竹頭角邊ニ林政廳又ハ製腦管理廳ヲ置キ相應ノ吏員ヲ派シテ之ヲ護衞セシメ又一方ニハ土木吏員ヲ派シ蕃人ニ道路開鑿並ニ製

腦着手ノ事ヲ諭告シ決シテ妨害ヲ爲スコトナク又其ノ工事ニ出役スルモノニハ衣食又ハ賃銀ヲ給シテ彼等ノ產業ヲ授クル旨ヲ訓諭シ應スルモノハ之ヲ使役シ以テ兩業ヲ開始スルトキハ彼等ハ化シテ工夫ト爲リ內地人又ハ土人ト雜居シテ共同部落ヲ爲シ竣工ノ道路ハ忽チ糧道トナリ樟腦々油ノ搬出路トナリ遂ニ完全ナル交通機關トシテ臺北臺東間ノ郵便線路トナリ又曠莱原野開拓ノ導線トナルベク之ヲ從來陸揚ノ成否期スベカラザル海路ニ比シテ優ルコト幾層倍ナルヤ知ルベカラズ況ヤ既ニ臺北臺南間ニハ縱貫鐵道布敷ノ計畫アリ數年ノ後ニハ完成シテ交通ノ不便ヲ感スルナキニ至ルベキニ於テヲヤ今其ノ里程ヲ概算スルニ大嵙崁ヨリ分水嶺ニ至ルノ間二十里夫ヨリ花蓮港マデ十里約三十里ニシテ花蓮港卑南間ノ四十餘里臺北大嵙崁間ノ九里ヲ加フルトキハ合計八十餘里トナリ殆ド臺北臺南間ノ道程ニ匹敵スト雖モ既ニ大嵙崁花蓮港間ノ貫通ヲ見ルニ至レバ卑南花蓮港間ハ之ヲ貫通スルニ難カラザルハ既ニ交通ニ堪フルノ路アルヲ以テ知ルベキナリ因ニ大嵙崁花蓮港間ヲ三十里ノ道程トシ其ノ內最モ困難ナル場所ヲ分水嶺ヲ越ユルマテノ部分トシテ之ヲ二十里トシ其ノ困難ナル部分ハ一ケ年五里ノ工程トシ其ノ他ハ一ケ年十里ノ工程トスルトキハ分水嶺マテ四ケ年花蓮港迄五ケ年ヲ要スル計算ニシテ工事費ヲ一里五千圓トスルトキハ初年ヨリ四年目ニ至ル每年ノ經費二萬五千圓最終五ケ年目ノ經費ハ五萬圓ニシテ五ケ年間ノ總土木費ハ十五萬圓ヲ要スル割合ナリ是レ單ニ道路開鑿費ニシテ其ノ他諸般ノ經費ヲ要スベシ軍隊費ハ軍事費ノ性質ニ屬スルガ故ニ工費豫算トシテハ單ニ軍隊小屋掛費ニ止メ派遣吏員ノ俸給及ビ工夫ノ賃銀之ニ要スル器具器械費ヲ概算スルトキハ撫蕃吏員二十名土木吏員十名ノ俸給及ヒ宿泊所建築費二萬八千圓（吏員俸給平均六百圓建築費一萬圓）軍隊三中隊三百名ノ宿泊所建築費一萬圓樟腦焚夫二百名ノ給料及ヒ小屋掛料八萬二千圓（給料平均三百六十圓小屋掛一萬圓）器具器械費一萬圓（製腦竈一個ニ付五十圓）ヲ合算スルトキハ初年ノ總經費十五萬五千圓ヲ以テ足レリトス

此計畫タル經費ノ出所ナケレバ甚ダ困難ナレトモ一方ニハ爲メニ起ル所ノ製腦業アリ初年ニハ二百竈ニ對スル三十萬斤ノ樟腦及ヒ十五萬斤ノ樟腦油ノ產出アリ其ノ收入樟腦ニテ九萬圓（百斤三十圓）樟腦油ニテ二萬二千五百圓（百斤十五圓）合計十一萬二千五百圓ノ收入アリ其ノ他五指山南庄方面ニ於ケル四百竈餘ノ製腦收入二十二萬五千圓ヨリ製腦費十六萬圓ヲ控除スルモ尙五萬五千圓ノ收入アリ初年ニ於ケル純收入ハ合計十六萬七千五百圓ニシテ尙一萬二千五百圓ノ剩餘

ヲ生ジ三年目ニ至レバ尚增加シテ四千竈ニ達セシムルヲ得ベク其ノ收入二百萬圓以上ニ達スルニ至レバ尚多クノ剩餘ヲ生シ工費ヲ償フテ餘リアリ況ヤ此事業タル特ニ蕃地開發上必要ナルノミナラズ臺灣統治上必要ノ事業ナルニ於テヲヤ

斯クノ如ク既ニ臺北花蓮間ノ道路開通スルトキハ自ラ交通ノ便開クルノミナラズ若シ全ク開通ノ曉ニ達セザルモ既ニ蕃地ノ一部ニ出入スルヲ得ベクシテ或ハ開墾業ヲ企圖スルモノアルベク又鑛物ヲ發見スルモノアルベク諸般ノ業沿道ニ興起スルニ至レバ忽チ多クノ部落ヲ形成シテ普通行政ノ區ニ變スベシ然ルトキハ順次警察ノ機關ヲ擴張シテ之ヲ保護シ益々之ガ發達ヲ謀ルトキハ曾テ淸國政府ニ於テ一時大兵ヲ用ヒテ開通シタル道路ヲシテ再ビ荊棘ニ蔽ハレ其ノ跡ヲダモ留メザル蕃地ニ變セシメタルガ如キ覆轍ヲ履ムコトナカルベシ豈ニ起ザルベケンヤ

以上述ブル所ハ單ニ臺北花蓮港間ノ開通策ニ過ギザレドモ尚順次太湖東勢角埔里社林圯埔及ビ臺東方面ニ林務署ヲ設置スルニ至レバ收入ヲ增シテ二百萬圓以上ニ達スルガ故ニ其ノ費用ヲ以テ尚前法ニ倣ヒ一ハ埔里社ヨリ璞石閣ニ

貫通シ一ハ臺南ヨリ蕃薯寮ヲ經テ卑南ニ通ズル線路ヲ開通スルニ足ルベシ是ニ於テ乎臺北臺中及ビ臺南ヨリ卑南ニ通ズル所ノ三縣道ヲ開通シ北部線ハ專ラ北蕃地內ヲ橫斷シ中央線ハ北蕃南蕃交錯地ヲ橫斷シ南部線ハ主トシテ南蕃地ヲ貫通シ北蕃ニ屬ズル二萬五千餘ノ蕃人ハ東西南三面ノ刺戟ニヨリ感化セラルヽノ外北部及ビ中央部ノ新開線ニ依リ又南蕃ニ屬スル六萬一千有餘ノ蕃人ハ東西南三面ノ刺戟ニヨリ感化セラルヽノ外南部及ビ中央部ノ新開線ニヨリ感化セラレテ開明ノ域ニ進ムガ故ニ其ノ進化今日ニ比シ著シク其ノ度ヲ進ムルヤ知ルベキナリ而シテ西部ニハ既ニ從貫鐵道ノ開通スルアリ三ケ所ニ於テ臺東地方トノ連絡貫通スルニ至レハ森林ハ益々利用セラレ土地ハ益々開拓セラレ農產物ノ種類ト產額トヲ增シ各般ノ事業亦益々勃興シ臺灣眞乎ノ富源是ニ至ッテ愈々全ク啓發セラレ尚豐富ナル財源ヲ得テ臺灣經濟獨立ノ基礎立ツニ至ルベシ之ニ超越スルノ明案妙策アラザルナリ豈起サヽルベケンヤ

新店溪上流蕃界ニ殖林スルノ企圖

(附記)苑モ此問題ノ興起ニ際シ內地人土倉某ハ臺灣北部新店溪上流ノ蕃界ニ殖林ヲ企ツルノ意見書ヲ提出セリ其ノ方法ニ關スル說述ノ略ニ曰ク

此廣漠ニシテ多望ナル山地ヲ開拓殖林セントスルニハ如何ノ方法ニ出ッベ

キヤ生蕃化用ト部分木制度トヲ以テ此業ヲ大成セント欲ス

生蕃化用　北蕃ノ兇獰猛惡ナルハ世人ノ認識スル所ニシテ今之ヲ殖林業ニ化用セントスト云ハヽ或ハ其ノ言ノ奇異ナルニ驚クアルベシト雖モ若シ能ク彼等ノ性情ヲ審カニスル時ハ生蕃化用ノ決シテ空想ニアラザルヲ知ラン蓋シ所謂ル生蕃ナルモノヽ心的作用ヲ觀察スルニ一言ヲ發シ一事ヲ行フニ智力ノ裁斷ヲ待タズ先ヅ感情ノ爲メニ動サレ而シテ意志ハ薄弱ニシテ空シク感情ノ奴隷トナルノミ些少ノ事故ノ爲メ暴怒シテ十年反目ノ冠讐トナリ反之一旦ノ感激ニ終身ノ兄弟ヲ盟フノ例ハ常ニ彼等ノ間ニ起ル所ナリ故ニ平生彼等ニ交ルニ正意誠心ヲ以テシ決シテ權謀詐術ヲ用ユルコトナク所謂ル赤心ヲ推シテ彼等ノ腹中ニ入ルヽニ於テハ感情的ナル彼等ハ其ノ中心ヨリ悦服シテ我ノ爪牙トナリ我ノ頤便ニ甘服スベキハ理論ト實際トニ徹シテ明白ナル事實ナリトス生蕃ノ御シ難キニ非ザルコト誠ニ斯ノ如シトスレバ殖林上彼等ヲ化用セントスルノ順序ハ先ッ道路ヲ開鑿シテ生蕃產出交換所ヲ屈尺方面ニ設ケ生蕃ニ敎フルニ現存木ヲ利用シテ從來ノ產物ニ加フルニ薪炭ノ製造製板及ビ搬出ノ方法ヲ以テシ進ミテ苗仕立ヨリ漸次造林ノ術ニ

及ビ之ニ其ノ勞力相應ノ報酬ヲ與ヘ衣服ヲ改良シ禮節ヲ敎ヘ風俗ヲ改メ漸々文明ノ生活ニ誘導スルニ在リ斯ノ如キトキハ樹林ノ發達ト共ニ彼等モ亦發達ヲ遂ゲン此レ所謂ル一擧兩得造林ト撫蕃ト併セテ其ノ効果ヲ收ムルモノト謂フコトヲ得ン

部分木制度　爰ニ所謂ル部分木制度トハ本邦吉野地方ニ行ハルヽモノニシテ山林保護者ニ對スル報酬トシテ收得ノ幾部分ヲ贈與スルノ謂ナリ例ヘバ某殖林家アリ某村ノ土地ヲ借リ其ノ村人ヲ役シテ造林業ヲ經營セントスル時ハ先ッ村人ニ借地料ヲ拂ヒ又村人ノ勞役ニ對スル日々相當ノ賃金ヲ給シ加之殖林ノ保護例ヘバ殖林家ノ最モ恐ルヽ山火ノ起ル時ノ如キハ一村老若男女ヲ論セズ晝夜ヲ別タズ直ニ往テ鎭靜ノ策ヲ講ズルヲ常トス此等ノ報酬トシテ殖林ノ幾部分ヲ割キテ一村共有ノ財產トナス之ヲ部分木ト稱ス故ニ此制度ハ不虞ノ災害ヲ永然ニ防キ部下ノ感情ヲ永遠ニ柔ケ彼等ヲシテ勞シテ怨ミス勉メテ益々勤メンコトヲ思ハシム殖林業ヲ經營スルニ於テ自他ノ利益ヲ永遠ニ保存シ而シテ始終善良ナル功果ヲ收ムルヲ得ルハ此制度ニ若クモノナカルベシ今此制度ヲ執ルニ於テハ蕃人ニ日々勞働ノ賃金ヲ給スル

ハ勿論更ニ殖林保護ノ報酬トシテ其ノ幾部分ヲ割キテ彼等ノ共有財産トナサザルベカラズ此ヲ以テ彼等ハ苗木植附ノ時ヨリ既ニ確定セル財産アリ植附増加スルニ從ヒテ彼等ノ財産モ亦從ヒテ増加スベキナリ將來彼等ノ進歩發達シタル曉ニハ既ニ此ヨリ年々幾多ノ所得ヲ生ジ彼等ハ優ニ仰キテ以テ父母ニ事ヘ俯シテ以テ妻子ヲ養フコトヲ得ン此ニ至リテ生蕃撫育ハ其ノ目的ヲ達シタルモノト云フベク而シテ林業ノ基礎牢固ニシテ亦動カスベカラザルナリ抑々殖林ノ業タルヤ纖緒事業ニシテ百年ヲ待チテ始テ其ノ實果ヲ收メ得ルモノナレバ古來因襲ノ久シキ本邦吉野ノ如キ土地ト雖モ詳細ニ驗スルトキハ平均五分ノ利ニ達スルモノ極メテ稀ナリ殖林事業ノ薄利ナル推知スベキナリ況ヤ本島ノ如キニ於テハ事始設草創ニ屬シ殊ニ撫蕃ト造林トヲ兼子行ハントスルモノナレバ其ノ難易固ヨリ以テ同律ヲ以テ論ズベカラザルモノアリ故ニ蕃人ニ與フベキ部分ヲ五厘以内トシ又第一期皆伐迄ハ土地無料使用ノ許可（以後ハ相當ノ借地料ヲ上納スベキモ）ヲ請ハザルベカラズ然ラザレバ此事業ハ到底着手スルノ見込アラザルナリ

之ニ對スル當局者ノ意見ハ本島ノ森林ハ針濶葉樹帶相連リ天然ノ美林ヲナスモ其ノ大部分ハ未タ嘗テ利用セラレタルコトナシ反之平地ニ近キ部分ハ性質上林地トシテ存在セシムベキ部分ヲモ開墾シ盡シ殆ト荒廢ニ歸シタル如キ處多シ故ニ森林經營ハ大ニ利用ノ途ヲ開キ同時ニ造林ノ業ヲ起スニ在リ而シテ其ノ作業ハ主トシテ擇伐作業ノ法ニ依リ天然下種ヲ行フノ最モ適當ナルヲ信ズ然リト雖モ荒蕪ニ歸シタル未立木地伐採跡地ハ新ニ人工造林ヲ加ヘザルベカラザル處少ナカラズ新店溪上流双溪口上流十里ハ地勢地質水利ノ便備ハルモノト假定スルモ此地ニ果シテ如何ナル樹種ノ生育スベキヤ生蕃化育ノ事ハ其ノ人ヲ得ルニ於テハ其ノ實ヲ得ルニ庶幾カランモ部分木制度ハ撫蕃ノ實擧ガリ全ク生産的生活ノ位置ニ立チ子孫ノ爲メニ貯蓄ノ念高マリタル後ニ非ザレバ決シテ好果ヲ生ズベカラズ一年ノ食料ヲモ貯フル能ハザル彼等ニ向ヒテ直ニ百年ノ長計ヲ授ケントス數十年ノ後彼等大ニ進歩スルニアラザル以上ハ部分木ノ契約ヲ施行シ森林ヲ保護セシムル事ハ蓋シ難ガルベシ然レドモ生蕃ニ一ノ財産ヲ授クルハ大ニ望マシキ事柄ナルニヨリ機ニ應ジ森林ノ一部ヲ分與スルヲ計ルハ適當ノ方法ト信ズ道路河浚工事ノ如キ其ノ距離及ヒ地形狀況ヲ視察セズンバ果シテ其ノ目的ヲ達シ得ルヤ斷定スベカラズ宜シク相當ノ技

術官ヲ派シテ調査ヲ遂ケ適當ノ方法ヲ議スルハ實ニ森林經營上又撫蕃上必要ノ義トスト雖モ之ニ在リシガ爾後數次ノ調査ヲ遂ケ終ニ其ノ意見ヲ採用シ之ヲ土倉某ニ許容シタリ

要スルニ蕃政問題ハ即チ蕃政問題ナリ而シテ作業的ニ森林ノ利益ヲ收ムルヲ以テ究竟ノ目的トセバ樟腦事業ハ其ノ重要ナル首位ヲ占メ蕃政局ノ如キ林政廳ノ如キ共ニ財源ヲ製腦ノ收入ニ仰カザルベカラザリシヲ以テ寧ロ樟腦ノ專賣制度ヲ創立シ之ガ施設ニ必要ナル特別機關ヲ組織スルニ如カズトノ議當局者間ニ起リ明治三十二年ニ及ビテ樟腦專賣施行方調査委員ノ特置トナリ結局同年六月樟腦局官制勅令(第二百四十六號)ノ發布ヲ見ルニ至レリ而シテ同官制ノ明文上樟腦局ノ掌理スベキ事務權限ハ直接ナル專賣關係事務ノ他ニ間接ナル樟腦ノ製造特許及ビ取締ニ關スル事項ヲモ掌理スルニ在リシヲ以テ蕃地經營施設ノ一部ハ從前ノ主管ニ專屬セシ民政局殖產課ヨリ分離セラレテ此特別機關ノ下ニ綜ベラルルニ至リ而シテ他ノ普通蕃務ハ總ベテ從前ノ慣行ニ從フコトヽナレリ(同月律令第十五號ヲ以テ臺灣樟腦及樟腦油專賣規則同第十六號ヲ以テ臺灣樟腦及樟腦油製造規則ノ發布アリタリ)樟腦局ノ設置ト共ニ從前蕃政ノ一部ニ屬セシ腦務ニ關スル施設ハ異レル機關ノ下ニ隷屬セシ結果普通蕃務ノ內容ハ主トシテ蕃人蕃

樟腦局ノ設置

臺中縣知事ノ蕃務報告

地ニ直接關スル事項ノミトナリシガ此事項ヲ將來如何ナル目的ニ向テ施設スベキカハ當時一ノ疑問ニ屬シタリ而シテ臺中縣知事ノ總督ニ報告セシ左ノ方法ハ現在ニ於ケル理蕃機關ノ下ニ出來得ベキ實効ヲ擧グルニ足ルノ計畫トシテ認ムルヲ得ベキモノナリキ而シテ是レ實ニ同縣拓殖課長小西成章ノ籌畫ニ出ヅト云フ

將來蕃人ヲ開發利導スルノ目的ヲ以テ施設スベキ種類ハ其ノ事項多々アリト雖モ要スルニ授業授產ヲ先ニスルニ在リ而シテ大湖支署管內蕃社ニ在リテハ比較的農業上ニ進歩スル所アルヲ以テ授產ノ道先ツ是ヨリ入ルヲ便トス即チ當管內蕃人ハ陸稻粟黍等ノ穀類蘿蔔西瓜胡瓜等ノ蔬菜及ビ麻煙草等ノ培養ハ其ノ方法ヲ理解シ農耕ニ於テ稍々進歩セシ跡アルヲ以テ此點ヲ利用スルヲ得ベシ思フニ彼等ヲ發達利導センニハ其ノ方法手段種々アルベシト雖モ今ノ時ニ於テ少善ヲ奬進シ兇暴ヲ匡正スル之ヨリ急ナルハナシ而シテ彼等ガ百年ノ胎敎ヲ以テ遺傳セラレ因襲ノ久シキ今日尙ホ全身ニ固着凝結セラレタル掠首威嚇强請等ノ精神的頑迷不靈ノ點融解消滅セントセバ先ヅ物質利器ヲ以テ之ヲ分解融離スルヲ可ナリトス其ノ難ナルハ簡ヨリ入リ遠キハ近キヨリ及ボス

ノ理ニ依リテ先ツ彼等ガ比較的進歩ノ點ヨリ之ガ發達改善ヲ計リ延キテ精神上ノ改善ヲ期スルニ在リ彼等ガ農業上ニ抱ケル觀念及ビ耕作上ニ於ケル方法ニ就キテ比較的進歩シ且ツ改善ノ見込アルヲ楷トシ內ニ足リテ外ニ待ツコト少ナク衣食足リテ禮節ヲ知ルニ導クヲ最モ益アリトナス

以上述ブルカ如ク授產ヲ以テ善々開發ノ實行ヲ試ミンガ爲メニ目下彼等ガ其ノ必要ヲ感ジ且ツ耕作上ノ方法ヲ解スル米粟黍及ビ麻煙草ノ類ノ良種子ヲ撰定給與シ其ノ耕作培養ヲ奬勵シ今後着々彼等ガ衣食ノ資ヲ豐富ナラシメ以テ掠首ヲ爲サザルモ豐饒ナル收穫ヲ得ルノ道アルヲ悟ラシメ(彼等ハ播種季ニ當リテ收穫ノ豐饒ヲ祈ラン爲メニ掠首ヲナシ又收穫季ニ於テ祭禮ニ要スル掠首ヲナシ以テ祖先ノ靈ニ告グルノ式アリ然レドモ已ニ播種期ニ於テ掠首ヲ爲サズシテ單ニ良種子ト好耕作トノ結果ニ依リテ收穫ノ豐饒ナルヲ見バ又收穫期ニ臨ミテ必ズシモ人頭ヲ捧ケテ祖先ノ靈ヲ祀ルノ要ナキヲ悟ルベシ)一ハ樂ミテ農業上ノ勞働ニ服セシメ以テ威嚇強請等ノ惡行ニ遠ザカラシメ而シテ之ガ奬勵法トシテハ後來蕃山天然產物ノ交易ヲ成ルベク排除シテ易フルニ彼等ガ勞力ニ依リテ得タル麻煙草穀等ヲ以テセシムル如キ、亦將來開發的事業ノ一法ナリト信ズ

(附記ノ一)三十二年ノ初メ臺北縣知事ヨリ蕃地出入者取締法ニ關シ上申スル所アリ其ノ要ハ明治二十九年蕃地出入ニ關スル取締ノ府令ハ單ニ蕃地內ニ於ケル營業者以外ニ適用セラルヽノミニシテ官廳ノ許可ヲ得テ營業ニ從事スル者ニ對シテハ何等ノ規程アルコトナク而シテ是等營業者ノ備人腦丁中ニハ元來無賴ノ徒多キヲ以テ動モスレバ紛爭ヲ起シ粗暴ノ行爲ヲ演スル者アリ蕃政上支障ヲ來スコト少カラス殊ニ將來蕃界ノ事業旺盛ヲ極ムルニ從ヒ益々是等ノ徒增加スルハ必然ノ勢ナリサレバ到底今日ノ如キ無檢束ノ儘ニ放任スベカラス蕃界ノ安寧ヲ維持シ事業ノ發達ヲ期スル上ニ於テ是等ノ營業者ニ對スル相當ノ取締法ヲ制定スルハ刻下ノ急務ト信スルヲ以テ之ガ詮議アリタシト云フ

ニ在リ之ニ對シ總督府ニ於テハ目下樟腦業ヲ本府ノ專賣ト爲シ同時ニ臺灣樟腦及ヒ樟腦油製造ニ關スル規則ヲ制定スベキ豫計中ナルヲ以テ是等ノ取締ニ關シテハ此細則中ニ規定スベク又換蕃特許人及ビ之ニ附隨スル者ニ對シテハ別ニ規定スル所アルベキ旨內牒シタリキ

(附記ノ二)蕃地ニ於ケル事業ノ興起ニ伴ヒ蕃界ニ入リテ居住スル者ノ漸ク多キ

蕃婦ヲ娶ル者ニ對シ取締ヲナスノ議

ヲ加フル結果內地人或ハ本島民ニシテ蕃婦ヲ娶ル者ナキヲ保セズ現ニ前年以來此等ノ傾向アリシヲ以テ臺北縣下三角湧辨務署長ハ或ル方法ニヨリテ之ガ取締ヲ爲スヲ必要ナリトシ同縣知事ニ左ノ上申ヲ爲セリ

曩ニ蕃地內ニ出張所並派出所ヲ設置シテヨリ以來銳意其經營ニ努力罷在候處往々意外ナル出來事ノ爲メニ支障ヲ來スコト尠カラズ候就中蕃人ト結婚シ又ハ蕃地內ニ家屋ヲ建築スル事等ハ寔ニ不測ノ紛擾ヲ生ジ延キテ蕃人間ノ爭論トナリ再ヒ轉シテ掠首ノ兇行ヲ惹起スルコト有之候條自今相當ノ規程ヲ設ケ此等ヲ取締ルニアラザルヨリハ蕃地ノ安寧ヲ保チ蕃人ノ化育ヲ擧グルコトハ至難ノ業ニ有之候依テ蕃女ヲ娶ラントスル者ハ必ズ當該官署ノ許可ヲ要スルコトヽシ若シ違反スルトキニハ相當ノ制裁ヲ附シ蕃地內ニ於テハ許可ヲ受ケタル營業者ト雖モ其業務ニ着手スルトキ又ハ新ナル地ニ家屋ヲ建築シ或ハ道路ヲ開作シ或ハ竹木ヲ伐採スル等ハ必ス該地蕃人ノ承諾ヲ得テ當該官署ニ屆出テ其ノ認可ヲ要スルコトヽシ若シ違反スルトキハ是亦相當ノ制裁ヲ加ヘ以テ此等ヲ取締ルハ當時ノ狀勢ニ於テ最モ必要ト被存候條右ノ狀情其筋ヘ御申立相成リ蕃女ト婚儀ヲ爲ス者ト蕃地內ニ於テ營業ニ從事スル者ニ關シ相當制裁ア[illegible]規程ヲ設ケラルヽ樣致度此段及上申候也

當時之ニ對シ凡ソ蕃女トノ結婚ハ不完全ナガラ兩者ノ合意ヲ以テ相當ノ婚儀ヲ行フ上ハ之ニ干涉スルコト稍穩當ナラサルノ感アリト雖モ是曾ニ當事者間ノ關係ノミニ止マラス一旦ノ齟齬ヨリ直チニ蕃人全體ノ紛擾ヲ誘起スルノ虞アリ之ヲ既往ノ事實ニ徵スルモ事件發生ノ時ハ既ニ治安ヲ失シタル時ナリトシ取締法トシテ豫メ其旨當該官署ニ屆出テ認可ヲ得テ結婚ヲ約スベク但當該官署ハ特ニ命シテ證人ヲ立テシムルコトアルベク若シ之ニ違フ時又ハ結約後相當ノ理由ナク違約シ婚儀ヲ遂ケサル者ハ相當禁錮又ハ罰金ニ處スルコトヽシ證人ハ結婚申込人ニ於テ婚儀前後ニ於テ違約スルトキハ之ヨリ生スル辨償金ヲ負擔シ又蕃女引取ノ意ニ任スル等ノ條項ヲ具備セバ可ナラントノ議アリシガ結局同縣知事ハ管下蕃界ニ近接スル各辨務署長ニ命ジテ左ノ事項ヲ調査セシムル事トナセリ

一嫁娶ノ際相互ノ契約及ヒ金錢物品贈與ノ程度

一蕃婦ヲ娶リシモノノ職業氏名

一內地人ノ妾ト爲リタル者ハ再ヒ蕃人ニ嫁スルコト能ハザルカ

一遺棄セラレタル者アリヤ否若シ有リトセバ其ノ後該蕃婦ノ動靜及ヒ蕃人ノ感情如何

一內地人ニ嫁スルハ其ノ意中偕老ノ念アリヤ否或ハ飽食暖衣ノ慾心ニ驅ラレ一時身ヲ投ズルノ意ナルヤ否

蕃人ノ製腦特許ニ關スル臺北縣知事ノ上申

八月臺北縣知事ヨリ蕃人ノ製腦特許ニ關シ左ノ上申ヲナセリ

樟腦製造ノ儀ニ付テハ屢々御內訓ノ次第モ有之本縣ニ於テモ數回嚴重ナル內訓ヲ發シ十分取締勵行ヲ期シ樟腦專賣法施行上遺算ナカランコトヲ勉メ種々處分上ノ困難アリシモ悉ク之ヲ排除シ今ヤ全ク其ノ處分ヲ了シ聊遺憾ナキニ至レリ然ルニ新竹辨務署管內上坪方面ハ昨年討伐ノ結果蕃人撫育ノ成績著シク良好ニシテ十八兒社ノ如キハ上坪ニ移住スルモノ十九名ノ多キニ及ヒ專ラ農業ニ從事シ傍ラ土人等ノ製腦所ニ使役セラレ其ノ製腦法ヲ知得シ自ラ之ヲ製センコトヲ欲シ屢々許可ノ儀ヲ三課員ニ迫リ辨務署長ヨリ願書進達アリシヲ以テ之ヲ受理セザリシ所尙又同署ヨリ上申モ恰モ前記整理ノ時機ニ際セシヲ以テ之ヲ却下シタルモ其ノ次第モ有之候ニ付主トシテ該地附近ニ遺棄セラレアル樟根株ヲ利用シ先ツ試驗的ニ十個ノ竈數ヲ限リ製腦ヲ許可セラレ度尤モ縣下全般ヲ通シテ八月以降年度內ニ製出スベキ見積額ハ豫算額ニ對シ樟腦凡ソ貳拾萬斤樟腦油拾萬斤ノ增額ヲ來タスモ竈數ニ於テハ本年十二月以降期限滿了ノモノ多ク現在數ヨリ以上更ニ增灶セザル限リハ豫算額ニ對シ四百有餘個ノ減少ヲ來シ猶ホ其ノ產額ノ如キモ樟樹ノ濫伐樟腦ノ密造濫造等嚴重取締ヲ爲スニ於テハ多少其ノ產額ヲ減ジ豫算額ニ近カラシムルコト信シテ疑ハサル所ナリ故ニ今蕃人ニ前記ノ竈數ヲ許可セラルヽモ平均一ケ月一竈ニ付六十斤ト見做シ計六百斤ニシテ九月以降年度末迄ニ僅ニ四千貳百斤ノ製出ニ過ギズシテ敢テ豫算ニ影響ヲ及ボス如キ虞無之且ツ之ヲ利用シ以テ蕃人開發ノ端緒ヲ開カバ撫蕃ハ勿論山林ノ取締等ニ至大ノ便宜ヲ得ベク誠ニ必要ノ儀ト被存候御許可ノ上ハ辨務署第三課員ヲシテ十分之ヲ監督セシメ制規ノ手續ニ依リ著業セシムルハ易々タル次第ニ有之候條特ニ御詮議相成度云々

之ニ對スル當局者ノ意見ハ該上申ノ趣意タル從來ノ行掛上ヨリスルモ又蕃人授產ノ必要上ヨリスルモ特別ノ詮議ヲ以テ彼等ヲシテ製腦ニ從事セシムルノ必要ヲ認ムル然レドモ樟腦及ビ樟腦油製造規則ニ依リ彼等ニ特許ヲ與ヘンカ之ニ依リテ製腦權ハ得ラルベキモ無智ノ蕃人ハ該規則ニ定メタル彼特許人ノ義務ヲ履行

シ得ザルノミナラズ規則所定ノ制裁ノ如キハ遂ニ實行スベカラザルモノ多カルベシ要スルニ蕃人ハ元來一定ノ規則ヲ以テ律スベカラザル者ナルニ由リ普通ノ人民ト異ナリ到底斯カル權利ヲ取得スベキ資格ナキモノト斷定セザルベカラサルノミナラズ製腦取締勵行ノ時機ニ際シ之ヲ特許スルハ穩當ヲ欠クモノアリ然ルニ新竹方面ニ於テ蕃人ヲ使役シ製腦ノ試驗ヲ行フハ專賣制施行ノ上ニ於テ必要ナル事件ニシテ前記ノ蕃人モ依リテ以テ製腦ニ從事スルヲ得所謂一擧兩得ノ方法ナリト謂フニ在リ乃チ民政長官ヨリ臺北縣知事及ヒ新竹樟腦局長ニ左ノ通達ヲ爲シタリ

（臺北縣知事へ通達）十八兒社蕃人製腦特許ノ儀ニ付上申相成候處右ハ該社蕃人及其腦灶ヲ使用シ試驗製腦施行ノ事ニ決定相成新竹樟腦局長ヲシテ之ヲ掌理セシメラレ候本件ハ別ニ指令相成候云々

（新竹樟腦局長ニ通達）貴管內十八兒社蕃人及其所有ノ腦灶ヲ使用シ奧十八兒ニ於テ腦灶五個中央寮ニ於テ同二個中十八兒社ニ於テ同三個ニ就キ試驗製腦施行ノ事ニ決定相成候條夫々施設可相成云々

是ニ於テ上坪樟腦試驗所ハ十一月十八日ヨリ開始セリ

試驗製腦施行

製腦反則者ノ蕃人ニ係ルトキノ取扱方

曩ニ公布セラレタル臺灣樟腦及樟腦油專賣規則第十一條ニ據レバ樟腦及樟腦業者樟腦及樟腦油ニ他物ヲ混和シタルトキハ拾圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ樟腦及樟腦油ハ何人ノ所有タルヲ問ハス之ヲ沒收ストアリ然ルニ十一月ニ入リ臺北縣知事ヨリ製腦犯則者ノ蕃人ニ係ルトキノ取扱方ニ關シ總督ニ上申シ其ノ解決ヲ請ヘリ其ノ要旨ハ蕃人ノ樟腦業者ニシテ專賣規則第十一條ノ罪ヲ犯セシ者アリ之ガ制裁ハ普通人ト同樣ニ加ヘラレンコト頗ル憫諒スベキ事情アルヲ以テ之ヲ行政處分ニ付シ其ノ不正樟腦及ヒ樟腦油ヲ樟腦局員及ヒ辨務署第三課員立會ノ上本人ノ面前ニ於テ燒棄セバ以テ將來是等ノ弊ヲ洗除シ得ベキ見込ニ付特別ノ詮議ヲ以テ之ガ處分方承認セラレタシト謂フニ在リ之ニ對シ總督府ハ生蕃ノ智識ハ其ノ程度普通人ニ比シテ劣等ナルハ已ニ認ムル所ナルカ故ニ今其ノ所爲ト責任トヲ論ズルニ方リテモ又酌量ヲ加フベキ点少カラザルベシ加之蕃人ハ概シテ之ヲ普通行政ノ區域外ニ置キ努メテ權利義務ヲ負ハシムルヲ避クルノ方針ナルニ彼等ニ製腦ノ特權ヲ與ヘタルハ其ノ義務者タルコトヲ普通人ト同視セルモノヽ如クナレドモ是レ舊政府時代ニ得タル權利ヲ繼續セシメタルニ外ナラス（（舊令第二十六號）ノ結果トシテ）斯ノ如ク彼等ハ其ノ智識ニ於テ普通人ニ劣ルモノト認メラレ行

政上度外ニ置カレ其ノ得タル權利ハ偶法令ノ發布ニ由リテ附與セラレタルモノト認ムルヲ以上ハ其ノ所爲ト責任トヲ論ズルニ方リテモ亦之ヲ普通人ノ外ニ於テ處理スルヲ要ス且ツ彼等ニ向テ求刑シ難キ事情ノアリ而モ普通人ト同一ノ刑罰ヲ科シテ果シテ懲戒ノ目的ヲ對スルコトヲ得ルヤ否未タ以テ知ルベカラス之ヲ要スルニ出來得ル方法ヲ以テ犯罪ニ適應セル懲戒ヲ加ヘ以テ將來ヲ戒ルヲ得策トス卽チ臺北縣知事ノ施サントスル處分法ハ的ニ其ノ當ヲ得タルモノトス尙現下撫蕃上最モ意ヲ用ウベキ時ニ際シ適當ノ方法ヲ擇ブハ當然ノ事ニシテ本件ノ處理ノ如キハ實ニ已ムヲ得ザルニ屬ストイフニ歸セシカ唯法規以外ノ處分ヲ公認スルハ妥當ヲ缺クノ虞アリトシ民政長官ヨリ左ノ通達ヲ爲セリ

製腦犯則者ノ蕃人ニ係ルトキノ取方ニ付上申相成候處右ハ專賣法施行上指令ノ限ニアラザルモ蕃人ヲ懲戒スルニ於テ普通ノ方法ト認メ候條上申ノ通取計ラハレ可然候云々(十二月七日)

樟腦局ノ新設以來製腦事業漸ク盛ンニシテ蕃地ニ出入スル者ノ數漸ク增スト共ニ蕃害亦頻々ナルニ至リシヲ以テ(三十二年度末ヨリ三十三年度初ニ彌リ)大ニ險制ヲ擴張シ臺北臺中二縣宜蘭一廳ノ管內卽チ北蕃ノ占居區域ニ總テ防蕃機關ヲ

險勇ト險丁トノ稱呼ヲ定ム

設クルコトヽシ民設ニシテ補助費ヲ與フルモノヲ險丁官設ノモノヲ險勇ト稱シ之ヲ區分セリ(其ノ後三十五年九月新竹廳下南庄事件マデハ僅ニ庄界ノ防備ニ止リ殆ト線路ニ異動ナシ斯クテ內訓ヲ以テ險勇備使規程ヲ定メ臺北臺中兩縣知事宜蘭廳長ニ通達セシハ三十三年四月トス(附錄ノ防險制梗概參照)

險勇備使規程ヲ定ム

衆議院ニ於ケル蕃政ノ方針ニ就キテノ質問

當時蕃政ノ施設ニ關シテ消極的ニ失セスヤト論議スル者アリシガ實際運施上ニ於ケル消長ハ免カレサリシコトハ三十二年第十三回帝國議會ニ於ケル左ノ衆議院議員ノ質問ニ對スル政府ノ答辯ニヨリテ知ルヲ得ベシ

(野間五造氏提出)

臺灣施政ニ關スル質問

第八生蕃ニ關シテ今後當局者ノ方針如何

政府ノ答辯書

第八生蕃ニ關シテハ恩威竝ヒ布キ漸次化育ノ域ニ達セシメンコトヲ期ス

明治三十年生蕃刑罰令ヲ特定スルノ議アリシ當時之ガ調査委員ハ蕃人ノ懲罰法ハ別ニ之ヲ設定セズ等シク現行ノ帝國刑法ヲ適用スベキハ勿論ニシテ兇行者アルニ當リテハ寬宥ニ失セズ法律ノ範圍內ニ於テ臨機ノ處分ヲ爲スベシトノ方針ヲ決定セシガ三十二年來蕃人ノ犯罪者ニ對シ法院ハ之ニ普通刑法ヲ適用セシ一

二ノ事例ヲ生ゼシヨリ蕃人犯罪ニ關スル處理問題ハ當局者ノ議ニ上リ蕃人ハ現下尚ホ治外ノ民タルノ觀アルモ特ニ法規ニ於テ之ヲ除外セザルノ間ハ若シ其ノ犯罪アリタル場合ニ於テ同一ニ之ヲ律セザルヲ得ザルナリ頃者法院ニ於テ一二蕃人ノ犯罪ニ關シ普通刑法ヲ適用セルハ是レ寔ニ已ムヲ得ザルノ結果ナリ然レドモ未ダ刑罰ノ何タルヲ解スル能ハザル蕃人ニ對シ一般法律ヲ以テ之ニ擬スルハ實際上ヨリスルモ理論上ヨリスルモ共ニ不可ナルヲ認ム因テ蕃人ニ對スル一般取締方ニ制定スルマデハ其ノ犯罪ニ付キテ成ルベク之ヲ行政處分ニ委スルノ方針ヲ取リ檢察官ヲシテ直チニ之ヲ起訴セザラシムルヲ要スト云フノ理由ニヨリ三十三年一月十二日總督ヨリ各法院檢察官長ニ左ノ内訓ヲナセリ

蕃人ノ犯罪事件ヲ起訴セントスルトキノ心得方内訓

蕃人ノ犯罪事件ヲ起訴セントスルトキハ檢察官長ハ臺灣總督ニ具申シ其ノ指揮ヲ受クヘシ

蕃地占有ニ關スル律令

二月律令第七號ヲ以テ蕃地占有ニ關スル法令ヲ發布スル曰ク

蕃人ニアラサル者ハ何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ラス蕃地ヲ占有シ使用シ其他權利ノ目的ト爲スコトヲ得ス但別段ノ規定アルモノハ此限ニアラス

前項ノ規定ニ違背シタル者ハ五圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處シ又ハ十一日以上六ケ月以下ノ重禁錮ニ處ス

本律令案ハ初メ蕃地ノ讓受及使用ニ關スル律令ト稱シ蕃地ノ讓受ハ當分ノ内之ヲ禁スル犯ス者ハ拾圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ又ハ十一日以上六ケ月以下ノ重禁錮ニ處ス蕃地ハ舊慣又ハ特別ノ規定アル場合ノ外ハ當分ノ内臺灣總督府ノ許可ヲ得スシテ之ヲ使用スルコトヲ得ス犯ス者ハ參圓以上參拾圓以下ノ罰金ニ處シ又ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處スト云フニ在リシガ臺灣評議會ニ於テ蕃地ニ關スル契約ノ件ト改メ何等ノ名義ニ拘ハラズ蕃地ヲ目的トスル契約ハ當分ノ内之ヲ爲スコトヲ得ス但舊慣又ハ特別ノ規定ニ依リ又ハ臺灣總督ノ許可ヲ得テ蕃地ヲ使用スルハ此限ニアラズ前項ノ規定ニ違背シタル者ハ五圓以上百圓以下ノ重禁錮ニ處スト修正シ更ニ内務省ト交涉ノ結果修正ノ必要ヲ認メ之ヲ蕃地ニ關スル律令ト改メ臺灣總督府評議會ニ於テ上文ノ如ク決議シ勅裁ヲ經ルニ至レリ今同律令制定ノ理由ヲ擧クレハ左ノ如シ

世運ノ進歩ト共ニ蕃地ノ事業ハ益々世間ノ注目ヲ惹キ來リ漸次内地人土人又

ハ外國人ノ蕃地ニ入込ム者多キヲ加フルニ從ヒ勢ヒ蕃人ノ無智朦昧ヲ奇貨トシ土地森林等ニ關シ種々ノ惡計奸策ヲ運ラス者ヲ生シ爲ニ蕃地ノ安寧ヲ壞リ延キテ蕃人統治上ニ至大ノ障害ヲ來タスノ恐レアリ今ニ於テ蕃地ニ關スル蕃人トノ諸種ノ契約ノ如キハ當分ノ間一切之ヲ禁スルハ公益上極メテ必要ナル事ニ屬ス

加之蕃人ノ農業ノ如キ一所ニ定著セス專ラ自然ノ地味ヲ逐ヒテ轉輾耕作スルニ過キス土地所有ナル觀念ノ有無ニ至リテハ頗ル疑ハシキモノアリ隨テ國法ヲ以テ彼等ノ土地所有ヲ認ムベキヤ否ヤハ暫ク未定ノ問題トシテ存置セサルヲ得ス此點ヨリ見ルモ蕃人ヲ對手トシタル土地ニ關スル契約ハ暫ク之ヲ禁止シ以テ權利利益ノ紛ヲ豫防スルノ手段ヲ執ルノ必要アリ

第一項但書ヲ設ケタルノ理由ハ蕃人ニシテ舊慣上蕃地ヲ使用スル者ノ如キ又蕃人以外ノ者ニシテ特別ノ規定若クハ官ノ許可ニ依リ製腦開墾殖林事業等ニ從事スル者ノ如キハ右禁令中ヨリ除外スルノ妥當ナルニ依ル蕃地ノ區域ニ至リテハ蕃人勢力ノ消長ニ依リ時ニ多少ノ變更ナキニアラザルモ各地自ラ蕃地ト蕃地ニアラザル地域ノ經界アリテ存ジ此規則ノ施行上敢テ困難アルヲ見サルナリ

蓋シ舊政府時代ニ於テ二百年間ニ亘リ臺灣蕃地ノ經營ニ一大支障碍タリシハ移殖漢人カ蕃人ノ憩蒙ニ乘シ肆ニ蕃地ノ侵佔ヲ企テ蕃人ノ感情ヲ害セシニアリ蕃地經營ノ政策ヲ畫ズルニ先チ前車ノ覆轍ニ鑑ミ後車ノ安全ヲ期スヘキ必要アリ故ニ二十九年蕃地出入ニ關スル取締ノ府令ヲ規定セシモ要ハ蕃地出入ノ制裁タルニ過ギサレハ以テ蕃地侵佔ノ弊ヲ矯ムル能ハズ況ヤ蒙昧ナル蕃人等ハ入蕃者ノ益々增加スルニ從ヒ自然蕃地ヲ侵佔セラルヽヤヲ疑ヒ時ニ不測ノ危害ヲ生スルノミナラス中ニハ此目的ヲ以テ入蕃スル者ナキヤヲ保シ難シ是ヲ以テ更ニ法令ヲ發布シ以テ弊害ヲ未然ニ防止スルニ至リシハ時宜ニ適セル未雨ノ綢繆タリシナリ

(附記)此律令ニ對シ恒春辨務署長ハ臺南縣知事ニ向ヒ具申スラク

本年二月律令第七號ヲ以テ蕃人ニ非ル者ハ蕃地ヲ占有シ使用シ其他權利ノ目的ト爲スコトヲ得サル旨規定セラレ候處當地方ハ從來ノ慣行ニヨリ本島人ハ蕃人ト契約ヲ爲シ附近蕃地ノ山林樹木ヲ買ヒ受ケ之ヲ利用シ生計ヲ營ミ來レリ即チ

一木材ヲ伐採シ販賣ノ目的ヲ以テ區域ヲ限リ年次ヲ定メ山林ヲ買ヒ受クルモノ

二薪炭ヲ採出シ販賣ノ目的ヲ以テ或地一帶ノ雜木ヲ時期ヲ以テ買ヒ受クルモノ

三自家ノ建築材トシテ臨時樹木ヲ買ヒ受クルモノ

四自家ノ燃料ニ供スル爲メ物品ヲ贈リ隨時雜木ヲ採取スルモノ

當地方ノ山林ハ悉ク蕃地ニ屬シ本島人ノ地域ニ屬スルモノ無之ニヨリ右各項ノ如ク蕃人ヨリ買ヒ受ケ之ニ賴テ生計ヲ補ヒ或ハ專業ト爲シ賴テ以テ生活ヲ營ムモノ少カラス蕃人モ亦之カ爲メ利益ヲ得相互ノ便宜ニ有之候處右各項ノ如キハ律令第七號ノ制裁ヲ受クベキ限ニ無之モノト考ヘラレ候得共何分ノ御指示相成度云々

之ニ對シ臺南縣知事ハ伺出ノ事項ノ如キハ明カニ蕃地ヲ占有使用シ竝ニ權利ノ目的物トシテ官有森林原野産物ヲ賣買スル者ト認ムベキガ故ニ當然律令第七號ノ制裁ヲ受クベキモノタリ隨テ何分ノ取締方法ヲ具シテ稟議スベク但タ官有森林ヨリ自家用燃料ヲ採取スル者ノ取締ハ刻下俄ニ規則ノ勵行ヲ期シ難キ事情ナキニ非ルヲ以テ暫ク舊慣ニ依ルノ已ムヲ得サル旨回答シタリ

殖産協議會ニ於ケル兒玉總督ノ對蕃方針訓示

同月間殖産行政上地方ニ於ケル施設ノ狀況ヲ審該シ因リテ以テ中央地方間ノ氣脈ヲ十分ニ疏通シ且ツ將來施設スベキ事務ニ關シ協議セン爲メ地方殖産當務者ヲ招集シ總督府内ニ殖産協議會ヲ開設セシガ(本會ニ於ケル蕃務關係ノ協議事項ハ(十三)防蕃和蕃及其ノ取締ニ關スル事項(十四)蕃地内若シクハ蕃界事業ノ取締及其ノ施設ニ關スル事項(十五)蕃地調査及蕃語研究ニ關スル事項(二十七)撫蕃費ノ使用方法等ナリキ其ノ終了ノ日兒玉總督ハ該關係ノ諸員ヲ官邸ニ召集シ特ニ對蕃方針ニ就キテ大要左ノ趣旨ノ訓示ヲ與ヘタリ

今ヤ平地ニ於ケル各般ノ事業漸ク緒ニ就キ當ニ進ミテ蕃界ノ拓殖ニ歩武ヲ移サヽルベカラス而シテ此等ノ蕃界ニ棲息スル蕃人ハ頑蠢馭シ難ク野性禽獸ニ齊シ若シ夫レ之ニ酒食ヲ饗シテ慰撫ヲ加ヘ乃チ依リテ誘導ヲ就サントスル如キ長年月ノ間ニハ或ル程度マテ進化シ得ラルベキモ刻下新領土經營ノ急要ハ決シテ斯カル緩慢ナル姑息手段ヲ准サス宜シク速ニ鋭意シテ其ノ前途ノ障碍ヲ絶滅セシムルコトヲ期スベキナリ云々

蕃地ヲ管轄ス

是月地方官々制ノ改正(勅令第三十二號)ニヨリテ辨務署ノ廢止變更トナリ蕃地ヲ

ル辨務署ノ減　管轄スル辨務署數ヲ左ノ如ク減ジタリ(臺東廳ハ舊ニ依リ直轄タル外宜蘭廳モ辨務署ヲ撤裁シ直轄トナレリ)

少

臺北縣　深坑辨務署
　　大嵙崁辨務署
　　新竹辨務署
臺中縣　臺中辨務署
　　南投辨務署
　　斗六辨務署
　　苗栗辨務署
臺南縣　蕃薯藔辨務署
　　阿猴辨務署
　　東港辨務署
　　恒春辨務署
　　嘉義辨務署

臺東ノ蕃婦タ　二月九日賞勳局ヨリ臺東廳下プユマ族ノ蕃婦タタララニ對シ金四十圓ヲ賞賜セ

タニ對スル行賞

ラルタタララハ清ノ同治三年(我ガ元治元年)三月卑南社ニ於ケル酋長家ニ生レ父ヲアソシヨソ母ヲシルコト曰フ乃チ其ノ第二女ナリ年十九ニシテ卑南新街ニ住スル漢人張新才ニ嫁セシガ資性敏慧ニシテ勇俠ノ氣ヲ負ヒ夙ニ自族語ノ他ニアミスハイワン二族及ヒ漢人ノ土語ニ通ジ舊清國政府時代ニハ蕃人通事ノ職ヲ奉ジ(月手當金六元ヲ受ク)克ク附近各蕃族ヲ操縱スルノ勢力ヲ有シタリキ明治二十八年臺灣改隷ノ際卑南ニ駐劄セル清國守將劉德杓ナル者臺東州下ニ在ル兵勇ヲ煽動シテ新開園ニ據リ我レニ反抗ヲ企テ名ヲ軍粮ヲ資スルニ藉リ到ル所ノ民庄蕃社ヲ劫掠シ民蕃之ヲ苦シム而シテ當時我ガ軍隊ハ未タ此方面ニ入リ掃蕩ニ從フニ及ハザリシカバタタハ我ガ軍隊ノ速ニ來リ鎮撫センコトヲ希ヒ先ツ卑南社頭目クララウニ勤メ部下蕃丁數名ト共ニ恒春ニ到リバイワン族下蕃潘文杰ニ依リ共ニ恒春出張所長(臺南民政支部ニ屬ス)ニ請フニ叛徒ノ鎮壓ヲ以テシ且ツ詳ニ臺東地方ノ情形ヲ申告セシム同出張所長相良長綱ハ此申請ニ接シ臺東鎮撫ノ忽ニスベカラザルヲ知リ二十九年五月十八日通譯中村雄助及ヒ潘文杰等ヲ率井テ卑南ニ赴キ匪魁劉德杓ニ歸順ヲ促スコト數次ニ及フモ彼レ頑然應セス是ニ於テタタニ命スルニ義勇兵ヲ所在蕃人中ニ募リ自ラ指揮シテ匪賊ヲ討夷スベキヲ以

テスタダ乃チ命ヲ奉シ直チニ卑南社頭目及ヒ長老等ト謀リ募リテプユマ族ノ壯丁數百名ヲ得自ラ武裝ヲ整ヘ五月二十五日匪賊ノ根據新開園方面ニ向ヒ同夜ハ大埔尾ノ原野ニ露營シ翌二十六日黎明行ヲ起シ雷公火社ニ於テ叛徒ニ遭遇シ交戰約一時間ニ亘リテ之ヲ擊退シ(此戰ニ叛徒八名ヲ斃シ銃器十挺ヲ奪フ而シテ蕃兵ハ僅ニ二名輕傷ヲ負ヘルノミ)此夜ハ雷公火社ニ宿營ス是ヨリ先キ二十五日ノ夜我ガ軍隊ノ海路卑南ニ上陸シ直チニ新開園ニ向ヒテ出發セシヲ以テ蕃兵ヲシテ同社ニ留リ我ガ軍ノ到ルヲ待タシメ六月一日新開園ノ大攻擊ヲ開始スルヤ乃チ蕃兵ヲシテ之ニ參加シ地理ノ嚮導及ヒ粮餉ノ搬運等ニ當ラシメシガタメノ指揮宜キヲ得テ蕃兵出精事ニ從フ叛徒ノ掃蕩ノ功ヲ奏スルコト速カナリシハタメノ勢援ニ由ルモノ尠カラサリキ(匪魁劉ハ此一敗後中央山脈ヲ越エ雲林埔里社ノ間ニ竄匿シ蹤ヲ臺東ニ絕テリ)是ニ於テハ土匪ノ出沒生蕃ノ加害等アリ內地ノ如ク軍純ナル警察機關ヲ以テ足レリトセストノ理由ニヨリ稅關監吏補巡查及ヒ看守ヲシテ或ハ保護ノ爲メ或ハ自衞ノ爲メ銃器ヲ携帶セシメ得ルノ勅令ヲ發布セラレシカ爾後臺灣ニ於ケル行政機關ノ推進ニ伴ヒ上記ノ吏員以外ニ於テ之ヲ携帶スルノ必要アリ殊ニ防蕃機關タル隘勇ニ至リテハ人民ノ生命財產ヲ保護シ不法ノ攻擊ニ對スル防禦ノ任務ハ巡查ト異ナルコトナキニ由リ現ニ之ヲ携帶セシメツヽアルモ別ニ據ルベキ規定ナク勅令ニ反スルノ嫌ナキ能ハズ由リテ該勅令中既定吏員ノ名稱ノ下ニ其ノ他ノ吏員ノ文字ヲ加ヘ便宜必要ニ應シ勅令ヲ適用スルヲ得ハ運用ノ便利ナリトノ理由ニ由リ改正案ヲ具シテ稟申セシニ內務省ハ之ニ對シ其ノ他ノ吏員ナル文字ハ範圍明瞭ナラサルニ依リ制限明記スルノ必要ナキカ例ヘハ隘勇ヲシテ銃器ヲ携帶セシムルノ必要アラハ明ニ法文中ニ隘勇ノ名稱ヲ記入スルヲ要ストノ照會ヲ爲シ來リシガ總督府ノ意向ハ斯ク限制書定ヲ爲ストキハ臨時ノ必要ヨリ諸吏員ヲシテ銃器ヲ携帶セシメントスル場合ニ於テ支障ヲ生シ其ノ行動ノ敏活ナラサル虞アルノミナラズ殊ニ隘勇ハ勅令ニテ定メラレタル吏員ニ非サルヲ以テ其銃器ノ携帶ノミ殊ニ勅令ヲ以テ規定スルハ事體不穩當ナルノ嫌ナキニアラズトノ旨ヲ覆答シタルカ六月勅令第二百七十八號ヲ以テ總督府ノ稟申セル如ク改正ノ發布アリタリ

隘勇等ノ吏員ヲシテ銃器ヲ携帶セシメ得ル勅令

(附記)當時蕃界ノ警備ヲ最モ急要トシタリシハ民庄ニ於ケル匪徒ノ餘類ガ其ノ警察權ノ擴充ニ從ヒ全ク潛匿ノ地ヲ失ヒ多クハ警察權ノ尙ホ及バザル蕃界ニ

臺中縣ニ於ケル腦丁隘丁ノ取締

奔竄シ或ハ蕃人ヲ欺瞞シテ社内ニ混住シ形ヲ變シテ餘喘ヲ保チ或ハ姿ヲ腦丁ニ裝ヒ無人ノ腦寮ニ占居シ潜伏スル者アリ其最甚シキ臺中縣下ナルヲ以テ之カ處分策トシテ腦丁隘丁ニハ必ズ官規ニ依リ鑑札ヲ携帶セシメ別ニ腦長隘首ヲシテ其ノ部下ニ使用スル腦丁隘丁ノ非行ニ關シテ責任ヲ負ハシメ且ツ許可ナク蕃地ニ入ル者ノ取締方ニ就キ規約ヲ結バシメ之ヲ各腦場ニ實施セリ

臺北縣ニ於ケル蕃界ノ製腦ヲ許可スル際ノ附加命令

七月臺北縣知事ヨリ蕃界ニ於ケル製腦ヲ特許スルニ際シ撫蕃ノ必要上左ノ條項ヲ附加命令スルコトヽセント總督ニ上申スル事業上ニ付蕃人ト契約ヲ締結セントスルトキハ其契約事項ヲ當該官署ニ届出テ當該官吏ノ立會ヲ求ムベシ

一傭人等ニ於テ蕃人ニ對シ損害ヲ加ヘ若クハ不正ノ行爲アリタルトキハ特許人ニ於テ其責ニ任スヘシ

一撫蕃上ニ關シテハ官廳ノ指揮ニ從フベシ

是ニ對シ總督府ハ製腦ニ關シテハ既ニ規則ノ在ルアリ特ニ命令ヲ附スルノ必要ヲ認メス若シ自然監督上命令ヲ要スルモノアラバ當該縣知事直ニ本人ニ通達シテ可ナリト通牒セシヨリ爾後同縣ニ於テハ監督上ノ必要ヨリ上記條項ヲ特許人ニ附加命令スルコトヽセリ

大嵙崁方面蕃社ノ討伐

八月臺北縣下ナル大嵙崁方面ノ蕃社アタイヤル族ヲ討伐ス同方面ノ蕃族ハ之ヲ大別シテ大豹蕃大嵙崁蕃馬武督蕃ト稱ス共ニ慓悍ニシテ掎角相倚リ雄ヲ北蕃ノ北部ニ稱ス清國政府時代ニ屢々經略ニ逢ヒ猾智漸ク加ハリ數回其ノ討伐軍ヲ擊退シテ社地ヲ維持シ傲岸自ラ恃ミ政府ヲ藐視セリ領臺後ハ我招撫ニ就キ社地ヲ開放シテ製腦開墾ニ著手シ事業勃興シテ一時繁盛ヲ極メタリシガ六月ニ至リテ反抗ヲ企テ俄ニ起テ腦寮其ノ他ノ蕃地事業所ヲ襲ヒ放火掠奪至ラザルナク人ヲ殺ス數十百人殘餘千餘人ノ從業者ヲ驅逐シ悉ク製產品並器具ヲ搶掠セリ是ニ於テ守備兵一中隊ト警察隊ト力ヲ協セテ討伐セシガ蕃人反抗屈セズ我ガ中隊長以下死傷夥シク終ニ之ヲ中止シ僅ニ隘勇線ヲ民庄附近ニ設ケ消極的ナル蕃界封鎖ノ手段ヲ取ルノ止ムナキニ至リ爾來既晝ノ蕃界事業ハ一時弛廢ノ觀ヲ呈セリ然レトモ此ノ蕃變ニ由リ同方面ノ兇蕃ニ對シテハ絶對的ナル強硬ノ態度ヲ執リ其ノ交通ヲ遮斷シ供給ヲ杜塞シ以テ彼等ヲ窘蹙困憊ノ位置ニ立タシメ以テ膺懲ノ目的ヲ實行スルヲ期スルニ至リシガ之ガ實行ノ結果ヲシテ有効ナラシメンニハ從來施設シ來レル蕃地取締ノ方法ニ代フルニ更ニ嚴密ナル法令ヲ以テスルノ必

蕃地取締ノ律合制定ニ就キ臺北縣知事ノ上申

要アリトノ說ヲ爲ス者多ク十月ニ至リ村上臺北縣知事ハ一ノ律令案ヲ立テ、總督ニ上申シタリ

大嵙崁方面兇蕃ニ對シテハ自今強硬ノ態度ヲ執リ其ノ交通ヲ遮斷シ供給ヲ杜塞シ以テ彼等ヲ窘蹙困憊ノ域ニ沈淪セシメ茲ニ膺懲ノ策ヲ實行セントスルニ當リテハ宜シク適當ノ律令ヲ設ケテ之ヲ勵行スルニアラズンバ到底其ノ目的ヲ全シ難シ今左ニ其ノ理由ヲ列擧セバ

第一蕃地ハ交通自在往復頻繁ニシテ一局部ノ交通ヲ絕ツハ多少ノ不便ヲ制スルニ相違ナキモ爲メニ必要品ノ需要ニ困難スルガ如キコトナシ況ヤ由來密交換ハ土蕃間ニ於テ最モ巧ニ行ハレ偶々之ヲ聞知スルコトアルモ其ノ現行ヲ認メ若シクハ證憑ヲ得ルハ最モ困難ニシテ之ヲ取締ルハ到底嚴重ナル法律ノ强制ニ依ラズンバアラズ

第二惡蕃ニ對シテハ絕對的ニ交通及ヒ交換ヲ禁ズルモ良蕃ニ對シテハ之ヲ許サヽルベカラズ然レドモ從來ノ如ク無制限ニ其ノ交換ヲ許ストキハ惡蕃ニ轉輸スルハ必然ナルヲ以テ之ガ制限ノ方法ヲ設ケ即チ米鹽刀劒ノ如キ必要品ハ蕃社戶口調查ノ結果ニ由リ彼等一家ニ必要アル數量ニ限リ其交換ヲ許シ決テ之ヲ他ニ流用スルノ餘裕ナカラシメンコトヲ期セサルベカラス此目的ヲ遂ゲントセバ物品交換業ナルモノハ從來ノ自由營業ヲ禁シ特許ノ制ヲ設ケ營業者ヲ羈束シ交換ノ際ハ官吏之ニ立會且交換物品ノ種類數量等ヲ明記シタル帳簿ヲ備ヘシメ常ニ官吏ノ檢查ヲ受ケシムル等ノ法ヲ設ケザルベカラズ

第三蕃地出入取締ニ付キテハ明治二十九年府令第三十號ノ規定アリテ蕃地營業者以外ニ自由ノ入山ヲ禁ジ又樟腦製造規則施行細則第十三條ニ依リテ不正行爲ノ營業者傭人等ニ對シテハ解傭ヲ命ズルノ法文アリト雖モ目下ノ狀勢ニ於テハ猶一層嚴重ナル規定ヲ設クルノ必要ヲ認ム腦丁運搬夫ノ如キ其ノ他營業者以外ノ輩モ朋友訪問若シクハ親族面會等ノ名義ヲ以テ入山シ往々不正行爲アルヲ免カレス況ヤ今後前項交換人ヲ取締ルノ反動ハ此種ノ輩ニ向テ十分ノ注意ヲ加ヘザルベカラズ故ニ蕃地ノ出入ニハ一定ノ通路ヨリシ場合ニ依リテハ警察官三課員ハ彼等ノ携帶品ハ勿論其ノ身邊ヲ檢查スルノ權能ヲ有セシムルヲ要ス

第四蕃人ノ出入モ亦通路ヲ一定シ前項ノ檢查ヲ行フハ勿論通路以外ニ於テ

徘徊スルモノアルトキハ兇蕃ト認定シ臨機ノ處置ニ出ヅルヲ許サヽルベカラス是其ノ兇害ヲ未萌ニ防クニ在リ而シテ之ヲ實行スルハ豫メ管内良蕃ニ對シ之ヲ布告周知セシムルヲ以テ足レリト信ス

以上第一乃至第三ニ對シテハ律令ヲ以テ蕃界保安規則ト稱スルガ如キ概括的ノ法文ヲ設ケラレ第一項ニ對シテハ密交換ノ疑ヒアルモノ又ハ蕃界ノ安寧ヲ妨害スルモノト認定シタルトキハ之ニ退去ヲ命ジ第二項ニ對シテハ蕃人物品交換業ヲ爲サントスルモノハ地方廳ニ出願特許ヲ受ケシメ第三項ニ對シテハ蕃地出入者ハ其ノ營業タルト然ラザルトヲ問ハズ警察官ニ於テ其ノ携帶物品ハ勿論身邊ノ檢査ヲ求ムルトキハ之ヲ拒絶スルコトヲ得ザルモノトナシ違背者ニハ禁錮罰金ノ制裁ヲ付シ施行細則ハ地方長官ニ一任スルノ法律發布相成候得バ蓋シ從來ノ弊害ヲ一洗シ對蕃策ノ目的ヲ達スルコトヲ得ベク被存候至急御制定相成度此段及上申候也

當時總督府ニ於テモ茲ニ見ル所アリ對蕃上必要ナル律令制定ノ議アリシモ刻下ノ事情ニ照ラシ俄ニ一般ニ實行シ難キヲ以テ該上申書ハ之ヲ同知事ニ返戻シタリ然レドモ大嵙崁地方ニ於ケル蕃變ノ善後方策ニ就キテハ急ニ解決セザルベカラザルニ由リ十二月同知事ハ更ニ左ノ方策ヲ立テヽ總督ニ稟申セリ

大嵙崁ニ於ケル蕃變ノ善後方策ニ就キ臺北縣知事ノ稟申

敵ヲ知リ己ヲ知ルハ兵家ノ常豈啻ニ兵家ノミナランヤ今對蕃策ヲ立ツルニ當リテ蕃界ノ事ヲ知ルヲ最モ必要トス然レドモ今日調査シ得タル材料甚ダ不十分ニシテ遺憾ナシト云フヲ得ス殊ニ後山蕃ノ如キ茫乎トシテ五里霧中ニ在ルガ如シ斯ノ如キ情況ニ於テ全生蕃ニ對スル政策ヲ立ツルハ難事ニ屬ス且ツ既ニ情況ヲ知悉スルノ蕃社ニ對シテモ各社事情異ナル爲メ必シモ畫一ノ政策ヲ適用セントスルハ形勢ノ許サヽル所ナリ故ニ全生蕃ニ對スルノ政策ハ與山蕃ノ情況ヲ調査シ得タルノ日ヲ待チテ始メテ之ヲ確立スルヲ得ベキコトニシテ今日輕々シク之ヲ論スルハ早計ニ屬ス又北蕃南蕃ノ事情異ナルヲ以テ對南蕃策ヲ直ニ北蕃ニ應用センコト膠柱ノ誘ヲ免カレズ然シテ南蕃ハ本縣管轄區域以外ニ屬スルヲ以テ目下講究ノ範圍ハ北蕃ニ對スル政策ト見テ可ナリ而シテ對北蕃策トシテモ新竹及ヒ文山堡方面ハ今日幸ニ事無キヲ以テ姑ク從來ノ施設ニ任セ目下焦眉ノ急ハ大嵙崁ノ善後策ヲ講ズルニ在リ始メ枕頭山占領ノ議起リシ當時ノ蕃情ハ該附近蕃社ノ兩三ハ柔順ニシテ反抗ノ模樣ナク隨テ該山ヲ占領スル點ニ於テ敢テ至難ヲ認メザリシト雖トモ今ヤ蕃社擧ケテ極力反抗

ノ情況ト一變セシヲ以テ之ガ占領ヲ實行セント欲セバ大兵ヲ動カシ多數ノ死傷者ヲ出スハ豫メ覺悟セザルベカラズ而シテ猶且優勢ナル兵力ヲ備ヘ以テ始終彼等ノ襲撃ヲ防禦セサルベカラス之レ容易ノコトニアラス

故ニ大嶺崁方面ニ於テハ絶對的閉鎖主義ヲ勵行シ蕃人トノ交通ヲ嚴禁シ兵器彈藥米鹽ハ勿論其ノ他一切ノ供給ヲ斷絶シ以テ彼等ノ活力ヲ減ジ其ノ死命ヲ制スベシ之ト同時ニ腦寮開墾地ノ已ニ存スル新竹及ビ文山堡方面ニ對シテハ勢ヒ此封鎖主義ノ効力ヲ成ルベク損セザル爲メ關係的閉鎖主義ヲ執リ事業家ニ對シテハ嚴重ナル命令條件ヲ付シテ良蕃ニハ其ノ戸口ニ對シ量ヲ計リテ必需品ヲ供給シ決シテ餘裕ノ以テ惡蕃ニ融通交換シ以テ閉鎖主義ノ効力ヲ減殺スル如キコトナキ樣十分ノ取締ヲナサヽルベカラズ此閉鎖主義ヲ實行スルニハ生蕃坂ヲ分蕃界トシテ其左右ニ險勇ヲ配置シ優勢ナル防禦線ヲ張リ生蕃ノ來襲ニ備ヘ密交換ノ取締ヲナサヽルベカラズ之ガ爲メニハ曩ニ下附セラレタル經費ノ外枕頭山及ヒ生蕃坂間ニ計畫セシ砲臺及ヒ險寮建設費ニ於ケル殘餘大約一万二千餘圓ヲ以テ之ヲ深坑及ヒ新竹大嶺崁三辨務署管內ニ於テ險勇ヲ增置シ險寮ヲ密設スルノ經費ニ充テ尙ホ警察費ニ於テ監督警部五名ヲ配置シ

（深坑一、三角湧一、大嶺崁一、馬武督一、內灣一）以テ本年度ニ嚴重ナル防備ヲナサントス

此手段ノ直接ノ効果ハ蕃人ノ來襲ニ對シ部落ヲ掩護シ防蕃ノ實ヲ擧グルニアレトモ其目的ハ蕃人ノ因テ以テ其ノ暴威ヲ逞フスルノ元資タル銃器彈藥ノ輸入ヲ斷チ以テ其活力ヲ殺ギ彼等ノ因リテ以テ生存ヲ維持スル日需品タル米鹽ノ供給ヲ絶チ以テ其ノ死命ヲ制セバ數ケ月ノ後彼窮竭困乏勢盡キ形塞リ所謂喉ヲ扼シテ其背ヲ打ツナリ如斯ノ情勢ナレバ彼蕃人ハ策ノ出ツベキ所左ノ二ツノ外ニ出テザルベシ

一窮迫ノ餘悔恨屈伏來リテ降ヲ請ヒ歡ヲ求メ其交通ヲ許サレンコトヲ歎願スルニ至ルカ

二窘蹙ノ極一道ノ活路ヲ開カンガ爲メ侵害心ヲ激生シ進ミテ襲撃ノ擧動ニ出ヅルコトアルカ

一彼ノ行動第一策ニ出デンカ容易ニ其請ヲ許サズ愼重ニ其ノ心情ヲ視察シ其ノ誠意ニ出デ譎詐ナキヲ認メテ始メテ之ヲ許スベシ之ヲ許スニ當リテ之ヲ窘メ亦起ツコト能ハザルニ及ビテ初メテ可ナリ斯ク平和的ニ彼ト交涉繼ルノ時

期ニ至ラバ此機會ヲ利用シ人民ヲシテ深ク蕃地ニ入込ミ蕃人ト交通シ自衛ノ道ヲ講ジ以テ拓殖ノ實ヲ擧ゲ啓發ノ功ヲ收メシメバ蕃界自ラ主權普及シ統治行ハルヽト同時ニ自然淘汰ノ規則ニ從ヒ劣者タル蕃人ノ内地人ニ接觸スルノ結果自ラ閉息シテ殄滅ノ時期ヲ速カナラシム是レ對蕃策上第一義ト信ズ

平和的交涉ノ進ムニ隨ヒ時機ヲ見計ヒ以テ之ヲ誘ヒ其ノ虛ヲ衝キ其備ナキニ乘ジ一定ノ地區ヲ兵力ヲ用井スシテ占領シ其ノ範圍内ノ防備ヲ鞏固ニシ漸次進ミテ蕃界ノ開拓ヲ圖ルモ亦一策ト信ズ

二若シ彼第二策ニ出デヽ自ラ其ノ力ヲ測ラス出デヽ險勇線ヲ襲擊スルアランカ我已ニ豫メ之ガ備ヘアリ全力ヲ盡シテ之ヲ擊退セシメ彼等ニ大打擊ヲ加ヘ到底其ノ力ノ微弱ナル爲メ其ノ目的ヲ達スルコト能ハザルヲ自覺セシムルヲ得ベシ若シ彼ニシテ防蕃線以外ニ於ケル大豹馬武督及ヒ新竹文山堡方面ノ如キ腦窠ヲ襲擊スルアラバ豫メ遊擊隊ヲ設備シ警ヲ聞キテ起チ瞬間變ニ赴キ之ガ防禦ノ任務ニ當ラシムルヲ得バ彼蕃人ヲ制スル必ズシモ難キニアラザルベシ

蕃人ニシテ進テ來襲スルモ功ヲ奏セズ退テ守ランモ交通ヲ禁ゼラレ糧道ヲ絕タルヽヲ以テ勢甚タ不可進退是レ窮ルノ情況ニ陷ラン是ニ至ラバ蕃人ヲ操縱スルコト甚タ易ク活殺命是レ從フニ至ラバ拓殖ノ道モ自カラ開ケ統治ノ實モ擧グルヲ得ベシト信ズ

之ヲ要スルニ大嵙崁蕃變ノ由來スル所ハ彼ノ機先ヲ制スルコト能ハザリシニ外ナラス蓋シ同蕃ノ一部ガ我レニ好意ヲ表セシハ實ニ領臺ノ當初ニ在リ爾來撫蕃ノ進行ニ伴ヒ漸ク歸附信賴ノ傾向ヲ來タシ其ノ成蹟ノ良好ナル大ニ望ミヲ屬スベキモノアリシニ蕃人トノ交通日ニ頻繁ナルニ隨ヒ種々ノ衝突ヲ惹起シ其ノ甚タシキハ無賴ノ腦丁等或ハ蕃女ヲ辱シメ或ハ彼等ノ習慣ニ戾リ終ニ其ノ憤恚ヲ挑發セシ結果彼等ハ之ヲ馘首ニ訴フルニ至リ爲メニ兇害頻發底止スル所ナシ是ニ於テ設隘防壓ノ方針ヲ執ラザルヲ得ザルニ至レリ臺北縣知事ノ對蕃方策ノ禀議ハ實ニ茲ニ見ルアリシナリ

臺北蕃界ノ封鎖

（參照）大嵙崁蕃變ノ結果トシテ臺北縣管下ニ於テ大嵙崁方面一帶ノ蕃社ニ對シテ絕對的封鎖ヲ行ヒ其ノ他ノ各蕃社ニ對シテ關係的封鎖ヲ行フニ決定シ其ノ後者ニ在リテハ良蕃ト認ムル者ノ出入交通ヲ指定許可シ及ヒ物品ノ交換賣買ヲ行フヲ特許シ且ツ此等關係的封鎖地方ニ在ル製腦特許人及ヒ受負人並ニ開

墾許可人等ニ對シ命令條件ヲ嚴守セシムルノ必要アリ臺北縣知事ハ大嵙崁深坑新竹辨務署長ニ左ノ內訓ヲ發セリ

大嵙崁方面一帶ノ蕃社ハ絕對的ニ之ヲ封鎖シ其ノ他ノ蕃社ニ對シテハ關係的封鎖ヲ實行セラルヽノ方針其節ノ御決定ニ基キ蕃社事業者ニ對シ別紙命令條件相發シ候條此主旨ヲ體シ嚴重監督努メテ遺算ナキヲ期セラルベシ

別紙

職業	姓名

右ハ對蕃上ノ必要ニ基キ左記條件ヲ遵奉スベシ

一(製腦特許人或ハ何々人)ハ當該官廳ニ於テ指定シタル社蕃ノ外決シテ他社蕃ト交通スベカラズ

一(同上)ハ營利ノ目的ニ非ズト雖モ蕃人物品ヲ交換シ又ハ銃器彈藥米鹽刀劒等ヲ惠與スベカラズ

一(同上)ハ兇蕃防衛ニ對シ官ノ保護ニ依ラズシテ自衛ヲ爲スハ勿論其ノ方法ニ付當該官廳ニ於テ指揮命令スルコトアルトキハ之ニ從フベシ

一(同上)ハ蕃地トノ交通往來ハ當該官廳ニ於テ指定シタル通路ニ由ルハ勿論

成ルベク護衛ヲ付シ通行セシメ單獨ノ行動ヲ戒ムベシ

一(同上)ハ本命令ニ對シ其使用人ノ行爲不行爲ニ付總テ責任ヲ負担スベシ

同月臺中縣ニ於テ蕃地蕃人ニ關スル事項ヲ調査セント管下辨務署ニ對シ左ノ諮問ヲ發セリ蓋シ理蕃ノ經營ヲ完フセンニハ過去及現在ニ於ケル蕃情ヲ實査スルコト最モ必要ナルヲ認メタルニ由ル當時尙ホ正確ナル中部臺灣蕃界地圖ノ調製ヲモ計畫シタリト云フ

臺中縣ニ於ケル蕃地蕃人ノ調査

一、蕃社社數名稱及ヒ戶數人口並ニ現在蕃社ノ狀況

二、蕃人ニ對スル現今ノ施政並ニ從來ノ撫育ノ成績

三、現今各蕃社ノ官衙ニ對スル觀念

四、官衙ニ親密ナルカ又ハ接近シツヽアル蕃社及ヒ此結果ヲ致セシ因由

五、歸順蕃人處分ノ方法及ヒ成績

六、歸順蕃人ノ觀念動作生活ノ狀態及ヒ他蕃トノ關係

七、歸順蕃人ニ對スル他蕃社ノ觀念他蕃社ニ對スル歸順蕃人ノ觀念

八、蕃界附近庄民ノ蕃人ニ對スル關係

九、外部ノ刺激ニ依リ蕃人ニ於テ嫌惡恐怖ノ念ヲ起ス弱點蕃社相互ノ仇敵(若シ

アリトセバ)ノ原因
十、將來蕃人統馭ノ方法ニ就キテノ希望
十一、蕃人ノ所有スル兇器ノ種類及ヒ概數
十二、前政府時代ニ於ケル討蕃ノ方法(攻路、度數、兵數、兵種、屯營地、砲壘、討伐ノ成績
被討伐蕃社)
十三、現在ノ蕃人ヲ蕃社以外ニ移住セシムルノ利害及ヒ方法場所社數人口
十四、蕃人移住後適當ナル職業ノ擇定及ビ生活費ノ豫算
十五、蕃人出草ノ最長日數及ヒ糧食供給ノ方法
十六、學校教作ノ成績及ビ蕃社父兄本人ノ觀念並ニ其ノ蕃社ニ於ケル地位
十七、開墾スベキ蕃界附近ノ面積地質
十八、物品交換人ト蕃人トノ關係及ヒ重ナル交換品及ヒ價格
十九、隘勇ト製腦業者トノ關係

蕃政廳設置ノ意見

明治三十四年ニ入リテ臺灣ニ於ケル中央及ヒ地方行政機關改制ノ議アリ當時臺北縣知事村上義雄ハ之ヲ機トシテ蕃地ノ行政機關ヲ普通行政ト區別シ一ノ特別施設ト爲シ之ヲ獨立セシメテ蕃政廳ト稱シ中央ニ一局ヲ設立シ各蕃界ノ要地ニ其ノ支廳ヲ置キ以テ蕃政ノ完成統一ヲ期スベシトノ意見ヲ總督ニ提出セシモ終ニ採用セラレス其要旨ハ左ノ如クナリキ

一、生蕃ナルモノハ素ヨリ普通人民ト選ヲ異ニシ之ヲ制御スルニ於テモ亦同一官衙ニ於テスル能ハザルコト理ノ當然ナリトス故ニ生蕃ノ制御ノ爲メニ特別ナル施政機關ヲ設クルノ必要アリ

二、生蕃ヲ馴致センニハ信賞必罰恩威並ヒ行ハザルベカラズ而シテ現制ニ於ケルガ如キ普通辨務署ノ處理ニ委スルハ事或ハ緩慢ニ失シ爲メニ信賴ト威服トノ感念ヲ與フルニ於テ其ノ適切ヲ缺クノ虞アリ

三、蕃政廳ニハ普通ノ軍隊ニ非ズトスルモ多少ノ兵力ヲ有スルコトヽシ以テ威力ヲ示スノ爪牙トシ隘勇線ノ設備及ヒ隘勇丁ノ訓練等亦都テ之ニ委任セザルベカラズ

四、蕃政廳ハ生蕃ニ對シ或ル範圍内ニ於テ生殺與奪ノ權限ヲ有スルヲ要スベクト之ト共ニ其ノ歸順ヲ請フ者ニ對シ之ヲ許容シ惠恤スルノ權能ヲモ有セザルベカラズ

五、對蕃政策トシテ殊ニ各社蕃ノ聯合スルヲ避クルニ注意ン成ルベク個々孤立

シテ其ノ勢ヲ分タシムルニ導クヲ要ス

六、以上ノ方針ニ依リテ施設スベキ特別機關ハ殊ニ其ノ廳ノ長官タルベキ人物ノ撰擇ヲ必要トス生蕃化育ノ事タル其ノ法ニ存スト謂ハンヨリハ其ノ人ニ存スベケレバナリ

蕃界防備ニ砲力ヲ利用ス

四月蕃界防備ノ爲メ曰砲据付ノ必要ヲ認メ二十珊曰砲十門及ビ彈藥一千發ヲ陸軍省ヨリ借入レ內砲四門彈藥五百發ヲ臺中縣ヘ配付シ臺中及ヒ苗栗兩辨務署管內ノ蕃界ニ据付ケ各關係辨務支署ヨリ巡査二名ヅヽヲ縣廳ニ召集シ臺中守備砲兵隊附將校二名ニ依託シ之カ使用法ノ教習ヲ受ケシム蕃界防備ニ砲力ヲ利用スルニ至リシ嚆矢ハ蓋シ此時ニ在リ

嘉義辨務署ニ於ケル入蕃者心得

當時南部地方ニ於ケル蕃人ニ對スル經營ハ主トシテ化育及ヒ授產ニ從事セシガ臺南縣嘉義辨務署所管ニ屬スル阿里山蕃地ノ如キハ一方ニハ蕃界ノ事業勃興スルト共ニ人民ノ蕃地ニ入ル者漸ク多カラントスルノ傾キアリ隨テ民蕃接觸ノ結果或ハ意外ノ影響ヲ誘起スルナキヲ保セス官府ニ於テ十分ナル取締ヲ勵行スルノ必要アリトシ同辨務署長ハ入蕃者心得ヲ規定シ之ヲ實施セリ

一、入蕃セントスルモノハ其ノ目的ヲ明記シタル願書ヲ提出シ許可ヲ受クベシ

然ラサレハ明治二十九年九月一日府令第三十號ニ依リ處罰セラルベシ

一、蕃人ニ接スルニハ總テ信義ヲ旨トシ決シテ輕侮虛僞又ハ戲謔ノ行爲アルベカラズ特ニ婦人ニ對シテ醜猥ノ言行ヲナスヲ許サス

一、蕃人ヲ使用シ若クハ或ル目的ノ爲メ蕃人ト約束ヲ結バントスルモノハ凡テ本署若クハ派出所ノ指揮ヲ受クベシ

一、蕃人ニハ妄リニ物品ヲ惠與スルヲ許サズ若シ惠與ノ必要ヲ感ズル場合ハ本署若クハ派出所ノ許諾ヲ受クベシ

一、社內旅行ノ際ハ蕃人ノ承諾ナクシテ果物野菜鷄豚等ヲ擅ニ持チ去ルコトヲ得ザルハ勿論農作物等ヲ害スル如キコトアルベカラズ

一、蕃社內ニ在リテハ蕃人ノ家屋ニ出入スルヲ許サス但本署若クハ派出所ノ承諾ヲ得タルモノハ此限ニアラズ

一、蕃社公館內ニ保存シアル人頭骨ニハ手ヲ觸ルベカラズ

一、蕃人ト物品ノ交換ヲナサントスルモノハ本署若シクハ派出所ノ承諾ヲ受クベシ但非常ナル場合ニ於テ一時糧食ノ交換ヲナスハ此限ニアラス此場合ニハ口頭若シクハ書面ニテ屆出ツヘシ

一、蕃地内旅行ノ都合ニヨリ派出所所在地以外ノ蕃社ニ宿泊ヲ要スルモノハ豫メ本署若シクハ派出所ノ承諾ヲ受クベシ
但非常ナル場合ニ於テハ其地蕃人ノ承諾ヲ得テ宿泊スルコトヲ得此場合ニハ口頭若シクハ書面ヲ以テ届出ツベシ
一、以上ノ各項ヲ守ラサルモノ若クハ此他ニ不都合ノ行爲アリト認ムルモノハ入蕃ヲ停止スルコトアルベシ
一、入蕃許可ノ日限經過後五日以内ニ本心得書並ニ指令書ハ返納スヘシ

嘉義辨務署ニ於ケル蕃人ノ授産計畫

嘉義辨務署長ハ授産ノ一法トシテ蕃人共有基本財産貯蓄法ヲ設ケントシ蕃人ノ將來ニ對シ施設スベキ最モ必要ナル事件ハ現在生活ノ程度ヲ高メ恒産アル人類タラシムルニ在リ然レドモ之ヲ實行セントスルモ經濟ノ許サヽル事情アルヲ免レズ幸ニシテ管下飯包服山ニ於テ曩ニ倒木ノ伐採ヲナシタルニ因リ蕃人間ニ伐木業ノ有利ナルヲ覺ル者アリテ自ラ伐採シテ之ヲ嘉義地方ニ搬出販賣セントスルノ傾向アルヲ利用シ此機ヲ逸セズ蕃人ニ伐木ヲ奬勵シ其ノ純益金額ヲ貯蓄セシメ本署之ヲ保管シ以テ蕃人ノ共有基本金トナサントス欲ス是レ蕃人ノ撫育上多大ノ利益アルノミナラス今後蕃社ノ經營モ之ニ依リテ確實ニ實行スルヲ得ベシ

トノ理由ヲ以テ臺南縣知事ニ對シ認可方ヲ要請シタリ而シテ同縣知事ハ之ニ對シ蕃人ニ産業ヲ授クルハ撫蕃ノ第一義ニシテ十分奬勵ヲ加フベキモノト認ムルモ蕃人ヲシテ無制限ニ森林ヲ伐採セシムルハ保安林實施ノ今日頗ル注意ヲ要スベキ事トスサレバ伏木及ビ種樹等營林ニ關スルモノハ蕃人ニ産業ノ習慣ヲ養成スベキ第一著歩ナル今日ニ於テ十分ノ制限ト注意トヲ加フルヲ必要トストノ旨ヲ通牒セシガ是レ蓋シ積極的ナル蕃人授産計畫ノ最ナルモノナリキ
大嶺崁地方蕃變ノ善後策未ダ確立セサルヲ以テ其ノ叛乱ノ發動地タル大嶺崁方面及ビ隣接地方蕃界ノ取締ヲ勵行スルノ必要アルヲ認メ總督府ハ臺北縣知事ニ内命シ十月蕃界關係ノ各辨務署長ニ對シ左ノ通達ヲ爲サシメタリ

臺北縣ニ於ケル蕃地取締方勵行

大嶺崁辨務署管内ニ於ケル兇蕃封鎖ニ關シ之ガ取締方施行相成居候處未ダ十分ニ効果ヲ見ルニ至ラザルヲ以テ此際殊ニ嚴重ノ取締方ヲ勵行スルニ至レリ就テハ對蕃ノ事ハ縣下ヲ通ジテ同一ノ歩調ヲ取リ區々其態度ヲ異ニセズ彼ヲシテ乘ズルノ餘地ナカラシムルヲ要スルヲ以テ今後ハ貴署ニ於テ物品交換幷ニ蕃人ノ出入ニ關シテハ一層取締方勵行相成度假令ハ一蕃社ニシテ米鹽ヲ比較的過量ノ買入ヲ爲スモノト認メラレタラバ之ヲ制限シ又兇蕃ニ緣故アル

番人ノ出山交換ニ關シテハ特ニ周密ノ監視ヲナシ萬一兇番ノ窃ニ良番ニ混ジテ出來セルヲ發見セラレタル場合ハ之ニ對シテ嚴格ノ態度ヲ示シ頑逆ノ道ヲ懲諭シ速ニ歸山謹愼ヲ表スベキコトヲ訓示セラルヽ樣致度且此際大嶺崁辨務署ト協議ノ上隣接出張所間ニ交通ノ法ヲ設ケ相互管內ノ蕃情ヲ互報セラルルノ道ヲ開カレ對蕃ノ態度ヲシテ區々ニ亘ラザル樣被取計度及通達候也

十一月勅令第二百一號ヲ以テ臺灣總督府官制改正セラレ民政部ニ警察本署及ビ總務財務通信殖產土木ノ五局ヲ置キ從來蕃人蕃地ニ關スル事務ハ他ノ主管事務ト共ニ殖產課ニ於テ掌理セシガ同課ヲ擴張シテ殖產局ト爲シ特ニ森林原野鑛山ノ事務ト蕃務トヲ併セテ掌理スル爲メ局內ニ拓殖課ヲ置キ總督府官房竝民政部警察本署及各局分課規定訓令第三百五十四號中拓殖課ノ所掌事項ノ一ニ蕃人蕃地ニ關スル事項ヲ加ヘ同時ニ警察本署警務保安二課ノ所掌事項中ニモ新タニ左ノ目ヲ加ヘタリ

警務課　險勇ニ關スル事項

保安課　山林及蕃人取締ニ關スル事項

從來蕃界警備ニ關スル事務ハ全ク殖產局ニ屬セシカ是ニ至リ同事務ハ警察本署ノ主管ニ歸シ中央機關ハ二系ノ下ニ支配セラルヽニ至レリ此中央機關ノ變更ト共ニ勅令第二百二號ヲ以テ地方官々制ノ改正アリ縣ノ下ニ辨務署ヲ置キタル二級制ヲ廢シテ一ニ廳ノ下ニ統轄スルコトヽナリ從來ノ三縣四廳ニ代フルニ二十廳ヲ置キ從前蕃地接近ノ辨務署ニ併合セリ此縮少セラレシ一分科ハ往時獨立セル撫墾署ノ後身ニシテ依然蕃人ノ撫育授產取締及開墾等ニ關スル事務ヲ處理スベキ旨趣ナリシモ實際ニ於テハ單ニ蕃人ノ取締竝開墾ノ一部事務ヲ掌理セシニ過ギズシテ他ノ施設ハ其ノ名アリテ其實ナカリシハ機關ノ縮小ニ伴フ已ムヲ得ザルノ結果ナリシナリ而シテ其ノ主管ニ歸シ中央ナル蕃政ノ幹部機關ハ一

辨務署廢止ノ結果其第三課ノ事務ハ廳總務課ノ主管中ニ屬ス

蕃界ヲ管轄スル廳ハ左ノ如クナリキ

宜蘭廳	深坑廳
桃仔園廳	新竹廳
苗栗廳	臺中廳
南投廳	斗六廳
嘉義廳	蕃薯寮廳
阿猴廳	恒春廳

宜蘭廳ノ撫蕃施設

當時宜蘭廳ニ於テハ其ノ管下ニ於ケル蕃人(アタイヤル族)ヲ歸附セシメ化育及ヒ授産ノ目的ヲ達スル爲メニ各社蕃人ノ重モナル者ヲ蕃界外ノ山下平原ニ移住セシメ以テ開墾耕作ヲ奬勵シ之ヲシテ餘裕アル生活狀態ニ逃マシメ自ラ移風易俗ノ實効ヲ擧ゲントシ尚ホ蕃童化育所ヲ宜蘭城内ニ設ケ蕃童ヲ招徠シテ簡易敎育ヲ施サンコトヲ企畫シタリ乃チ十月西鄉廳長ノ總督ニ致セシ報告ノ一節ニ曰ク本廳管内ニ屬スル蕃族ハ溪頭蕃九社南澳蕃十六社ニシテ人口モ亦從ヒテ夥多ナルニ非ズト雖モ獰猛慓悍ナルニシテ之ガ綏撫ノ局ニ在ル者日夜孜々トシテ種々ノ方策ヲ施設シ頗臺以來日一日ノ如ク務メテ怠ラザリシト雖モ未タ以テ能ク其ノ效ヲ收メ飜然罪惡ヲ悛メテ人道ニ就カシムルコト能ハズ却テ毎歲幾多ノ蕃害ヲ蒙リ强暴日ニ募リ遂ニ和蕃ノ手段ヲ變ジテ防蕃ノ策ヲ畫シ彼等ノ兇暴ヲ防止セザルヲ得ザルニ至リ且ツ蕃界接近ノ民庄ノ安寧ヲ保維スル爲メニ蕃人ハ阿里史天送埤二庄ヲ除クノ外ハ叨リニ下山交易ヲ爲スコトヲ禁止シ以テ其ノ暴戾ヲ抑制スルノ止ムナキニ至レリ然ルニ蕃人ノ獰猛ナル益々其ノ暴情ヲ逞クシ殊ニ客歲紅水溝堡

舊寮山下ニ於テ巡察ノ巡査部長ノ一團ニ襲撃ヲ加ヘシ如キ跋扈跳梁殆ド其ノ頂點ニ達セリ是ニ於テカ曩ニ換蕃ノ箇所トシテ允許シタル阿里史天送埤二庄ニ仝シテ堅ク蕃人トノ交易ヲ嚴禁シ彼等日常必需ノ要品タル食鹽ノ供給ヲ絶チ一面警備機關ヲ督勵シテ彼等ノ强暴ニ備ヘ以テ其ノ悔悟ニ至ルヲ待テリ時恰モ臺北縣下大嵙崁附近蕃社討伐ノ事アリ時機最モ宜シキニ適ヒ彼等換蕃意ノ如クナラズ頗ル窮迫ノ狀ヲ呈シ俄ニ暴威ヲ味ラケ哀ヲ請ヒ天送埤庄移住ノ化蕃婦ヲ介シテ蕃社内ノ窮狀ヲ訴ヘ舊時ノ如ク下山交換ヲ許サレンコトヲ請フニ至レリ依テ少シク懷柔ノ意ヲ示シ各蕃社頭目ニ勸告スルニ日ヲ期シ天送埤阿里史二庄ニ出デ我ト會見ヲ爲スベキ旨ヲ以テセリ爾來蕃情稍々味ラギ客歲十月八日ニ至リ溪頭蕃六社ノ各頭目相率井テ天送埤庄ニ下山セリ依テ本官自ラ之ニ臨ミ從來ノ非行ハ天理人道ニ乖戾セル罪惡タル所以ヲ懇ニ說示シ爾後敢テ非行ヲ再ヒセザルベキコトヲ以テシ猶ホ彼我情意ノ疏通ニ便センガ爲メ各社頭目ハ天送埤阿里史二庄ニ移住セシメンコトヲ以テセシニ逐一意ヲ丁シ之ヲ肯諾セリ依テ蕃社間ニ於テ嚴格ナル誓約ノ證トシテ行フ埋石ノ式ヲ擧ゲ固ク盟約ヲ結ビ且ツ他ノ蕃社ニモ下山移住ヲ勸誘スベキヲ命シテ歸社セシメタ

リ後十一月十六日南澳蕃八社ノ頭目等阿里史庄ニ出デ來ルシニヨリ同前ノ旨意ヲ說示シ亦孰レモ埋石ノ誓ヲ行ヒ肯諾ノ意ヲ表セリ其ノ他十一月三十日殘餘ノ南澳蕃八社頭目モ亦阿里史庄ニ來リ略ボ同一ナル誓約ヲ了シタリ乃チ管內各社頭目ハ下山移住ヲ肯諾セシヲ以テ當局者ハ拮据經營漸ク準備ヲ整ヘ十二月二十九日以來各社蕃人ノ移住シ來ルモノ漸ク多キヲ加ヘントス

又宜蘭城內ニ於テ蕃人ノ壯丁ヲ敎養スルノ成約モ著々實行ノ緒ニ就キ現ニ城內西門街武帝廟ニ於テ敎育ニ著手セリ

斯クテ其ノ移住蕃人ノ總數一時ハ約五十名ニ近カリシカ其ノ給與セラルヽ食料ニ依リテ飽食醉臥シ亦開墾力作ニ力メズ督勵少シク加フレバ種々ノ口實ヲ藉リテ山中ニ逃避シ終ニ其ノ數ヲ漸減シテ一年ナラザルニ企畫全ク水泡ニ屬スルニ至リ化育事業亦之ト共ニ中止ニ歸スルノ已ムナキニ了レリ

明治三十五年

蕃界警備ニ從事セシムル巡查ノ特別採用

蕃界ノ警備ニ關スル事務ガ警察本署ノ主管ニ歸スルニ至リシ結果之ニ從事セシムベキ巡查ヲ充實スルノ必要上普通ノ採用法ノミニ據リ難キモノアルヲ以テ明治三十五年二月訓令三十五號ヲ以テ巡查看手採用規則ヲ發布シ其ノ第三條ニ特務及蕃界警備ニ從事セシムル巡查ハ前數條ノ規定（即チ試驗等ノ採用條件）ニ依ラズシテ採用スルコトヲ得ルモノ之ニ依リテ採用シタル巡查ハ他ノ職務ニ從事セシムルコトヲ得スト定メタリ

二月二十四日專賣局次長ヨリ民政部警察本署長ニ宛テ製腦地附近ニ蕃害發生シタル際ニ於ケル報知方ヲ照會シ來ル曰ク

蕃界ハ製腦業ニ直接至大ノ關係ヲ有シ從テ當局豫定ノ樟腦產額ニ影響スルコト勘カラザルヲ以テ製腦地附近ニ蕃害ノ發生スル每ニ迅速之ヲ知ルノ必要有之候處被害者及險勇監督員等ノ報告ハ單ニ之ヲ地方廳ニ爲スノミニ止マリ候爲メ當局ニ於テ其事實ヲ知リ相當措置ヲ施サントスルトキハ往々時機ノ去リタル後ナル憾ヲ免レズ候條爾今被害者及險勇監督員等ヨリ地方廳ニ報告ヲ爲スト同時ニ當局支局若クハ出張所ニ報知候樣御通達相成度云々

製腦地附近ニ蕃害發生シタルトキ專賣局ニ通知方

是ニ於テ同月二十七日ヲ以テ民政長官ヨリ現在製腦地關係ノ各廳長（宜蘭、深坑、淡仔、中、南投、斗六、苗栗、臺）ニ對シ製腦地附近ニ於テ蕃害發生シタルトキハ速ニ專賣局支局若クハ出張所ニ通知スベキ趣ヲ通達シ且ツ警察本署長ヨリ其ノ旨專賣局次長ニ回答（三月五日付）セリ

恒春上蕃地ニ於ケル蕃人授產場

恒春上蕃地（バイワン族）ニ屬スル莿桐脚溪ニ蕃人授產場ヲ設ク

（本場ノ設置ハ初メ明治三十四年中恒春廳長ヨリ猜勝東社牡丹社内獅頭社ノ三所ニ設ケンコトヲ稟申シタルニ起因セルモノニシテ當時經費ノ部合ニヨリ認可セサリシガ翌三十五年ニ至テ稟申アリ是ニ於テ内獅頭社一所ニ設置スルコトヲ認可シタルナリ）蓋シ同所ハ上蕃各社ニ通ズル要路ニ當ルヲ以テ交通其ノ他ノ爲メ蕃人ノ下山シ往來スル者日ニ多ク彼等ヲ誘致スルニ便ナリシガ故ナリ乃チ之ガ着手トシテ蕃人ヲ使役シ蓀桐脚溪上流ニ約四十間ノ堰止工事ヲ施シ五百間餘ノ水道ヲ整チテ水田九千坪餘ヲ開キ第二期稻ヲ植付ケ其ノ他一萬坪以上ヲ開墾シ蕃薯落花生等ヲ栽培セシメタリ爾來彼等ハ漸ク其ノ有利ナルヲ覺リ指導者ヲ信賴スルニ至リ翌三十六年同場ニ使役スル蕃人ニ移住ヲ勸誘セシニ之ニ應シタル者十戸アリ由テ之ニ農具ヲ給與シ既墾ノ田園ヲ貸附シ農耕ニ從事セシメシガ移住當時ニ在リテハ自活ノ途ニ窮スルヲ以テ其ノ最初ノ收穫アルマデ生活ノ幾分ヲ補助シ專ラ力作ヲ奬勵シ傍ラ水牛黃牛其ノ他羊豚等ノ牧養ニ力メシメ以テ生活ノ餘裕ヲ得シメ漸次蕃人ノ移住ヲ增加スルノ計畫ナリシガ（三十七年ニ於テ新ニ十戸ヲ移住セシムヘキ豫定ナリシモ爲スノ餘地ナキヲ致シ一時之ヲ中止スルノ止ムナキニ至タレリ）三十八年ニ及ビ同所ニ公學校ヲ設置シ蕃童ヲ教育スルコトヽナリシ結果授產場ハ同年四月ヲ以テ之ヲ廢止セリ而シテ曩ニ移住セル蕃人十戸ノ內五戸ハ依然居住セントスル意向ナリシヲ以テ之ニ既墾田園ヲ貸附シ農具及ヒ水牛黃牛等ヲ給與シ保護奬勵ヲ加ヘタルモ如何

南庄蕃討伐

セン輪耕ヲ以テ多年ノ習慣トセル彼等ハ永久同一地ニ住居シテ續耕スルヲ好マザル傾キアリ終ニ全部舊蕃社ニ復歸スルニ至レリ

三十五年七月新竹廳下南庄支廳管內ナル南獅里興社ノ頭目ニ日阿拐（籍ニ入リシト傳ヘラル）ナル者アリ所在ノ製腦者ヨリ得タル山工銀（灶數ニ依リ支給セラルヽ和蕃金）ヲ積ミテ數萬金ニ上リ漢人ヲ役シテ水田ヲ開墾シ佃戶數十戶擁シ雄ヲ蕃界ノ一方ニ稱シタリシガ同地方ニ於テ盛ニ山場開墾ノ企圖ヲ爲ス者アルニ不滿ヲ懷キ且ツ製腦者中山工銀ノ給付ヲ怠リシヲ憤怒シ決然起チテ南庄街ヲ燒棄シ其ノ住民及ビ製腦者ヲ驅逐セント欲シ附近ノ各蕃族（サイセツト族）及ビ桃仔園新竹苗栗三廳下ニ潛伏セル匪徒ノ遺類ヲ招致糾合シ七月六日俄ニ南庄支廳ヲ襲ヒ之ヲ包圍セリ之ヨリ先キ一日同地方不穩ノ風說アリシヲ以テ新竹守備一中隊及ヒ警察官若干ヲ派遣アリシ爲メ其急ヲ援フヲ得タリ次テ應援トシテ步兵二中隊及ビ砲兵若干到著シ討伐五旬ヲ經テ八月之ヲ平定セリ（後日阿拐ハ亡命シテ病ニ死シ殘徒ノ兇惡ナル者數十人ハ之ヲ殺戮シタルニ依リ其ノ餘族ハ全ク反抗ノ氣力ヲ失ヒ悉ク銃器ヲ官ニ納レ隘線內ニ入リテ農耕ニ勉メツヽアリ）次テ同廳下北埔支廳管內ナル蕃人大隘社及ヒ樹杞林支廳管內ナ

ル蕃人ビイライ社モ亦各官命ヲ奉ジテ翌三十六年一月銃器ヲ官納ス是ニ至リサイセツト族ノ全部游平ニ歸セリ

此蕃匪反抗事件ニ關シテ理蕃施設上注目スベキハ從來蕃界ニ於ケル蕃人ノ兇行其ノ他ノ騷擾ハ馘首ヲ目的トスルモノ多シト雖モ重ナル事件ノ發生ハ亦製腦事業等ニ起因スルモノ多キコト是レナリ現ニ南庄事件ノ如キモ主トシテ是等ノ關係ヨリ生シタルモノナリ而シテ製腦事務ニ關シテハ主管局ニ於テ專行シ警察官署ハ何等干與スル所アラザリシガ元來土地ノ狀況人情ノ變轉及ビ蕃人ト事業者トノ交涉ニ關スル措置ノ如何ハ直ニ蕃界ノ保安警察上ニ至大ノ影響ヲ及ボスベキヲ以テ自今專賣局ニ於テ製腦特許ノ場合ハ豫メ民政部警察本署ヘ協議スルヲ必要トシ十月四日民政長官ノ名ヲ以テ左ノ通達ヲ專賣局長ニ發シタリ

蕃界ニ於ケル樟腦製造ハ保安上重大ナル關係アルニ付自今蕃界ニ於ケル製造ノ特許ヲ爲ス場合ニハ豫メ民政部ヘ協議相成ルベク其他蕃界ノ製腦ニ關シ處分ヲ爲シ又ハ屆書ヲ受ケタル事項ニシテ保安上ニ關係アリト認ムルモノハ其都度民政部ヘ通知相成ルベク云々

之ト同時ニ蕃界ニ關係スル各廳長ニ左ノ通達ヲナセリ

蕃界ニ於ケル樟腦製造ノ特許ヲ爲ス場合ニ注意シ處理スベキ旨通達

蕃界事業ニ關スル事務ハ保安ノ點ニ注意シ處理スベキ旨通達

近來蕃界ニ於ケル蕃人ノ反抗ハ製腦開墾又ハ山林伐採等ノ事業上措置如何ニ基因スルモノ不尠是等ノ事業ハ土地ノ狀況人情ノ變轉及蕃人ト事業者トノ關係等ニ由リ蕃界ニ於ケル保安上至大ノ影響ヲ及ボスヲ以テ自今開墾又ハ山林伐採事業等ニ關スル事務ハ十分保安ノ點ニ注意シ處理スルコトニ取計ハルベク云々

蕃界事業者ニ對スル注意方

翌三十六年二月四日更ニ民政長官ヨリ蕃界事業者ニ對スル注意方ニ付左ノ通達ヲ蕃地關係ノ各廳長ニ發シタリ

從來蕃界ニ於ケル事業者ト蕃人間ノ紛議ハ多クノ場合ニ於テ蕃界不穩ノ主因タルガ如シ過般新竹廳管內南庄事件ノ起因ノ如キハ其著シキ實例タリ彼等當業者ハ蕃人ノ朦昧無智ニ乘ジ常ニ欺罔威嚇ヲ以テ之ニ當リ明治二十九年以來未ダ嘗テ其約束ヲ履行シタルコトナク地方廳亦屢々之ガ調停ヲ試ムルモ頑トシテ應セス蕃人ノ感情ハ日ヲ追フテ益々和親ヲ遠カルニ至レリ狀況既ニ斯クノ如シ到底平和ニ局ヲ結ブノ望ナキニ拘ラズ地方廳ハ未タ一回ノ報告ヲ爲シテ之ガ救濟ノ策ヲ求ムルナク荏苒數年ヲ經過セリ茲ニ於テ鬱勃タル蕃人ノ積憤ハ一時ニ爆發シテ遂ニ今回ノ騷擾ヲ來スニ至リタリ依テ將來蕃人ト當業者

トノ關係ニ就テハ充分ナル注意ヲ施シ些細ノ紛擾ト雖モ直ニ相當ノ處置ヲ爲シ禍機ヲ未發ニ防止スベキハ勿論隨分詳細ノ報告ヲ爲ス等南庄ノ轍ヲ踏マザランコトヲ期セラルベシ

蕃人ノ業主權認定ニ關スル通達

三十五年九月三十日民政長官ヨリ蕃人ニシテ普通行政區域内ニ於テ一定ノ住所ヲ有シ且ツ租稅ヲ負擔シ其ノ狀態本島人ト異ナル所ナキモノニ在リテハ總ベテ土地調査査定ノ結果ニ依リ之ガ業主權ヲ認ムベキ旨新竹廳長ニ通達ス是ヨリ先キ同年五月十九日同廳長ヨリ總督ニ宛テ蕃界ニ屬スル土地ハ總テ國有ト認ムベキハ當然ノ義ナリト雖モ普通行政區域内ニ於ケル蕃人占有ノ土地ハ蕃人ニ對シ業主權ヲ認ムベキモノナルヤ將タ所在ノ如何ヲ問ハズ蕃人ノ占有土地ハ總テ國有ト見做スベキモノナルヤ從來此種ノ土地ニ付キテハ地租ヲ賦課シ居レル實例アリト雖モ明ニ業主權ヲ認ムベキ法文無キガ爲メ實際ノ處理上疑義ヲ生ゼシ事件アルヲ以テ指令ヲ仰クトノ趣ヲ伺出デタリ蓋シ其ノ事實ハ同廳下ナル獅里興社(サイセツト族)蕃人絲卯乃ナル者南庄街ニ有スル宅地ヲ專賣局南庄出張所敷地用トシテ寄附センコトヲ出願セシニ付之ヲ許可スルニ付右ノ疑義ヲ決定スルノ必要アリシニ由ルナリ之ニ對スル總督府ノ意見ハ明治三十一年律令第九號ニ依リ本島ノ舊慣ヲ認メラレシ業主ナル事項ヲ蕃人ニ及ボスヲ得ザルヘシ(三十一年律令第九號民事商事及刑事ニ關スル律令施行規則第一條ニ曰ク土地ニ關スル權利ニ付テハ當分ノ内民法第貳編物權ノ規定ニ依ラス舊慣ニ依ルト)漸次蕃人ノ開發ニ伴ヒ蕃地ニ法令ノ施行スルマデハ寄附ノ受納モ爲シ難キモノト認ムルヲ以テ追テ何分ノ指示アルマデハ業主權ノ認否ヲ決セザル筈ナルニ付寄附受納成リ難シ土地ノ使用ニ就キテハ便宜處理差支ナシトノ通達ヲ發スベシト謂フニ在リシガ進ンデ實際ノ調査ヲ遂ゲシニ元來普通行政區域内ニ於ケル蕃人占有ノ土地ハ從來納稅ノ義務ヲ履行セルモノナルニ由リ既ニ土地調査局ニ於テハ此種ノ土地ニ對シテ占有者ノ何人ナルヲ問ハズ總テ其ノ業權ヲ認ムル方針ニテ調査シ本件ノ事實タル南庄街所在ノ土地ハ調査ノ結了ヲ告ゲツヽアリシヲ以テ之ニ對シ更ニ業權ノ認否ヲ決セザル旨通達スルハ彼此矛盾ノ嫌ナキニ非ザリシヨリ一般蕃界ニ屬スル土地ノ業權ニ關シテハ追テ何分ノ指示ニ出ヅベキモ行政區域内ナル本項伺出ノ事實ニ對シテハ一ニ土地調査ノ結果ニ須テ決定スルコト妥當ナリトスルニ一決セリ

馬那邦社ノ討伐

十月苗栗廳下大湖支廳管内ナル馬那邦社(アタイヤル族)ヲ討伐スル是ヨリ先キ南庄事變ニ協力セル苗栗廳下ノ餘匪同蕃社ニ入リ蕃人蕃婦ヲ娶リ永住ノ計ヲ爲ス者アリ屢々蕃人ヲ導キ出デヽ兇害ヲ行ヒ蕃界爲ニ動搖スルニ於テ約二大隊ノ兵ヲ

以テ之ヲ討チシガ蕃匪頑抗屈セズ十一月ニ入リ終ニ深ク之ヲ驅逐シ蕃地ノ大半ヲ經略タリシ（後餘匪ハ悉ク警察官又ハ蕃人ノ爲メニ殺サル）次テ十一月恒春廳下ノ北界ナルマラギイ社（パイワン族）ヲ討伐ス原ト同社蕃資性頑迷曾テ我ノ威令ニ服セズ常ニ附近ノ民庄ヲ侵シテ殺戮ヲ肆ニス是ニ於テ警察隊ハ皈附蕃人ヲ率井テ之ヲ討チ進ミテ全社ヲ燒夷シ之ヲ歸順セシメタリ

マラギイ社ノ討伐

防隘施設ノ改善

初メ南庄蕃變ノ平定ニ歸スルヤ隘勇線ノ主管ハ既ニ警察ニ屬セシカバ乃チ該變後ノ防備第一ノ着手トシテ線路ノ改良ヲ計畫シ次テ北勢蕃討伐ノ結果收得シタリシ地域ノ防備其ノ他製腦地包容ノ必要等ヨリ之ヲ前進擴張シ從前ノ中斷地ヲ連絡シ監督者ノ配置ヲ增加シ而シテ固著停滯弊害ヲ生ジ易キ補助隘勇ノ制ハ三十五年限リ之ヲ廢止シ隘勇ノ全部ヲ官設ト爲シテ之ヲ統一シ移動運用一令ノ下ニ直チニ行ハルヽニ至ラシメ紀律ヲ緊縮シ設備ヲ改良シ攻防共ニ著シク其ノ力ヲ增加セリ斯クノ如クニシテ必要ノ地點ヨリ漸次線路ヲ前進シテ著々開拓ト制壓トノ効果ヲ擧ゲ隘勇線ノ面目ヲ具フルニ至レリ之ト同時ニ十月府令第七十七號ヲ以テ請願隘勇ヲ置クヲ得ルコトヲ定ム蓋シ豫算ニ依リ決定セル隘勇ノ數ハ年度ノ中間ニ於テ之ヲ異動シ難ク臨時隘勇線前進ノ必要生ズルモ增員意ノ如クナル能ハザル爲メ蕃地ノ拓殖ヲ阻止スル場合ナシトセス由テ起業家ニシテ自己ノ負擔ヲ以テ隘勇ノ配置ヲ請願スル者アルトキハ巡査巡査補ト同シク之ヲ聽許スルコトヽナセシモノニシテ亦隘勇線ノ設備ニ一新例ヲ開キタルモノナリ（附錄第一防隘制梗概參照）

持地參事官ノ蕃政問題ニ關スル意見

當時平地行政ノ稍々完備セントスルト共ニ蕃地行政ノ發展ヲ促シ蕃政擴進ノ急要ヲ唱道スル聲漸ク高ク時勢ノ必須上其ノ施設機關ノ組織ヲ改造スルハ實ニ緊要問題ノ一トシテ認メラレタリ是ニ於テ三十五年ノ末持地參事官ハ命ヲ帶ビテ實地取調ニ從事シ十二月ヲ以テ之ニ對スル復命意見書ヲ總督ニ提出セシガ該書ハ（一）緒言（二）蕃人ノ身分（三）蕃地ノ處分（四）蕃政ノ既往（五）蕃政ノ現況（六）理蕃政策（七）行政機關及其ノ經費（八）決定セラルベキ要點ノ數項ニ分チ既往ニ鑑ミ現在ニ徵シ審ニ將來ノ方策ヲ籌畫立論シ其ノ利弊得失ニ關シテ一々意見ヲ披陳セシモノニシテ其全文（重複ヲ避ケテ添フル所ノ附屬參照書類ヲ省略ス）ハ左ノ如シ

第一　緒言

啻カニ惟ミルニ今ヤ本島ノ施政經營宜シキヲ得テ匪類其跡ヲ絕チ平地ハ茲ニ靜清セラレテ殖產ニ交通ニ其他諸般ノ行政ニ計畫皆其緒ニ就キ前途將ニ開發

成熟ノ美果ヲ見ルニ至ラントス是レ實ニ我ガ帝國ガ殖民地經營ノ初陣ニ於ケル成功ニシテ以テ中外ニ對シテ其面目ヲ施スニ足レリ然リ而シテ特リ蕃地問題ノ尙ホ未タ解決ヲ經ザルモノアリ此問題ヲ解決シタル上ニアラザレバ我ガ國民ハ果シテ克ク膨脹的ノ資性進取的ノ能力アルコトヲ外部ニ對シテ誇稱スルニ足ラザルベシ抑モ蕃地ハ本島全面積ノ五十六割ヲ占メ林產ニ鑛產ニ將タ農產ニ利源ノ藏庫ナリ不幸ニシテ此藏庫ハ猛惡ナル蕃人ノ爲メニ封鎖セラレテ其利源ヲ開發スルニ至ラズ然レドモ蕃地ハ利源ノ藏庫ナリ蕃害ハ生民ノ疾苦ナリ此民患ヲ除キ此寶庫ヲ開クニ非ザレバ以テ本島ノ經營ヲ完ウシタルモノト云フコト能ハザルナリ今ヤ平地ノ廓清庶政ノ革新ト共ニ民間事業ノ要求ハ蕃人蕃地問題ヲ絕叫スルニ至レリ蕃地問題ノ解決豈等閑ニ付スベケンヤ予ハ玆ニ蕃地問題ト云フ何トナレバ帝國主權ノ眼中蕃地アリテ蕃人ナケレバナリ蕃地問題ハ宜シク經濟的見地ヨリ解決スルヲ要ス而シテ其經營ハ須ラク財政的方策ナラザルベカラズ蓋シ國家諸般ノ問題其歸スル所ハ皆經濟的財政的問題ニアラザルハ莫キノミナラズ殖民地經營ニ至リテハ特ニ經濟的財政的見地ヨリ諸般問題ヲ解決スルヲ必要トスレバナリ國民ノ獨立自存發展ノ結果

トシテ利源ヲ異境ニ求メ移殖ヲ絕域ニ企ツルハ近世世界ノ大勢ニシテ各國ノ所謂ル殖民政略ト云フモノ其目的此ニ外ナラズ殖民地經營ハ全ク經濟的問題ニ外ナラザルナリ

蕃地問題ハ國家問題ナリ殖民地經營問題ナリ予輩ハ人道問題トシテ之ヲ解決セント欲スルモノニアラズ這ハ世ノ宗教家慈善家ノ本務ナリ予輩ハ國權問題トシテ解決セント欲スルモノニアラズ何トナレバ禽獸ニ均シキ彼レ蕃人ニ對シテ皇化ノ普及國威ノ宣揚ヲ絕叫スルノ必要ナケレバナリ但予輩ハ國民ノ發展國利ノ增進テフ國家ノ目的ノ爲メニ國家問題トシテ殖民地經營問題トシテ之ヲ解決セント欲スルモノナリ蕃地問題ハ實地問題ナリ其解決ノ困難ナルモ亦實ニ此ニ在リ夫レ法律上ヨリ蕃人蕃地ヲ解決スルハ甚ダ難カラズ何トナレバ國法上蕃人ナク蕃地ナケレバナリ又社會上ヨリ蕃人蕃地ヲ解決スルモ容易ナリ何トナレバ劣等人種ノ優等人種ト相接觸スルヤ其生存競爭ノ結果ハ劣等人種ガ優等人種ノ爲メニ族滅セラレ若クハ同化セラルヽニ歸スルハ歷史ノ證明スル所ナレバナリ然レドモ卓上ノ理論ハ以テ實地ノ解決ト爲スニ足ラズ蕃地

問題ノ要點ハ蕃害ヲ排除シ蕃地ヲ開發スルニハ如何ニセバ克ク得失相償フニ足リ而シテ克ク將來ニ利源ヲ拓クコトヲ得ル乎ニ在リ是レ予ガ蕃地問題ハ宜シク經濟的見地ヨリ解決ヲ要ス而シテ其經營ハ須ラク財政的方策ナラザルベカラズト言フ所以ナリ

第二　蕃人ノ身分

蕃地問題ハ實地問題ナリ然レドモ之ガ解決ヲ爲スニ方リテハ先ヅ法律上所謂蕃人蕃地ナルモノハ果シテ如何ナルモノナリヤヲ解決セザルベカラズ蓋シ爲政家ガ列國環視ノ裡ニ立チ朝野矚目ノ間ニ介シテ其經綸ヲ行ハンニ違法非理ノ事ハ爲シ得ベカラズ故ニ或ル問題ニ對シテハ先ヅ法律論ヲ解決シ以テ之ニ對スル處分權ノ自由ノ境域ヲ測定シ然ル後實際問題トシテノ解決ハ此法理ノ範圍內ニ於テ躍如活動スルヲ要スルモノナレバナリ

蕃人ノ身分ハ國法上果シテ如何ナルモノナリヤ

岡松博士ハ明治二十八年日清講和條約ニ依リ說ヲ爲シテ云フ臺灣全島及其附屬諸嶋嶼竝ニ澎瑚列嶋ノ土地ノ主權ハ該條約第二條ニ依リ清國ガ永遠ニ日本帝國ニ割與シタル所ノ地方ナリ而シテ同條約第三條ニ依リ該地方ノ住民ニシテ一定ノ猶豫期限內即チ該條約批准交換ノ日ヨリ二箇年以內ニ該地方ヲ去ラザルモノハ日本帝國ガ認メテ日本國民ト看做シ得ルモノナリ此條約ニ所謂該地方住民ト云フハ清國ノ主權ニ服從シタル該地方ノ住民ト云フ義ニシテ生蕃ヲ包含セズ何トナレハ生蕃ハ清國ガ從來化外ノ民トシテ取扱ヒタルモノナルコトハ明治七年征臺ノ役日清交涉ノ外交文書ニ徵スルモ明ナリ當時清國ハ日本國ニ對シテ若干ノ償金ヲ支拂ヒタルモ是レハ自國ノ臣民ガ他國ノ臣民ニ危害ヲ加ヘタルノ賠償トシテ支拂ヒタルモノニアラズ善隣ノ交誼ヲ保全スルガ爲メ外國公使ノ居中ニ依リ我ガ被害遺族ノ救恤ニ對シ清國ガ義捐ヲ爲シタルモノニ過ギズ生蕃ハ清國己ニ自國ノ臣民ト見做サズ化外ノ民トシテ取扱ヒタルモノナリ故ニ割讓ニ依リ清國ノ主權ヲ繼承セル日本帝國ニ於テモ亦生蕃ハ其臣民ニアラズ全ク化外ノ民ナリ故ニ日本帝國ト生蕃トハ國法上ノ關係アルモノニアラズ國際法上ノ關係ニ在ルモノナリ然ラバ生蕃討伐ノ意義ハ如何凡ソ國家ナルモノハ國際法上列國ノ承諾シタルモノナラザルベカラズ而シテ列國ガ承認シテ國家ト見做スベキモノハ一定ノ統治機關即チ政治組織ヲ有スルモノニアラザルガ故ニ國社會ナラザルベカラズ生蕃各社ハ政治組織ヲ有スルモノニアラザルガ故ニ國

際法上國家トシテ承認スベカラズ國家ニアラザレバ交戰主體ト云フコトヲ得ザルガ故ニ生蕃討伐ハ國際法上ノ戰爭ニアラズ故ニ生蕃ハ社會學上ヨリ見レバ人類ナルモ國際法上ヨリ見レバ動物ノ如キモノナリ次ニ生蕃ガ外國人ニ危害ヲ加ヘタル場合ハ如何生蕃ハ化外ノ民ナリト雖モ帝國領土内ノ出來事ニ就テハ日本政府ハ其責ヲ負ハザルベカラズト(臺灣民報所載岡松博士生蕃意見)岡松博士ノ所說頗ル精緻巧妙ニシテ復些ノ遺憾ナキガ如クナレドモ少シク熟蕃化蕃生蕃ノ區別ニ想ヒ到リ又清國政府及日本政府ノ行政ノ實際ニ照合スルトキハ其所說ノ事實ト相扞格スル所アルヲ得ズ抑々熟蕃化蕃生蕃ノ區別ノ標準ハ如何普通ノ解說ニ依レバ熟蕃トハ和蘭占領鄭氏割據清國統治ノ數百年ノ期間ニ於テ統治者ノ威壓化育ヲ受ケテ全ク臣民ト爲リ今ヤ土人ト異ナルコトナキ固ト平地ニ棲息シタル平埔族ヲ謂ヒ化蕃トハ同ジク平埔族ニ屬スルモ山地ニ棲息シ半漢化シタルモノニシテ未タ全ク臣民ト爲ラサルモノヲ謂ヒ生蕃トハ他ノ種族ニシテ山地ニ棲息シ全ク化外ノ民タルモノヲ謂フ此定義ハ現況ノ解說トシテハ當レリト雖モ之ヲ以テ將來三蕃區分ノ立法標準ト爲スコトヲ得ズ何トナレバ今日ノ熟蕃モ往日ノ生蕃ニシテ今日ノ生蕃モ異日其

威壓化育宜シキヲ得テ克ク熟蕃タルコトナキヲ保セザレバナリ故ニ三蕃區分ノ立法標準ハ種族ノ區別ニ依ルベカラズシテ其進化服從ノ程度ニ依リテ之ヲ區別スベキノミ清國時代ニ在リテモ生蕃ニ對シテハ頑強ナルモノヲ膺懲シ柔順ナルモノヲ招撫シ威撫兩用以テ之ガ化育ヲ務メタルモノヽ如シ彼ノ明治七年征臺ノ役ニ方リ清國政府ガ生蕃ヲ化外ノ民ナリトシテ責任ヲ避ケントシタル如キハ是レ彼ガ固有ノ外交術ナル遁辭ノミ乾隆五十年林爽文ガ亂ヲ起スヤ熟蕃人モ亦討伐ノ軍ニ從ヒ偉大ノ功勳ヲ奏セルヲ以テ當時ノ福建總督ハ大ニ其用ウベキヲ賞シ事平クノ後奏請シテ屯丁ヲ設置シ熟蕃人ノ壯丁ヲ以テ之ニ充用シ以テ地方ノ警備ニ任ジタルハ史上著名ノ事實ニシテ而シテ是ノ役ニ生蕃北勢老屋峨社(現在セリ)ノ土目ノ如キモ從軍戰功アリシカバ皇帝特ニ之ヲ北京ニ召致シテ謁見ヲ賜ヒ位五品ヲ授ケ姓氏ヲ白麻縫ト賜ヒタルハ舊記ニ散見スル所ナリ由之觀之清國政府ガ生蕃ヲ化外ノ民ナリトシテ度外シタリシモノニ非ルヲ見ルベシ日本政府ガ領臺後ニ於ケル施政ノ跡ヲ顧ミルニ生蕃潘文杰ニ勳六等ヲ賜ヘリ檢察官蕃人ヲ起訴セントスルトキハ豫メ具狀シテ指揮ヲ乞フベキ旨ノ總督訓令アリ此訓令ニ於ケル蕃人トハ獨リ熟蕃ヲ指シタルモ

ノニアラズシテ生蕃ヲモ包含セルモノナルコトハ此訓令ニ基キテ生蕃ヲ處刑セルコトアルノ二三ノ事實ニ徴シテ明ナリ其他生蕃ヲ巡査補ニ任用シツヽアリ生蕃ニ納稅ヲ爲サシメツヽアリ生蕃ヲ以テ他ノ生蕃ヲ討伐シタル時ニ方リ戰死シタル生蕃ノ遺族ニ對シテ明治四年太政官布告ヲ適用シ警察官ニ準ジテ手當金ヲ給與シタルノ事實アリ是等行政實際ノ事實ニ顧ミルトキハ種族ヲ以テ三蕃區分ノ標準トナスノ從來ノ解說ハ採用スルニ足ラザルヲ見ルベク亦以テ生蕃ハ化外ノ民ニシテ帝國ノ臣民ニアラズ從テ帝國ト生蕃トハ國際法上ノ關係ニ在ルモノナリトノ所說ノ保持スルニ足ラザルヲ知ルニ足ラン況ンヤ帝國ト生蕃トハ國際法上ノ關係ニ在リト云ウノ說ハ將來施設ノ運用ニ對シ頗ル活動ノ自由ヲ阻礙スルノ嫌アルニ於テヲヤ故ニ予ハ既往現在ニ於ケル行政實際ノ事實ニモ著シク齟齬セズ又將來施政ノ運用ニ對シテモ活動ノ自由ヲ阻礙スルナキ範圍ニ於テ解釋ヲ下サントス

三蕃區分ノ立法標準

熟蕃トハ蕃人ニシテ其進化支那人種（土人）ト同一ノ程度ニ進ミ普通行政區域内ニ在リテ事實上帝國臣民タルノ狀態ニ在ルモノヲ謂フ

化蕃トハ蕃人ニシテ其進化稍々進ミ幾分帝國主權ニ服從スル事實アルモ（例ヘバ納稅ノ如シ）普通行政區域外ニ在リテ事實上未タ全ク帝國臣民タル能ハザルノ狀態ニ在ルモノヲ謂フ

生蕃トハ蕃人ニシテ其進化劣等ニ位シ普通行政區域外ニ在リテ全ク帝國主權ニ服從スルノ事實ナキモノヲ謂フ

此解釋ニ依ルトキハ熟蕃トハ今日普通行政區域内ニ在リテ臣民權ヲ有シ帝國臣民タルノ諸熟蕃部落ヲ包含スルモノニシテ是等熟蕃ニ對シテハ特別立法ヲ爲スノ要ナシ化蕃トハ例ヘバ南庄ノ半漢化平埔蕃恒春下蕃社ノスバヨワン族等ヲ指稱スルモノニシテ將來化育ノ爲メ其進化ノ如何ニ依リ全ク帝國臣民タルノ事實ヲ擧ゲ得ルニ至ラバ之ヲ普通行政區域内ニ編入シ臣民籍ヲ許與スベキモノナリトス生蕃トハ其他ノ種族ニシテ毫モ帝國主權ニ服從スルノ形跡ナキモノヲ汎稱ス化蕃生蕃ハ帝國ノ臣民ニアラズ隨テ之ニ對シ立法及適法ト云フノ事實アルベキ筈ナキナリ

生蕃ニ對スル法律觀

日清媾和條約ニ依リ臺灣全島及其附屬諸島嶼竝ニ澎湖列島ノ土地ノ主權ガ清

國ヨリ日本國ニ割與セラレタル以上ハ領土主權ノ原則ヨリシテ其割與ノ土地ニ存在スル一切ノ住民ヲモ割與セラレタルモノト看做サヽルベカラズ故ニ土地ノ割讓ト共ニ其上ニ居ル人民ハ外國人ヲ除クノ外ハ新主權者ノ臣民ト爲ルヲ原則トス然レトモ近世婦和條約ノ慣例ハ割讓セラレタル土地ノ上ニ居ル被割讓國ノ人民ニ一定ノ期間ヲ限リ國民分限撰擇ノ自由ヲ與フル此割讓土地ニ住スル被割讓國ノ人民ニ與ヘタル國民分限撰擇ノ自由ハ土地割讓ノ原則ニ對スル例外ナルガ故ニ一定ノ猶豫期間内ニ於テ其行動ニ依リ新主權者ノ臣民タラザルノ意思ヲ明示セザルベカラズ條約第三條ハ則チ臺澎ノ割讓土地ニ住スル人民ニ此國民分限撰擇ノ自由ヲ與ヘタルモノニシテ其文面ニ日本帝國ノ都合ニヨリ日本國民ト看做スコトアルベシト記載シタルガ如キハ單ニ條約文例ト見ルベキモノニ過ギズ故ニ條約ニ明記セル一定ノ猶豫期間内ニ於テ退去ト云フ行動ニ依リテ帝國臣民タラザルノ意志ヲ明示シタルモノヲ除キ其他ノ割讓土地ニ於ケル一切ノ住民ハ外國人ヲ除クノ外土地ノ割讓ニ依リテ帝國臣民タルコトヲ得ベキモノニシテ我國家ハ帝國臣民ト爲シ得ルノ權利ヲ有スルモノナリ生蕃ガ舊主權者ノ下ニ於テ化外ノ民タリシト否トヲ問ハズ新主權者ハ割讓土地ノ取得ト猶豫期間ノ滿了トニ依リテ之ヲ臣民トシヲ取扱フノ自由ヲ有スルモノトス由之觀之生蕃ノ帝國ニ對スルハ國際法上ノ關係ニ在ルモノニ非ズシテ全然國法上ノ關係ニ在ルモノト謂ハザルベカラズ

然リト雖モ彼レ生蕃ナルモノハ我國家ガ臺灣ノ割讓土地ヲ取得シタル當時ヨリ未タ曾テ帝國主權ニ服從セズ帝國主權ニ對シテハ叛逆ノ繼續セル狀態ニ在ルモノニシテ我國家ノ叛徒ナリ茲ニ叛逆ノ狀態ト云フハ特リ積極的叛逆ノ狀態ヲノミ謂フニ非ズシテ又消極的叛逆ノ狀態ヲモ併稱ス帝國ノ禁令ニ逆ラヒ誠首橫梁ヲ縱ニスルハ是レ積極的叛逆ノ狀態ナリ帝國ノ命令ニ從ハズ納稅其他ノ義務ヲ盡サヽルハ是レ消極的叛逆ノ狀態ナリ故ニ國家ハ此叛徒ノ狀態ニ在ル生蕃ニ對シテ討伐權ヲ有シ其生殺與奪ハ一ニ我國家ノ處分權内ニ在ルモノトス彼等ハ帝國臣民ニアラズ何トナレバ彼等ハ未タ曾テ帝國主權ニ服從セズ國家ハ之ニ對シテ臣民籍ヲ與ヘタルモノニアラザレバナリ又彼等ハ我國家ト國際法上ノ關係ニ在ルモノニアラズ何トナレバ彼等ハ我取得セル割讓土地ノ上ニ生息スル人類ニシテ我國家ハ之ヲ承認シテ帝國臣民ト爲シ得ルノ權利ヲ有スルモノナレバナリ彼等ハ社會學上ヨリ見レバ人類ナルモ國法上ヨリ見

ルトキハ全ク人格ヲ有セザルモノナリトス

生蕃ハ叛徒ナリ其生殺與奪ハ一ニ國家ノ處分權内ニ在ルモノナリ然リト雖モ叛徒ナレバトテ必ズヤ之ガ掃蕩殲滅ヲ期スルハ政策トシテ果シテ其當ヲ得タルモノナリヤ否ヤ今全臺ノ生蕃其數十萬ト稱ス此數ハ多少誇大ニシテ實際ハ七八萬ヲ出デザルベシト雖モ原人ヲ距ル遠カラズ猛虎ニ均シキ蠻族ニシテ而カモ地利ヲ恃ミ天險ニ據ル之ガ討伐滅絶ハ容易ノ業ニアラズ强テ討伐滅絶ヲ期センハ經濟上ノ得策ニアラズ得ル所失フ所ヲ償ハザレバナリ又財政上堪ユル所ニアラズ其經費貲ラザレバナリ但蕃地ハ利源ノ藏庫ナリ事業ノ起點ナリ故ニ利源ヲ拓クガ爲メ事業ヲ起スガ爲メニハ討伐膺懲威以テ之ヲ震壓スルハ固ヨリ第一ノ要義ニ屬スト雖モ而カモ亦一面ニ於テハ撫以テ之ヲ柔弱ナラシメ其惡習ヲ脫シ進化ノ程ヲ進メ其帝國臣民タルノ事實ヲ擧ゲ得ルモノニ至リテハ之ヲ熟蕃ト爲シ帝國臣民タルノ資格ヲ承認シテ帝國臣民トシテ取扱ハンコトハ國家ノ政策トシテ必要ノ事ナルベシト信ズ

第三　蕃地處分

岡松博士ノ說ニ云フ蕃人ニ所有權ナシ何トナレバ法律上ノ權利ハ統一機關ノ保護ニ依リテ初メテ成立スルモノナレドモ彼等ニハ統一機關ノ其權利ヲ保護スルモノナキガ故ニ彼等ハ其所有權ヲ主張スル理由ヲ有セザレバナリ故ニ蕃地ニ蕃人ノ所有權ナシ蕃地ハ國有ナリト此說ハ博士ガ蕃人ニ對スル解釋ヨリ生ジタル必然ノ論結ニシテ其歸一スル所ハ予輩ト其見ヲ同フスト雖モ予輩ハ蕃人ニ對シ前陳ノ解釋ヲ執ルガ故ニ敢テ國際法上ヨリ統一機關ノ有無ヲ論ズルヲ要セ蕃地ニ關シテハ單ニ左ノ如ク解說ヲ下サントス

抑々個人ノ土地所有其他ノ私權ハ國家ノ創設若クハ認容ニ依リテ初メテ發生スルモノナリ而ルニ生蕃ハ帝國ガ割讓土地ノ取得ノ當時ヨリシテ未タ曾テ帝國ノ主權ニ服從セズシテ叛逆ノ狀態ニ在リ國家ハ生蕃ニ對シテ土地ノ所有權其他何等ノ權利ヲモ創設シ若クハ認容シタルコトナシ彼等ハ現ニ蕃地ヲ占有セルモノハ單ニ事實ニ過キズ彼等ハ其占有セル土地ニ就キ其部落ノ共有物ノ如ク思料スルモノハ單ニ彼等原人ノ觀念ニ過ギズ故ニ生蕃ニ所有權ナシ蕃地ハ全然國家ノ所有ナリ然レドモ熟蕃ノ土地所有ニ就テハ舊慣ニ依リテ其所有權ヲ認メザルベカラズ何トナレバ土地ニ開スル權利ニ付テハ舊慣ニ依ルハ明治三十一年律令第九號ノ規定スル所ナレバナリ

將來化蕃生蕃ノ土地所有權ニ關シテハ其化熟ノ程度ニ依リテ其所有權ヲ認容スルハ必要ノ事ナルベシ何トナレバ帝國ノ主權ニ服從シ帝國臣民タルノ實ヲ擧グルモノニ對シ其勞力ト費用トヲ投ジテ開拓シタル既墾地ヲ國家ガ故ナク之ヲ沒收スルガ如キハ獨リ理蕃政策トシテ當ヲ得タルモノニ非ザルノミナラズ又國家ニ斯ノ如キ沒收ノ必要アルコトハ認ムベカラザルナリ

第四　蕃政ノ既往

理蕃政策ヲ講究セント欲セバ須ラク先ツ蕃政既往ノ歷史ヲ鑑ミ其現在ノ狀況ヲ悉シ深ク成敗ノ跡利鈍ノ源ヲ察シテ以テ時局ニ應シ進運ニ伴フノ計畫ヲ立テンコトヲ要ス故ニ予ハ茲ニ蕃政既往ノ歷史ヲ略敘シ其現在ノ狀況ヲ詳悉シ次テ理蕃政策ノ審究ニ及バントス

本島有史以來茲ニ三百年其間和蘭占領鄭氏割據清國統治帝國領有ノ四次ノ變遷ヲ經過シタリ統治者ノ更迭ト共ニ理蕃政策ニ於テモ亦變遷ナキヲ得ズ蘭人ハ敎化ノ方針ヲ以テシ鄭氏ハ拓殖ノ方針ヲ以テシ清國ハ初メハ化育ノ方針ヲ以テシ後ニハ撫墾ノ方針ヲ以テシ我帝國ニ至リテハ當初撫育ノ方針ヲ以テ蕃人ニ蒞ミタリシモ爾來平地多故ノ爲メ理蕃政策ニ至リテハ殆ンド停止ノ姿ト爲レルハ現在ノ狀況ナリトス

蘭人ハ敎化ノ方針ヲ以テ蕃族ニ蒞ミ宗敎ト敎育トヲ以テ蕃人ヲ化育シタリ其治世三十四年理蕃ニ於テ著シキ偉績ヲ擧ゲタルコトハ歷史ノ證明スル所ナリ然レトモ是故ヲ以テ敎化方針ヲ理蕃政策ノ最上策ナリト速了スベカラズ當時蘭人ガ敎化方針ヲ執リタリシハ其殖民政略ノ必要ヨリ來リタルモノニシテ而シテ其成功シタリシモ亦時運ノ狀態ニ歸セザルヲ得ズ蘭人ノ殖民政略タル人口移殖ニアラズ勢力扶植ニアラズ世界ヲ橫行シテ航海通商是レ事トシ惟目前ノ射利ヲ目的トスル純然タル商賣主義ナリ少數且腰掛的ノ母國人ヲ以テ多數蕃人ノ住居スル本島ニ蒞ム其目的タル土地ニアラズ勢力ニアラズ惟目前ノ射利ノミ故ニ敎化主義ヲ以テ蕃族ニ蒞ミタリシハ固ヨリ其所ナリ而シテ當時多ク人勘ク蕃族ト支那人種ト利害ノ衝突尙未タ起ラス蘭人ガ多數ノ蕃族ヲ撫育シテ而シテ克ク成功シタルモノハ全ク時運ノ狀態ニ歸セザルヲ得ズ鄭氏ハ拓殖ノ方針ヲ以テ蕃地ニ蒞ミタリ其治世二十二年兒蕃ヲ討伐シテ拓殖ヲ進メ北蕃ノ討伐ニ於テ毎戰利アラズシテ中止シタリシモ是ヲ以テ鄭氏ノ理蕃政策其當ヲ失シタルモノト謂フベカズ鄭氏ノ目的タル兵農一致ノ制ヲ立テ以テ大ニ

兵力ト糧食トヲ充實シ本島ヲ根據トシテ清朝ニ當リ明朝ヲ恢復スルニ在リテ實ニ土地拓殖ノ必要アリシナリ而シテ治世ノ短小ナリシニ拘ハラズ北ハ今ノ新竹附近及臺北ノ平原ヨリ東ハ諸羅(嘉義)ノ平原ヲ夷ケテ林圯埔ニ入リ南ハ鳳山ヨリ瑯嶠恒春附近マデ及ブノ蕃地ヲ開拓シ以テ今日ノ沃野ヲ遺シタルモノハ全ク鄭氏ノ功績ニ皈セザルヲ得ズ清國統治ニ及ビテハ深ク前者ノ成敗ヲ鑑ミ最初ハ化育方針ヲ以テ蕃族ニ莅ミ其効果著シク康熙五十四年熟蕃ノ全數既ニ六十三社ノ多キニ及ビタリシガ對岸漳泉地方過剩人民ノ移住年ニ多キヲ致シ遂ニ民蕃利益ノ衝突ノ結果ヲ和ゲント欲シ蕃界ヲ防守シテ人民ヲシテ蕃界ヲ蠶食セシメザランコトヲ期シタリシモ滔々タル移民ノ潮流優等人種ト劣等人種トノ生存競爭ノ大勢ハ復奈何トモスベカラズ遂ニ其理蕃方針ヲ一變スルノ已ムヲ得ザルニ至レリ是ニ於テカ撫墾方針ヲ執リ兇猛ナル蕃族ニ對シテハ威以テ之ヲ抑壓シ撫以テ之ヲ熟化シ以テ益々蕃界ヲ侵犯シテ人民ノ利益線ヲ進ムルニ至レリ劉銘傳ノ任ニ巡撫ニ就クヤ蕃族ヲ威服撫化シテ不化ノ山地ヲ悉ク開拓スルニアラザレバ本島内顧ノ憂ヲ根本ヨリ刈除スル所以ニアラズト爲シ十年ヲ期シテ全臺ノ蕃族ヲ招撫スルノ計畫ヲ立テ是ニ於テ大ニ撫墾ノ機關ヲ設ケ險勇ノ制ヲ立テ兇蕃ヲ討伐スルコト前後五回ニ及ベリ惜ムラクハ其在任僅カニ五年其計畫效果ヲ收ムルヲ見ルニ及バズシテ劉ハ其任ヲ去リシコトヲ後任者劉ノ英邁雄才ニ似ズ理蕃施設ヲ一變シ已拓ノ耕地ハ再ビ荒蕪ノ原形ヲ爲スニ至レリ世ノ論者或ハ劉ノ理蕃政策誤マレルヲ說ク然レドモ予ハ其撫墾ノ制度ヲ見而シテ其防蕃ノ設備ヲ察スル毎ニ其規模ノ雄大ニシテ其目的ノ卓越ナルヲ感ゼズンバアラズ若シ彼ニ假スニ多年ヲ以テシ其活動ヲ掣肘スル莫カラシメバ劉ノ理蕃政策ヤ必ズ成功シタリシコトヲ疑ハザルナリ

帝國領有ニ至リテハ早ク旣ニ撫墾署ノ設置アリテ施爲スル所アリシモ予ハ之ヲ撫墾ト謂ハズシテ撫育ト謂フ何トナレバ其爲ス所利益線ヲ蕃地ニ開拓スルニ非ズシテ徒ラニ蕃族ヲ愛撫シタリシニ過ギザレバナリ況ンヤ平地ハ尙未タ土匪ノ跋扈跳梁ヲ極メ其結果ヲ告ケザルニ方リテ業已ニ撫蕃ノ事業ニ着手シ二兎ヲ逐フテ遂ニ一兎ヲモ得ザリシハ果シテ克ク機宜ニ適シタル政策ナリシ乎其結果ハ今茲ニ言フヲ須井ズ爾來撫墾署ハ廢止セラレ理蕃政策ハ暫ラク中止ノ姿ヲ呈シ以テ今日ノ狀態ニ至レリ

殆カニ熟ラ旣往ニ於ケル蕃政ノ歷史ヲ鑑ミルニ理蕃政策ナルモノハ豈必ズシ

モ卓上計畫ヲ爲スベキモノナランヤ要ハ時局ニ應ジ進運ニ伴ナヒ適切ナル方策ヲ立ツベキノミ所謂蕃地問題ハ經濟問題ナリ殖民地經營問題ナリ實地問題ナリト云フハ是レガ爲メノミ言フコト勿レ蘭人ノ敎化方針其效果ヲ收メタリト沃野千里本島今日ノ開發ヲ致シタルモノハ是レ豈生存競爭ノ結果優等ナル支那人種ガ劣等ナル蕃族ヲ驅逐シテ其占領セル蕃地ヲ開拓シタルノ偉績ニアラズヤ今ニシテ敎化方針ヲ主張シ消極政策ヲ絕叫スルハ猶ホ壯者ヲシテ靑春ニ復ラシメントスルガ如シ是レ時局ノ必要ニ應ジ進運ト竝馳ヲ期スル所以ノ途ニアラザルナリ

第五　蕃政ノ現況

帝國領臺後撫墾署ヲ廢止セル以來土匪ノ掃蕩諸般行政ノ施設等平地ノ經綸ニ急ナルガ爲メ蕃政ハ一ニ消極的方針ニ趨リ但一箇年參萬餘圓ノ撫育費アリテ生蕃ニ惠與ヲ施スト云フニ過ギズ撫育費ナルモノハ以テ撫育ノ實效ヲ奏スルニ足ラズ何トナレバ生蕃ニ對シテハ先ヅ威服シタル後ニアラザレバ撫育ハ決シテ其效ヲ奏スベキモノニアラザレバナリ恰モコレ烟々タル火勢ニ一杯ノ冷水ヲ濺ゲルガ如キモノ乎蕃政然カク消極的政策ニ趨レリト雖モ事業ノ必要ハ

蕃地ノ門戸ヲ衝イテ闖入シ民蕃利益衝突ノ結果ハ遂ニ理蕃政策ノ確立ヲ必要ナラシムルニ至リタルハ今日ノ實況ナリトス事業トハ何ゾ製腦事業是レナリ(伐木開墾等ノ事業モアレドモ民蕃利益衝突ノ結果今日ノ形勢ヲ馴致シタルモノハ專ラ製腦事業ナリトス)專賣制度布カレテ製腦ガ有利事業トナルヤ製腦特許人ハ爭テ蕃地ニ入リ其事業ニ從事シタリ然ルニ當時理蕃政策ノ未タ周到ナラズ彼レ事業家ナルモノハ目前ノ射利是レ謀リテ曾テ理蕃ノ大局ニ注意セザルモ亦固ヨリ恠ムニ足ラズ況ンヤ其使役スル多數ノ勞力者(內地人及土人)ハ蕃地ニ入リ込ミ蕃人ノ無智朦昧ニ乘ジテ惡行至ラザルナク蕃婦ヲ犯スモノアリ蕃丁ヲ欺騙スルモノアリ其結果ハ蕃人ノ憤怒ヲ買ヒ馘首ト爲リ逆擊ト爲リ遂ニ動兵討伐ノ已ムベカラザルヲ致シ事業ヲ停止シ蕃界ヲ封鎖シテ以テ永ク利源ノ藏庫ニ染指スル能ハザルニ至レリ大嵙崁ト云ヒ南庄ト云ヒ大湖ト云ヒ其討伐封鎖皆製腦事業ニ基因セザルハ莫キナリ而シテ此間ニ實際ノ必要ハ防蕃機關ノ發生ヲ已ム能ハザラシメタリ防蕃機關ハ明治三十一年新竹縣知事ノ稟請ニ掬マリ爾來臺北臺中二縣ニ於テモ之ヲ設置シ官設ノ隘勇制ト民設ノ隘丁制トノ區別アリ爾來益々其制度ヲ擴張シ今日ニ於テハ警察本署之ヲ掌リ其

一箇年ノ經費無慮參拾萬餘圓ノ多キヲ致セリ

今茲ニ蕃政ノ現況ニ就キ其要點ヲ擧ゲテ略述スル所アラントス

一、防蕃

隘勇線ハ現今左ノ四線アリ

宜蘭方面蘇澳ニ起リテ猿洞坑ニ了ル一線深坑廳牛林尾附近ニ起リテ新竹廳大坪ニ了ル一線

新竹廳南庄方面ニ起レル一線

苗栗廳桂竹林ニ起リテ南投廳內大林ニ了ル一線

故ニ宜蘭廳管內ト深坑廳管內トノ間新竹廳管內大坪ト南庄トノ間新竹廳管內ト苗栗廳管內トノ間ノ三點ヲ連絡スルトキハ東面臺東廳管內ヲ除キ濁水溪以北ニ於ケル兇蕃アタイヤル族ハ隘勇線ヲ以テ之ヲ包圍シタルモノトス

隘勇制ノ効果ニ就テハ異論アリト雖モ是レハ警察本署ト專賣局トノ間ニ根本ノ見解ニ於テ差違アルト防蕃制度ノ不十分ナルトニ由リ生ジタル議論ナリト信ズ此點ニ就テハ理蕃政策ニ於テ卑見ヲ開陳スル所アラントス

二、撫蕃

撫育費ハ專ラ蕃人ノ饗應惠與ニ使用ス然レドモ又廳ニ依リテ蕃人ノ官ニ對シ效勞アリタルトキニ賞與的ニ之ヲ使用スル所アリ又之ヲ授產敎育ニ使用スル所アリ又撫育費ヲ以テ蕃產交換ノ基金ト爲シ其收益ヲ以テ蕃人ノ饗應惠與ニ充ツル所アリ又臺東廳ノ如キハ專ラ是ヲ土目ノ月手當ニ支出セリ右ノ如ク各廳ノ使用方法同一ナラズト雖モ將使ハ臺東廳ニ於ケル土目月手當ノ如ク沿革的ノ理由アルモノハ格別其他ハ成ルベク褒賞的ノ意味ニテ饗應惠與ヲ施シ蕃人ヲシテ故ナクシテ恩賚ヲ受クベキモノニアラザルノ旨趣ヲ會得セシメ且ツ成ルベクハ之ヲ蕃產交換ノ基金ニ使用シ其收益ヲ以テ敎育授產等撫育ノ事業ニ投ゼシメンコトヲ望マザルヲ得ザルナリ

三、換蕃

蕃產交換ハ民蕃ノ自由交換ヲ許セル所アリ或ハ交換人ヲ特許シ或ハ交換ヲ官業ト爲セル所アリ是亦各廳ノ方針同一ナラズ臺中南投斗六嘉義蕃薯寮阿猴恒春臺東ノ八廳ハ自由交換ヲ許シ深坑新竹苗栗ノ三廳ハ特許制ヲ取リ宜蘭桃仔園ノ二廳ハ官業ト爲セリ抑々蕃產交換方法ハ蕃人化熟ノ程度蕃情ノ如何ニヨリ其制ヲ異ニスベキモノニシテ恒春蕃社ノ如キ其進化ノ程度著シ

ク土人ト同シク全ク貨幣ノ使用ヲ知リテ賣買ニ從事シツヽアル如キ蕃人ニ對シテ特許制若クハ官業制ヲ採用スル能ハザルハ勿論ナリト雖モ少クモ北部兇蕃アタイヤル族ニ對シテハ交換方法一律ニ出デザルベカラズ然ラズメバ蕃政ノ統一ヲ期スベカラズシテ討伐封鎖ハ其效果ナカルベシ即チ北部兇蕃アタイヤル族ニ接スル宜蘭深坑桃仔園新竹苗栗臺中南投及臺東ノ一部分ニ至リテハ交換方法ハ官業制若クハ特許制ヲ執リ彼レ兇蕃ノ需要供給ノ途ヲ官ノ手ニ握リ以テ其死命ヲ制センコトヲ期セザルベカラズ且各廳相互ニ氣脈ヲ通ジ兇蕃ニ對スル政策ノ聯合一致ヲ謀ラザルベカラズ斯ノ如クスルトキハ銃器彈藥ノ密入ヲ防ギ又食鹽布帛ノ供給ヲ絶ツコトモ容易ナルベシ之ヲ聞ク臺東廳ニ於テハ銃器彈藥ノ交換ヲモ特許セリト是レ頗ル審究ヲ要スベキ事項ナリ舊政府時代ニ在リテモ民蕃ノ自由交換ハ銃器彈藥ヲ蕃人ニ供給スルノ弊害アリシヲ以テ劉銘傳ノ撫墾局ノ制ヲ立ツルヤ換蕃ヲ官業トシ爲シ民蕃ノ自由交換ヲ嚴禁セリ劉氏ノ故智何ゾ踏襲スルニ足ラズト云フベケンヤ

四封鎖ノ結果

現今ニ於テ三角湧大嵙崁咸菜硼南庄大湖諸方面ニ皆封鎖セラレテ換蕃ヲ禁遏シ蕃地ニ於ケル事業ハ中止中ニ在リ此封鎖ノ效果ヲ究明スルニ封鎖ハ生蕃ニ對シテ何等ノ痛痒ヲ與ヘザルモノヽ如シ何トナレバ三角湧方面ハ封鎖セラレタルモ其隣境屈尺ニ於テハ換蕃ヲ爲シ撫育ヲ爲シツヽアリ大嵙崁ハ封鎖セラレタルモ山脊ヲ越エテ臺東宜蘭兩管内ニ至レバ換蕃ヲ爲シツヽアリ咸菜硼南庄ハ封鎖セラレタルモ其附近内灣上坪ニ於テハ換蕃ヲ爲シツヽアリ大湖ハ封鎖セラレタルモ東勢角ハ換蕃ヲ爲シツヽアリ彼レ生蕃ハ封鎖ニ依リテ數里ノ迂回ヲ爲シテ交換ヲ爲スノ煩勞アルモ其需要供給ノ道ヲ疏通スルニ於テ何等ノ苦痛ヲ感ゼズ抑々封鎖ノ目的ハ生蕃ノ糧道ヲ絶チ其生活ヲ困縮セシムルニ在リト雖モ現時ノ封鎖ハ彼等ヲシテ毫モ生活ノ困難ヲ感ゼシメズ鹽モ缺乏セザルナリ彈藥ニモ窮セザルナリ斯ノ如クンバ大兵ヲ動カシ大金ヲ費シテ討伐膺懲シタル如キ結果ヲ來シタルモノハ主トシテ理蕃政策ノ尚未タ確立シタルモノナキニ由レリ將來蕃政ノ統一膺懲ノ實效ヲ擧ゲント欲セバ理蕃政策ノ確立ハ一日モ忽諸ニスベカラザルナリ

五、採腦

製腦地ハ明治三十二年以來著シク變遷シタリ其然ル所以ハ理蕃政策ノ尚未タ確立セルモノナキヨリ專賣局ハ多數ノ小資本家ニ製造特許ヲ爲シ是等ノ小資本家ハ已ガマニマニ其目的ノ蕃地ニ進入シ蕃人ニ對シテハ或ハ撫蕃或ハ和蕃ノ方法ヲ以テ融和ヲ遂ケ以テ其事業ニ從事シタリシモ事業家ト蕃人トノ利益ノ衝突感情ノ不和ハ早晩免ルベカラズ其結果ハ馘首ト爲リ逆擊ト爲リ果テハ討伐封鎖ト爲リ事業ハ停止セザルニ至ルニ及ビテ事業家ハ更ニ他ノ蕃地ニ轉ジテ事業ニ從事スルガ故ニ斯ク製腦地ノ變遷ヲ來シタルモノナリトス現今ニ於テ製腦地ハ東北ハ宜蘭管內ヨリ西南ハ南投廳斗六廳管內ニ至リ其事業線甚ダ延長セルモ三角湧大嵙崁威菜硐內灣上坪南庄大湖等ノ製腦地ハ皆封鎖セラルヽガ故ニ桃仔園廳新竹廳及苗栗廳管內一部ノ舊製腦地ハ悉ク廢止ニ屬ス去年苗栗廳管內大湖方面蕃社ノ討伐ハ忽チ隣境東勢角方面ニ影響シ爲メニ東勢角方面製腦地ノ一部ハ廢止スルノ止ムヲ得ザルニ至レリ土人ハ云フ大湖ハ笑ヒ東勢角ハ泣クト討伐ノ結果斯ノ如シ是レ專賣局ガ困難ヲ訴フル所ニシテ爲メニ專賣局ハ其豫定製腦高ヲ得ンガ爲メニ勢ヒ他ノ蕃社ニ製腦事業ヲ求メザルヲ得ズ斯ノ如キ扞格ヲ來タスモノハ警察ノ目的ト專賣ノ目的ト相一致セザル所アルガ故ナリ警察ハ專賣ガ隘勇線以外ニ製腦事業ヲ入レ爲メニ蕃情ヲ攪乱スルノ嫌アルヲ說ク(今現ニ隘勇線以外ニ於ケル製腦事業ハ深坑廳管內火燒樟後坑仔方面苗栗廳管內馬凹洗坑方面臺中廳管內黃龍河石角山白毛社方面ナリトス)又專賣ハ隘勇制度ノ其實效尠ク徒ラニ事業ナキ方面ニ隘勇線ヲ延長シテ製腦事業ヲ保護スルノ厚カラザルヲ訴フ予ハ窃カニ其基因ヲ究メテ以爲ラク警察ノ防蕃設備ナルモノハ蕃界事業ヲ保護スルガ主タル目的ナルモ亦一面ニハ平地村落ノ保安交通ノ掩護ノ目的ヲ有シ且ツ隘勇線ノ配置ハ討蕃計畫ノ意味ヲ含マザルベカラズ而ルニ警察ノ方針トスル所動モスレバ事業保護ニ薄クシテ保安ノ目的討蕃計畫ノ意味ニ厚キヤノ憾アリ又專賣ハ固ヨリ多額ノ純益ヲ擧グルヲ目的トスル官ノ營利事業ナリト雖モ其製造特許ノ職權ヲ有シ蕃地ニ關係ヲ有スル以上ハ深ク蕃政ノ大局ニ着眼シ保安林制治水等ノ目的ヲ顧慮セザルベカラズ然ルニ專賣ノ方針トスル所動モスレバ專賣固有ノ目的ニノミ趨リ復タ他ノ目的ヲ顧慮セザルノ憾ナシトセズ故ニ予ハ以爲ラク專賣ノ純益ナルモノ

ハ他ノ目的ヲ損害セズシテ初メテ之ヲ誇稱シ得ベキモノニシテ若シ製腦專賣ノ結果ハ蕃情ヲ攪乱シテ警察力ノ膨脹ト爲リ動兵討伐ト爲リ蕃界事業(製腦事業以外)ノ不振ト爲リ又森林ヲ荒廢シ河川ヲ敗壞スルガ如キコトアラバ是等ノ現在及將來ニ於ケル損害ハ宜シク專賣ノ收入ヨリ控除シテ初メテ其純益ヲ見ルベキモノナリト思フニ警察ト專賣トノ見解ノ懸隔ヲ根本ヨリ排除シ兩者ノ步調ヲ齊フルニ非ズンバ將來蕃政ノ振刷統一ハ決シテ擧グルコト能ハザルベシ此點ニ於ケル卑見ハ理蕃政策ニ於テ陳述スル所アラントス但シ專賣局ニ於テモ從來製腦特許人ハ多數ノ小資本家ナリシモ近時ニ至リ少數大資本家ニ限定スルノ方針ヲ執リ又成ルベク製腦地域ヲ緊縮スルノ方針ヲ執ルニ至リタルハ頗ル蕃政ノ大局ニ適合シタルモノナリト確信ス

六開墾

現時ノ隘勇線ハ之ヲ清國政府時代ノ隘勇線ニ比スレバ一步ヲ進メタル方面ナキニ非ズト雖モ概ズルニ舊政府時代ノ隘勇線ヨリハ退却セルコト數里ノ後ニ在リ桃仔園廳管內即チ三角湧方面大嵙崁方面及咸菜硼方面ニ於ケル蕃地ノ如キ舊時ノ既墾田園ハ徒ラニ蕃人ノ占領ニ歸シ荒廢ニ屬セリ今其面積ヲ取調フルニ左ノ如シ

領臺前後ニ於テ既墾地ノ荒蕪ニ歸シタル田園甲數

	田	園	計
	約 甲	約 甲	甲
三角湧方面	三〇〇〇〇	七〇〇〇〇	一、〇〇〇〇
大嵙崁方面	一五三〇〇	二三五〇〇	三八八〇〇
咸菜硼方面	五三五〇	一二九〇〇	一二八五〇
合計	五〇六五〇	一、〇六四〇〇	一、五七〇五〇

即チ桃仔園廳管內ノミニテ領臺前既墾地ノ荒蕪ニ歸シタル田園合計千五百七十甲餘ノ多キアリ更ニ同廳管內蕃地ニ於ケル開墾見込地ノ面積ヲ舉クレバ左ノ如シ

	田	園	計
	約 甲	約 甲	甲
三角湧方面	二〇〇〇〇	一、〇〇〇〇	一、二〇〇〇
大嵙崁方面	一〇五〇〇	二、六五〇〇〇	二、七五五〇〇
咸菜硼方面	二五〇〇〇	一〇、〇〇〇〇	一〇、二五〇〇〇
合計	五五〇〇〇	一三、六五〇〇〇	一四、二〇〇〇〇

即チ桃仔園管内ノミニテ蕃地ニ於ケル開墾見込地ハ壹萬四千貳百甲ノ多キアリ右ノ内咸菜硐方面ニ於テ園開墾見込地ノ多大ナルハ馬武督蕃地ノ開墾ニ適セルモノアルニ依レリ其外新竹廳管内南庄ニ於テ去年ノ討伐ニ依リテ占領シタル地域ニハ蕃人ノ開拓シタル既墾地八十八甲未墾原野百三十五甲アリ此開墾地ハ尚未タ處分ヲ了セザルモノナリ又苗栗廳管内罩蘭方面ニ於テ去年ノ討伐ノ結果占領シタル地域ハ方六里ニ亘リ林地ヲ除キ原野坪數約參百八拾八萬八坪右ノ内御臺前開墾シタル箇所ハ一箇年田七白七拾石ヲ產出シ畑壹萬百石ヲ產出スルノ地坪アリ(田ハ二期ニシテ一甲ニ付貳拾五石ノ收穫畑ハ一期限ヲ十五石ノ收穫又開墾シ得ベキ原野地面積ハ水田見込坪數拾四萬五千八百五拾九坪畑見込坪數百參拾五萬六千九百八拾參坪ナリ

蕃地開墾ニ關シ人民ノ意向ハ隘寮設置後ニ於テ舊墾地ノ復墾セラレタル事情ニ依リテ推知スルニ足レリ即チ桃仔園管内ニ於テハ隘寮設置後舊墾地ノ復墾セラレタルモノ三角湧方面ニ於テ田拾九甲園五拾四甲大嵙崁方面ニ於テ園九拾參甲咸菜硐方面ニ於テ田拾壹甲五分園百貳拾九甲合計田參拾甲五分園貳百七拾六甲アリ又隘寮設置ノ爲メ蕃界ニ土人ノ家屋ヲ建築シ寄住シタルモノ咸菜硐方面ニ於テ十七戸百十人アリ予ノ實査シタル桃仔園新竹二廳管内ニ於ケル各支廳長ヨリ親シク聽取ル所ニ據ルモ隘勇線ノ前進ト共ニ地方人民ハ踴躍シテ前進開墾ヲ熱望セザル者莫ク頻々トシテ支廳ニ其希望ヲ申出ツル者アルモ蕃政方針ヲ指示セラレザルガ故ニ暫ク之ヲ制止シ居ル姿ニテ又人民ハ許可ヲモ經ズ猛進開墾ニ從事シ居ルモ蕃界警備ノ爲メニ之ヲ制止スルハ不可ナルヲ以テ默許ノ有樣ナリト苗栗廳長ノ語ル所モ亦相同シ防蕃設備ノ效果蕃地事業ノ熱望以テ知ルベキナリ桃仔園管内蕃界地方ニ於テハ人多クシテ地勘ナク蕃地封鎖ノ結果市街ハ凋衰ヲ來シ人民ハ稼業ヲ失ヒ宜蘭其他ノ地方ニ出稼セルモノ三角湧方面ニ於テハ約七八百人大嵙崁方面ニ於テハ約二千餘人アリト云フ

茲ニ一言ヲ要スルハ蕃界ト云フモ普通行政區域ト蕃界トハ地理上判然區劃アルモノニ非ザルコト是也蕃界ヲ實査セザル者ハ動モスレバ蕃地ト普通行政區域トハ判然區劃アルモノナルガ如ク想像スト雖モ實際ニ於テハ蕃界附近ノ普通行政區域内モ亦岡陵起伏ノ山地ナリ一溪ヲ隔テ一山ヲ踰ユレバ則チ蕃地トナリ普通行政區域ト爲ル予ハ是ニ於テ從來支那民族ガ生存競爭ノ

結果蕃族ヲ驅逐シテ本島今日ノ開發ヲ致セルノ偉大ナル勢力ニ感服セザルヲ得ザルナリ又說ヲ爲ス者アリ曰ク本島今日ノ狀勢平地ニ於テ廣漠タル原野ノ開墾ヲ竣ツモノ尙甚タ夥シ斗六地方ニ於ケル源野阿猴地方ニ於ケル原野ノ如シ何ヲ苦シミテ蕃界ニ着手スルノ必要カ在ルト然レドモ民間ノ趨勢斗六阿猴地方ニ於ケル原野ノ如キ平地ノ原野ニ着手セズシテ却テ北部蕃界ノ土地ヲ熟望スルモノハ是レ今日荒廢ニ歸セル平地ノ原野ハ交通ノ不便地味ノ瘠惡水利ノ缺乏等種々ノ點ヨリシテ其開墾ニ着手スルモ尙未タ利益擧ラズシテ北部蕃界事業ノ有利有益ナルニ如カザレバナリ北部蕃界ノ如キハ名ハ蕃界ト云フト雖モ既設縱貫鐵道ヲ距ル近キハ二三里遠キハ四五里ニ過ギズ其交通ノ便之ヲ臺中臺南ノ廣野ニ比シテ孰レカ優孰レカ劣智者ヲ待テ後知ラザルナリ況ンヤ農家山ニ依ルノ利ハ平地ニ依ルノ利ニ比シテ倍蓰スルモノナルコトハ少シク地方行政ノ實歷アル者ノ皆知悉スル所ナリ事業ノ有利ナルト否トハ民間當事者自ラ克ク之ヲ知ル要スルニ爲政家ハ唯民間ノ趨勢ニ從テ之ヲ善導助長スベキノミ

以上述ブル所ノ如キ形勢ナルヲ以テ蕃地開拓ノ曉ニ於テ蕃界ノ移住開墾ハ其困難ヲ憂フルニ足ラズ又之ガ爲メニ積極的奬勵ヲ施スヲ要セズ但資產家有力家ヲ指導シテ團體移住ヲ企テシメ且耕且衛ヲ簡易ニシ一定ノ鍬下年限(例ヘバ五箇年)ヲ付シ其年限ノ後ニ於テ丈量ノ上課稅スルコトヽナシ且ツ必要ナル場合ニハ銃器ヲ貸與シ又ハ彈藥ヲ給與スル等單ニ消極的奬勵ヲ施スノミニテ移住開墾ハ隘勇線ノ前進ト共ニ潮流ノ如ク蕃界ニ進入スベキハ信ジテ疑ハザル所ナリ但團體移住アル毎ニ必ズ警察官吏派出所ヲ設置シテ權力ノ之ヲ保護指導スルノ必要アリトス論者或ハ內地人ヲ蕃界ニ移殖セシメンコトヲ主張スル者アリ其說ニ曰ク日本帝國ガ臺灣ヲ永遠ニ保有セント欲セバ須ラク臺灣ニ母國人ノ勢力ヲ扶殖セザルベカラズ故ニ義勇奉公ノ精神ニ富メル堅實ナル母國人ヲシテ蕃界ニ移殖スルコト猶ホ施琅將軍ガ廣東人種ヲ蕃界ニ移殖シタルガ如クナラシムベシト此說ハ一ヲ知テ未タ其二ヲ知ラザルモノナリ今日母國人ノ移住又ハ出稼ヲ企ツル地方ハ北海道アリ布哇アリ何ヲ苦シンデ瘴癘ヲ犯シ蕃害ト戰テ本島ニ移住スルコトヲ爲サンヤ若シ強テ之レガ移住ヲ圖ラントセバ多額ノ保護奬勵費用ヲ要スベシ多額ノ保護奬勵費用ヲ投ジテ母國人ノ移殖ヲ企ツル必要有ルヤ若シ母國人ノ

愛國心ニ依頼スルニ非ザレハ本島ヲ統治スル能ハズト云ハヽ是レ我國民ハ殖民地經營ノ伎倆ナキモノナリ異人種統御ノ能力ナキモノナリ故ニ土人ヲ驅リテ蕃地ニ移住セシムルノ至廉且至便ナルニ如カザルナリ但シ蕃地移住ハ必ズシモ土人ニ限レリト云フニ非ズ要スルニ國家ハ多額ノ保護奬勵費ヲ要セズ一定ノ條件ノ下ニ均シク移住開墾ヲ爲ス者アラバ内地人可ナリ本島人可ナリ其間區別ヲ立ツルヲ要セズ然レドモ成ルベクハ蕃界附近ノ土人ガ最モ善ク移殖シ得ベキモノナルコトヲ信ズルモノナリ

七、伐木採礦等

本島森林收入ハ去ル明治三十一年度ニ於テハ僅カニ參千參十六圓ニ過ギザリシガ三十二年度ニ貳萬八百拾圓ト爲リ三十三年度ニ八萬參百貳拾圓ト爲リ三十四年度ニハ拾萬參千五百九拾八圓ト爲リ三十五年度ノ豫算ニ於テハ拾五萬參百七拾貳圓ト爲リ急劇ノ增加ヲ致セリ此收入ノ六割ハ樟木ノ拂下ヨリ生ズル收入ナリ一雖モ樟木ハ專賣局ニ製腦原料ヲ供給スルノ必要ヨリ一般材木ノ標準價格ヲ脫シ極メテ低價ニ處分シツヽアルモノナリ本島ニハ未ダ林政ノ見ルベキモノナク隨テ地方ニ依リテハ殆ンド森林ノ取締ナク入山伐木ハ脫稅自由ナルニ拘ハラズ又利用シ得ベキ蕃地ハ多ク封鎖セラレテ事業中止中ナルニ拘ハラス斯ノ如キ森林收入ノ增加ヲ見ルハ本島蕃地ノ大ニ利用アルヲ證スルニ足レリ將來林政ノ基礎確立スルニ至ラハ本島林力ノ狀況ヨリ推算シテ一箇年總收入百六拾五萬圓ノ巨額ヲ擧ゲ得ベキコトハ專門技師ノ見込ナリ又今日ニ於テモ蕃界ニ於ケル警察官又ハ總務課員ノ注意如何ニ依リテ森林收入ノ增加ヲ圖リ得ベキコトハ信ジテ疑ハザル所ナリ本島蕃地ハ全面積ノ五十六割ヲ占メ百五十萬餘町歩ノ森林ヲ有スルニ拘ハラズ去ル三十四年ニ於テ内地及外國ヨリ材木ノ輸入ヲ要スルモノ實ニ一箇年百參拾九萬七千貳百五拾圓餘ノ巨額ニ達シ而シテ内地及外國ニ輸出シタルモノ僅カニ貳万六千百六拾圓餘ニ過ギズ而シテ其輸入ノ材木ノ種類ハ多クハ本島ニ於テ產出シ若クハ代用ヲ爲シ得ルモノナリトス將來林政ヲ確立シ森林收入ノ增加ヲ圖ランコト最緊要ノ事ニ屬ス

蕃地ニ於ケル礦產物ハ蕃地ノ探檢ニ著手ゼザル今日ニ於テ未ダ其狀況ヲ知悉スル能ハザルモ蘇澳花蓮港間方面ニ於ケル蕃地ニ金礦ノ存在スルコトハ各方面ノ報告ニ徵スル信ズベキ餘地アルモノヽ如シ

八、林制及治水

木島尚未タ林政ノ確立セルモノナク當局者ニ堪能ナル林學技術官其人ヲ缺ケリ凡ソ採腦伐木開墾等林政ノ目的ヨリシテ注意セラルヽ所ナク蕃人ハ任意ニ燒畑薙畑ヲ爲シテ山林ヲ荒シツヽアリ國土ノ保安水源ノ涵養森林ノ養成大ニ注意セラルヽ所ナキモノヽ如シ其結果ノ現在及將來ニ如何ナルベキヤハ復贅言ヲ須井ザルナリ木島地方ヲ踏査セル者誰レカ河川ノ敗壞水利ノ缺乏ヲ嘆セザルモノアランヤ然レドモ河川ノ敗壞ヲ修覆シ水利ノ缺乏ヲ補充セント欲セバ須ラク先ヅ林政ヲ確立シ國土ノ保安水源ノ涵養ヲ圖ラザルベカラズ然ラズンバ如何ニ平地ニ於テ河川ヲ修メ水利ヲ興スモ襄ノ河原ニ石ヲ積ムト一般隨テ治ムレバ隨テ敗レン而已林政ノ確立一日モ等閑ニスベカラザルナリ

九、蕃人ノ土地所有

南庄討伐ノ結果化蕃日阿拐等ノ既墾地ハ沒收セラレテ今ニ尚處分ヲ了セザルモノヽ如シ予ノ南庄ニ至ルヤ化蕃平埔族土目絲卯乃ナルモノ其使役セル土人ノ番頭ト共ニ來リテ土地處分ノ如何ニナルベキヤヲ憂ヒ速ニ納稅ヲ許可セラレ納稅ハ事件後中止セラレタリト云フ其既墾地ノ業主權ヲ承認セラレンコトヲ訴ヘリ聞ク絲卯乃ノ亡父ハ德望蕃社ヲ壓シ偉大ナル勢力ヲ有シタルモノナリシニ數年前死亡シ絲卯乃其跡ヲ繼ゲリ去年日阿拐ノ事ヲ起スヤ頻リニ絲卯乃ヲ勸誘シタリシモ絲卯乃應セズ遂ニ其舊宅ヲ去リ家族ヲ率ヒテ南庄ニ移住セリ其舊宅ハ南庄ヲ距ル約二町ノ山手ニ在リ環堵整然立派ナル民屋ナリ絲卯乃ノ蕃地ニ有スル既墾田三十餘甲皆土人ニ出佃セルモノナリ其外平地ニモ田園ヲ有スル勘カラズ故ニ平生生產ニ從事セズ小作料ニ依リテ衣食セリ其年紀二十五六辨髮漢服土語土人ト毫モ異ナルナシ斯ノ如キ既ニ服從ノ實ヲ擧ゲ普通行政區域ニ移住シテ納稅其他ノ義務ニ於テ土人ト異ナルコトナキ熟化ノ蕃人ニ對シテハ熟蕃トシテ之ヲ取扱ヒ土地ノ所有ヲ承認シテ可ナルベク蕃人ガ勞力ト費用トヲ投ジテ墾成シタル田園ヲ國家ガ故ナクシテ之ヲ沒收スルガ如キハ決シテ正當ノ處分ナリト云フコトヲ得ザルベク亦以テ蕃人ヲ招撫スル所以ノ道ニアラザルベシ

以上述ブル所固ヨリ一端ニ過ギズト雖モ亦以テ蕃政現況ノ大觀ヲ得ルニ庶幾カルベキヲ信ズ

第六　理蕃政策

予ハ蕃政ノ既往ヲ略叙シ其現況ヲ詳述シタリ是ヨリ理蕃政策ニ就テ卑見ヲ述ブル所アラントス

一、理蕃政策ハ確立セザルベカラズ

理蕃政策ノ今日ニ於テ確立セザルベカラザルハ復疑ヲ容ルベカラズ事業家ノ要求ハ之ヲ促セリ林政及河川行政ノ必要ハ之ヲ促セリ縦貫鐵道ノ前進ハ之ヲ促セリ保安警察ノ必要ハ之ヲ促セリ今ニシテ之ヲ解決スル莫クンバ或ハ恐ル百年ノ悔ヲ遺サンコトヲ說ヲ爲ス者ハ曰ク今日蕃地ノ事業トハ何ゾヤ製腦事業是ナリ若シ製腦事業ヲ以テ云爲セン乎蕃人ニ對シ或ハ撫恤或ハ和親少許ノ牛豚又ハ米鹽ヲ與ヘテ以テ其事業ヲ遂行シ得ベシ其費ヤス所少クシテ其利スル所大ナリ何ゾ多額ノ費用ヲ投ジテ防蕃ノ設備ヲ爲スヲ要センヤ何ゾ理蕃政策ノ確立ヲ絕叫スルヲ要センヤト是レ本問題ノ一班ヲ窺フテ未タ全豹ヲ見ザルノ議論ナリト謂ハザルベカラズ蕃地ニ於ケル事業ハ製腦事業其主要ノモノタルニハ相違ナキモ尙他ニ殖林事業アリ伐木事業アリ開墾事業アリ況ンヤ蕃地問題ハ保安警察ノ目的林政及河川行政ノ目的ノ之ニ隨伴スルモノアルニ於テヲヤ故ニ蕃地問題ニ就テハ爲政家タルモノハ此諸般ノ事業ヲ保護シ諸般ノ目的ニ適合スルノ政策ヲ立テザルベカラズ若シ夫レ單ニ專賣觀ヲ以テ見レバ製腦家ヲ蕃地ニ進入セシメテ到ル所ニ豐富ナル樟木ヲ喰盡シ蕃情不穩トナレバ更ニ轉ジテ他ノ蕃地ニ進入セシムルモ豫定ノ生產高ヲ得ルニ難カラズ姿スルニ專賣ノ目的ハ多大ノ純益ヲ擧グルノ營利事業ナルヲ以テ成ルベク經費少クシテ收益多キヲ期シ之ガ爲メニ他ノ行政ノ目的ヲ傷害スルモ亦意トスル所ニアラザルベシ然レドモ斯ノ如キハ單ニ專賣ノ側ヨリ見レバ成效ニハ相違ナキモ他ノ行政ハ之ガ爲メニ多大ノ傷害ヲ蒙ムリ其直接間接ニ國家ニ損害ヲ惹起サシムルヤ勘シト爲サヽルナリ殷鑑遠カラズ理蕃政策ノ未タ確立セザル時ニ方リテ蕃地ヲ開放シテ製腦家ノ蹂躙ニ委セシ結果ハ蕃情ノ不穩ト爲リ討伐封鎖ト爲レリ今日北部一帶ノ蕃地即チ桃仔園新竹二廳管內ノ蕃地ノ利用シ得ザルニ歸シタルモノ全ク製腦事業ノ結果ナリト云ハザルベカラズ故ニ予ハ曰ク製腦專賣ノ純益ナルモノハ單ニ其原料買上費行政諸費ノミナラズ又蕃界諸費動兵討伐費並ニ其間接ニ森林及河川ニ與フル損害等ヲ其收入高ヨリ控除シタル上ニアラザレバ知悉スル能ハザルモノナリト理蕃政策確立ノ必要ハ時局ノ遷

運之ヲ促セリ歴史ノ經過之ヲ迫マレリ今日ニシテ蕃政ノ自由放任ヲ說クハ是レ過去ニ於ケル失敗ノ事跡ヲ再演セントスルノミ是レ猶ホ壯者ヲシテ青春ニ復ラシメントスルガ如シ且ツ夫レ防蕃設備ナルモノハ實際ノ必要ヨリ生ジタルモノナルコトハ過去ノ歴史ニ明ナリ一旦之ヲ設置シタル以上ハ進ムコトアルモ退クコトアルベカズ吾人ガ劉氏ノ故智ヲ倣ハザルヲ得ザルハ劉氏ノ遠識達觀ノ爲メニ然ルニアラズシテ時局ノ進運實際ノ必要之ヲ然ラシムルノミ

二、理蕃政策ハ計畫的ナラザルベカラズ

蕃地問題ハ經濟問題ナリ理蕃政策ハ國家ノ利益線前進ノ必要ヨリ起リタルモノニシテ固ヨリ事業ノ發達保護ヲ目的トスルモノナリト雖モ其目的ヲ多方面ニシテ一方面ナラズ其期スル所ハ永遠的ニシテ一時的ナラズ故ニ蕃地ニ於ケル各種事業ハ其偏倚セル我利ヲ棄テ、此政策ニ協調適合セザルベカラザルモノトズ又理蕃政策ハ終局ノ目的ヲ有シ一定ノ計畫ニ依ラザルベカラズ故ニ各官廳ハ此目的ニ歸一シ此計畫ニ依遵セザルベカラズ

三、理蕃政策並ニ其計畫

蕃地ヲ經營セント欲セバ先ヅ蕃人ヲ處分セザルベカラズ蕃人ヲ處分スルノ途如何ヲ曰ク威シテ而ル後撫スルニ在リ蓋シ威服シタル後ニアラザレバ撫育ハ行ハルベカラザルナリ所謂威トハ彼等蕃人ノ眞正ニ心服歡悟スル所ヲ謂フ所謂撫トハ彼等蕃人ノ眞正ニ震懾畏縮スル所ヲ謂フ所謂リテ獸類ヲ距ル遠カラズ其進化ノ程度ニ於テ吾人ト數千年ノ懸隔アルモノナリ文明人ノ思想感情ト野蠻人ノ思想感情トハ霄壤ノ差違アルベキハ復言フヲ須井ズ世人往々恩威竝行ヲ說クヲ而ルニ其恩ト云ヒ威ト云フモノ文明人ノ思想感情ニ訴ヘテ恩ト爲シ威ト爲ス所ヲ行フヲ是レ生蕃處置ノ未タ效果ヲ見ザル所以ナリ是故ニ討伐封鎖モ以テ威ト爲スニ足ラズ宜シク彼レ生蕃ノ思想感情ニ訴ヘテ恩ト爲シ威ト爲ス所ヲ行フベキナリ是故ニ曰ク蕃人ヲ處置セント欲セバ宜シク先ヅ蕃人ヲ研究シ蕃情ヲ詳悉スベシ然ルトキハ勞少クシテ而シテ效多シト彼ノ蕃害ナクシテ蕃情好況ナル地方ハ必ズ有爲堪能ナル蕃通ナル者アリテ克ク蕃人ヲ威撫セル效果ナルヲ見ル元來蕃人ヲ主觀的ニ人間視スルハ誤レリ客觀的ニ之テ研究シ之ヲ處分スルヲ要ス猛獸能ク人ヲ噛ミ毒蛇能ク人ヲ咬ム然レドモ彼ノ虎ヲ使役スル者ヲ見ズ乎克ク之ヲ羅致シ之ヲ飼養シ而ル後之ヲ使役スル彼ノ蛇ヲ使役スル者ヲ見ズ乎克ク之ヲ羅致シ之ヲ飼養シ而ル後之ヲ使役スル

吾ガ意ノ如クナラシメ以テ其死命ヲ制スルニアラズヤ生蕃ノ處置モ亦之ニ類スルモノ莫クンバアラザルナリ

威スルノ途如何曰ク隘勇隊ヲ組織シ攻勢ヲ執リテ前進スルニ在リ曰ク蕃ヲ以テ蕃ヲ征スルニ在リ曰ク惡蕃ニ對シテハ懸賞以テ土人ヲシテ反對ニ彼等ヲ誡首セシムルニ在リ曰ク換蕃ヲ官ノ手ニ握リ伸縮自在以テ彼等生活ノ途ヲ困縮セシムルヱ在リ抑々生蕃討伐ニ就テ帝國ノ軍隊ヲ煩ハスコトハ事體甚ダ穩當ナラザルノミナラズ兵ヲ損シ資ヲ糜ス策ノ得タルモノニアラズ生蕃討伐ト云フハ其實虎狩猪狩ト云フガ如キモノニ過ギズ故ニ先ヅ地理ニ熟シ蕃情ニ通ゼル壯丁ヲ傭募シテ隘勇隊ヲ組織シ之ヲ訓練シテ以テ一種ノ討蕃兵法ヲ案出シコト益々太甚シ故ニ文明ノ極點ハ人間ノ柔弱ヲ意味ス希臘羅馬ノ文明ガマヤドンノ野蠻獨逸ノ野蠻ノ爲メニ亡滅セラレタルモノ全ク之ガ爲メナリ故ニ予ハ常ニ以爲ラク歐洲ノ文明モ其極點ニ達スルトキハ野蠻未開ノ爲メニ亡滅セラルヽ時期アルベシ我國民ノ強勇ハ尚ホ未タ蠻性ヲ保存スルガ爲メナリ大和魂ト云フハ畢竟生蕃氣象ニ過ギザルナリト故ニ暴ニ對シテハ暴ヲ以テ之ニ克ツベシ今懸賞土人ヲシテ却テ兇蕃ヲ出征馘首セシムルトキ生蕃ハ却テ閉息遁走シ到底文明人ニ力及バザルコトヲ感念スルニ至ルベク是レ亦討蕃ノ一方法ナルベキ乎又換蕃ヲ官ノ手ニ握ルトキハ伸縮自在以テ懷柔ヲ爲シ得ベク以テ威壓ヲ爲シ得ベシ彼等ノ死命ヲ制スルハ其生活ノ途ヲ主宰スルヨリ良キハ莫シ

撫スルノ途如何曰ク宗教以テ惡習ヲ解脫セシムルニ在リ曰ク教育以テ人道ヲ理解シ耕食ノ方法ヲ習ハシムルニ在リ宗教及教育ノ蕃人化育ニ於テ偉大ナル成果アリシコトハ蘭人ノ治績ニ徵シテ明ナリ只宗教ハ其人ヲ得且永遠ニ之ヲ繼續スルコトヲ要ス蕃人教育ノ功績アルコトハ猪勝束國語傳習所及嘉義石田氏教育事業ノ成績ニ見テ知ルベシ但シ茲ニ一言ヲ要スルハ威ト云ヒ撫ト云フ其方面ヲ異ニスルモ其歸一スル所ハ同一目的ニ在ル事是ナリ威ハ以テ撫スル

所以ナリ撫ハ以テ威スル所以ナリ此根本ノ観念ヲ失フトキハ威モ以テ威トスルニ足ラズ撫モ以テ撫トスルニ足ラザルニ至ルベキナリ

蕃人ヲ處分スルノ順序如何曰ク南守北進ニ在リ抑々(一)北部ハ權力ノ中心ニ接近ス階前ノ草芥之ヲ掃蕩セザルベカラズ(二)交通ノ便アリテ蕃地利用ノ途多シ事業家ノ要求逼迫セリ(三)兇蕃アタイヤル族ハ最モ劣等ニシテ最モ濟度シ得ザルノ蕃族ナリ從來帝國ノ威力尚未ダ之ニ加ハラズ先ヅ之ヲ處分スルニアラザレバ全島ノ蕃人處分問題ハ解決セラレザルナリ之ニ反シテ(一)南部ハ蕃族進化ノ程度稍々進ミ之ヲ處分スル困難ニアラズ(二)交通ノ便利尚未タ開ケズシテ蕃地利用ノ途尚未タ多カラザルナリ故ニ南蕃ニ對シテハ主トシテ撫育ヲ以テ之ニ蒞ミ北蕃ニ對シテハ專ラ威壓ヲ以テ之ニ蒞ミ主力ヲ北蕃ニ用ヰザルベカラズ但シ撫育ト云フト雖モ不逞ノ蕃族ハ之ヲ膺懲セザルベカラズ是レ他ナシ威ハ以テ撫スル所以撫ハ以テ威スル所以ナレバナリ今日恒春蕃族ノ如キハ極メテ從順ニシテ其一部分ハ殆ンド化熟ノ域ニ進メリ然レドモ此蕃族ハ明治元年ニハ米國ノ商船ロバー號ノ乘込員ヲ屠殺シ軍艦二艘ヲ以テ來レル米國討伐軍ニ屈セズ之ヲ擊退シタリシモノナリ清國數度ノ討伐軍ニ屈セザリシモノナリ

其今日ノ狀況ニ至レルモノハ全ク明治七年征臺ノ役ト明治三十年ノ討伐トニ依リ我威力ニ服從シタルノ結果ナリ威スルニ非ズンバ以テ撫スルニ足ラザルヤ見ルベキナリ枋藔ヨリ恒春ニ至ルノ間其程十餘里一町ニ一亭一里ニ一營隘藔屯營ノ舊址ヲ見ル是レ舊政府時代ニ於ケル防蕃設備ノ遺跡ナリ而シテ今ヤ旅客單身夜行嘗テ蕃害ヲ憂フルコトナシ是レ豈我帝國威力ノ效果ニアラズヤ然ルニ獨リ北蕃ニ對シテハ帝國ノ威力尚未ダ之ニ加ハラズ彼レ兇蕃ハ我帝國ノ以テ與シ易ク畏ルヽニ足ラズトナシ却テ劉銘傳ノ討蕃事跡ヲ追想シ震懾シツヽアリ大威力ノ以テ之ヲ震懾畏縮セシムルニ非ズンバ何ヲ以テ蕃政問題ヲ解決スルコトヲ得ベケンヤ

以上述ブル所ノ要領ヲ括約スレバ左ノ如シ

理蕃政策

蕃人ノ處分

方針　威シテ而ル後撫スルニ在リ

威ト云ヒ撫ト云フハ蕃人ノ點ヨリ觀ザルベカラズ

威ノ方法如何

(一)陰勇線ヲ以テ攻勢ヲ執リテ前進スルニ在リ
軍隊ハ之ヲ幇助掩護スルモノトス
(二)蕃ヲ以テ蕃ヲ征スルニ在リ
(三)懸賞ヲ以テ蕃人ヲ馘首スルニ在リ
(四)換蕃ヲ官ニ有シ伸縮自在蕃人ノ生活ヲ困縮セシムルニ在リ
撫ノ方法如何

(一)宗教
(二)教育

順序　南守北進ニ在リ
南蕃ニ對シテハ主トシテ撫育ヲ以テ之ニ蒞ミ北蕃ニ對シテハ專ラ威壓ヲ以テ之ニ蒞ム

以上述ブル所ノ方針ニ基キ順序ニ依リテ進ムベキ計畫ハ如何兒蕃アタイキル族ハ北宜蘭深坑桃仔園各廳管内ヨリ南濁水溪ニ亘ル一帶ノ蕃地ヲ占領シ其數二萬ト稱ス今南撫北伐ノ方針ヲ以テ進ムトスルモアタイヤル族ヲ包圍シテ各方面ヨリ同時ニ着手スル如キハ兵力限リアリ財力限リアリ恰モ蜂窠ヲ衝破スルガ如ク其結果ハ潰裂四出復收拾スベカラザルニ至ランコトヲ恐ル故ニ討蕃計畫ハ事業ノ緩急ヲ顧ミ地理ヲ察シ蕃情ヲ察シテ先ヅ必要ナル部分ヨリ着手スルヲ要ス蕃地問題ハ畢竟經濟的問題ナリ隨テ討蕃計畫ハ財政上ノ都合ヲ顧ミザルベカラズ予ガ蕃地問題モ亦財政的見地ヨリシテ其計畫ヲ立テザルベカラズト云フハ是レガ爲ナリ故ニ討蕃計畫ハ須ラク部分著手ナラザルベカラズ其著手セザル方面ニ在リテハ須ラク撫育控制蕃情ヲ擾乱セシメズ以テ全局ノ成功ヲ幇助セシメンコトヲ要ス夫レ本島ノ中央山脈ニ於テ最モ高峻ナル深山ハ南部ニ在リテハ新高山トシ北部ニ在リテハシルピヤ山トス大小ノ河流直接間接ニ此二高山ニ源ヲ發セザルハ莫シ河流ノ大ナルモノ南部ニ在リテハ下淡水溪中部ニ在リテハ濁水溪北部ニ在リテハ淡水河(上流ハ大嶺崁川ト云フ)ト爲ス下淡水溪ハ其源ヲ新高山ヨリ發シ濁水溪ノ一支流ハ源ヲ新高山ヨリ發シ又其一支流ハ源ヲシルピヤ山ヨリ發ス而シテ蕃社ノ所在ハ多クハ各溪流ニ沿フモノナリ蕃地ノ地理斯ノ如シ而シテ事業ノ必要ハ主トシテ最モ北部ノ蕃地ニ在リ是レ他ナシ最北部ノ蕃地ハ既設縱貫鐵道ニ近接シ權力ノ首府ニ近接シ基隆及淡水ノ貿易港ニ近接シ又淡水川新店川ノ如キ航運ノ便利アルヲ以テ蕃地ヲ利

用シ得ルコト甚多大ナレバナリ又蕃情ヲ察スルニ兇蕃ノ最兇ナル者臺東ノ太魯閣蕃ニ如クハ莫シ之ニ次グヲ大嵙崁蕃ト爲ス故ニ苟モ大嵙崁蕃ニシテ掃蕩シ得ンカ最北部ニ於ケル小蕃ハ自ラ風靡スベク又之ヲ掃蕩シ易カルベシ故ニ部分著手ハ先ヅ大嵙崁蕃及ビ之ニ近接スル三角湧大豹社トシ大嵙崁川ノ流域ヲ溯リテ前進スルトキハ宜蘭諸蕃ヲ掃蕩シ得ベク以テ臺北ヲ起點トシ大嵙崁ヲ經テ叭哩沙原野ニ出デ宜蘭及蘇澳ニ通ズベキ交通道路ヲ新設シ得ベシ是レ蓋シ討蕃計畫ニ於ケル第一著手ナルベシト信ズ

右ノ如ク先ヅ桃仔園廳深坑廳宜蘭廳新竹廳管内ノ蕃社ヲ占領シ得ルトキハ是等地方ニ於テ製腦事業モ復活シ伐木事業開墾事業モ起ルニ至ラン果シテ然ルトキハ製腦ノ事業線ヲ緊縮スルコトヲ得テ專賣局ノ目的ニモ適合シ得ベク事業家ノ希望モ滿足セシメ得ベキナリ又果シテ北部分著手ノ計畫ヲ實行スルトセバ他ノ著手セザル部分即チ苗栗廳臺中廳南投廳斗六廳等ニ在リテハ姑ラク現在ノ方針ニテ進マシ撫育控制ノ方針ヲ採ラシメ又臺東廳ニ在リテハ姑ラク現在ノ方針ニテ進マシムルヲ要ス又臺東廳管内ノ中部ヨリ著手シ分水嶺ヲ傳ヒテ蕃ヲ以テ蕃ヲ征スベシトノ意見アリ（中田警視所見）是レ亦奇襲ノ一策トシテ北進ノ目的ヲ援助スルニ於テ效果アルベシト雖モ是レヲ以テ惟一ノ計畫ト爲スコト能ハザルベシ何トナレバ討蕃計畫ハ單ニ膺懲威壓ヲ主意トスルモノニ非ズシテ膺懲威壓ハ事業ノ前進ヲ保護スルガ爲メニ行フモノナレバナリ

之ヲ要スルニ討蕃計畫ハ事技術ニ屬シ茲ニ敢言ヲ憚ル所ナリト雖モ討蕃ハ事業ノ必要ノ爲メニ起ルモノニシテ國家ノ利益線前進ノ必要ノ爲メニ膺懲威壓ハ伴フモノナルコトヲ遺忘スベカラザルコトハ第一ノ要義ナリト確信ス

四、理蕃政策ノ實行方法

以上述ブル所ノ理蕃政策並ニ其計畫ノ實行方法ハ如何

先ッ南北蕃ヲ通ジテ撫ノ方法ハ宗教教育及實業奬勵ノ三者是レナリ

宗教ハ堪能ナル宗教家ヲ保護シテ之ガ傳道ニ從事セシムベシ

教育ハ從來施設セルモノヽ外差當リ南蕃ニ對シテハ嘉義廳阿里山ニ一箇所北蕃ニ對シテハ深坑廳屈尺ニ一箇所設置ノ見込アルモノヽ如シ其外苗栗廳ニテハ今現ニ一箇所開設ノ計畫中ニテ尚此後桃仔園新竹ノ蕃ヲ掃蕩シ得ナバ各々一箇所ヲ設置シ得ベシ但シ茲ニ蕃人教育ト云フハ必ズシモ壯大ナル學校ヲ設ケ文明流ノ學科課程ヲ教授スベシト云フニ非ラズ要ハ只修身ノ要旨ヲ授ケ

國語讀書(土語)算術ヲ教ヘ兼テ耕耘稼穡ノ法ヲ習ハシメ蕃童ヲシテ馘首ノ惡
念ヲ絶チ人間生活ノ道ヲ辨知セシムレバ足レリトス故ニ其教授時間ハ一日修
身國語讀書算術即學科時間二時間若クハ三時間耕耘稼穡即チ實科時間三時間
位ニテ可ナルベシ此蕃童ハ有事ノ時ニハ以テ人質ト爲シテ蕃族ニ薀ムコトヲ
得ベク又其成業ノ曉ニハ之ヲ先導トシテ以テ蕃族ヲ敎化シ得ベシ必ズシモ獨
立ノ學校ヲ設立スルヲ要セズ蕃界支廳若クハ總務課派出所ニ之ヲ附設セシメ
テ可ナリ又私人事業ノ場合ニ之ヲ保護スルモ可ナルベク多額ノ費用ヲ要セザ
ルナリ本年度總督府敎育費豫算ニハ蕃人敎育費補助費參千圓アリ然レドモ尙
未タ支出セルモノアルヲ聞カズ

實業奬勵モ亦蕃人撫化ノ一端ナルベシ

以上三事業ノ爲メニハ特ニ財源ヲ要セズ蕃產交換ノ制度ヲ整理シ其收益ヲ以
テ其財源ニ充ツルノ方針ヲ執ルコト肝要ナリトス

北蕃ニ對スル威ノ方法ハ討伐膺懲ニ在リテ其大打擊ニ至リテハ軍隊ノ力ニ依
賴セザルヲ得ザルハ勿論ナリト雖モ將來ハ險勇隊ヲ組織シ警察官之ヲ指揮シ
テ攻勢ヲ執リ事業ヲ保護シ蕃族ヲ驅逐シテ前進スルノ方針ヲ執リ力足ラザル

場合ニ初メテ軍隊ノ幇助掩護ヲ求ムルコトヽナスヲ肝要トス之ガ爲メニハ險
勇ノ待遇並ニ蕃界警察官ノ待遇ヲ改良シ又論功行賞ノ方法ヲ設クルヲ必要ナ
リトス

北進計畫ヲ實行スルニ就テハ經費蕃政ノ統一攻蕃及防蕃事業家ノ擇擇道路開
鑿移殖開墾等ニ關シ決定スル所ナカルベカラズ

一、經費

討蕃計畫ハ利益前進ノ爲メニ起ルモノナレバ經濟的問題ナリ故ニ其進程ハ愼
重ニ如何ナル經濟上ノ結果ヲ致スベキヤヲ打算シ而シテ財政上ノ都合ヲ顧ミ
テ畫策セザルベカラズ又蕃地問題ハ畢竟山林問題ナリ蕃地ノ利益ハ樟腦ト云
ヒ木材ト云ヒ孰レモ林產物ニアラザルハ莫シ開墾ト云フコトアルモ是レハ附
帶ノ事業ナリ採礦ト云フコトアルモ礦脈ヲ發見セザル今日ニ於テハ此問題ハ
起ラザルナリ蕃地問題ノ解決ヲ要スルハ林產物ノ利益ヲ採取シ兼テ森林保
護ヲ期畫スルヲ要スレバナリ故ニ蕃地問題ハ則チ山林問題ナリ但本島ノ山林
問題ニハ生蕃テフ防害物ノ附隨スルアルヲ以テ本問題ノ解決ヲ困難ナラシメ
其本質ヲ沒却セシムルノミ生蕃ノ法律上人格ナク眼中ニ重キヲ置クヲ要セザ

ルハ復論ズルヲ要セズ本島ノ蕃地問題ハ如何ニシテ害物ヲ排除シ林政ヲ確立シテ利益ヲ擧グベキ乎ニ在リ故ニ蕃地經營ノ爲メニハ森林收入ヲ投資シテ以テ林政ヲ實施シ森林收入ノ增加ヲ圖リ將來ニハ森林收入ヲ以テ本島ニ於ケル重要財源タラシムルコトヲ期セザルベカラズ討蕃計畫ハ則チ蕃地問題卽チ山林問題ノ目的ヲ達スルノ一手段トシテ考察セザルベカラズ蕃地問題卽チ山林問題ノ眞正ノ目的ハ林政ヲ確立シ森林收入ノ增加ヲ圖リ之ヲ以テ將來本島ニ於ケル重要財源タラシムルニ在リ但生蕃ナル害物ハ保安警察ニモ至大ノ關係ヲ有スルモノナルヲ以テ之ガ處置ニ對スル費用ハ一般警察費ヨリモ亦其幾分ヲ支出セザルベカラザルモノナリトス現今蕃界諸費ハ無慮參拾萬圓ニ達セリ此額以上ヲ蕃地問題ノ爲メニ一般財政ヨリ支出センコトハ財政ノ現況許シ得ベキモノニアラズ將來或ハ普通警察費ヲ減少シテ其餘裕ヲ蕃地問題ニ塡充スルノ時機アルベシ

討蕃計畫ハ利益線前進ノ爲メナリ蕃地事業保護ノ爲メナリ故ニ事業家ヲシテ討蕃計畫ニ要スル費用ヲ分擔セシムルハ當然ノ事ナリトス

故ニ予輩ハ討蕃計畫ノ爲メニ財政上ニ新タナル負擔ヲ要求スルコトヲ爲ザズ左ノ財源ヲ以テ之ニ充ツルコトヽシ其財源ノ範圍內ニ於テ運用ノ妙活動ノ功ヲ收ムルヲ期セント欲ス

一現在ノ蕃界諸費　參拾萬圓

一森林收入　拾貳萬圓

一普通警察費ノ減少

一蕃地事業家ノ負擔（命令上ノ負擔腦灶稅等）

二、蕃政ノ統一

方今蕃政ノ方針確立スルモナク下級行政廳ハ其依遵スル所ナキニ苦ミ蕃政爲メニ擧ラザルハ其弊源全ク統一機關ノ缺如セルニ歸セザルベカラズ官制及分課規程ヲ按ズルニ蕃政ハ實ニ警察本署殖產局及專賣局ニ於テ之ヲ掌管セルヲ見ル

總督府民政部分課規程

警察本署警務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

陰勇ニ關スル事項

保安課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

山林及蕃人取締ニ關スル事項
殖産局拓殖課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
森林原野及鑛山ニ關スル事項
蕃人蕃地ニ關スル事項

專賣局官制

第一條　臺灣總督府專賣局ハ臺灣總督ノ管理ニ屬シ左ノ事務ヲ掌理ス
樟腦ノ製造特許及取締ニ關スル事項

右ノ如ク規定セラレ警察本署ハ單ニ保安警察ノ點ヨリ蕃人蕃地ニ關係ヲ有スルニ過ギズ專賣局ハ單ニ製造特許ノ點ヨリ蕃人蕃地ニ關係ヲ有スルニ過ギズ蕃人蕃地ニ關スル本來ノ事務ハ固ヨリ殖産局ノ主管ニ屬スルモノニシテ一見スレバ其間ニ些ノ扞格隔離ヲ生ズル理由ナキモノヽ如シト雖モ實際ニ於ヲハ蕃人ノ出草馘首ヨリシテ蕃社ノ土匪隱匿ヨリシテ防蕃線ノ配置ト爲リ討伐封鎖ト爲リタル結果警察本署ハ蕃人蕃地ニ重要ナル關係ヲ有スルコトヽナリ又製造特許ニ依リ事業家ニ其進入スベキ蕃地ヲ指定スルヨリシテ專賣局ハ蕃人蕃地ニ至要ノ關係ヲ有スル事ト爲リ而シテ蕃政ノ大局ヲ把持セザルベカラザル殖産局ニ在リテハ平地ニ於ケル殖産行政ノ多端ナルガ爲メニ蕃政自ラ擧ラザルノ觀ナシトセズ故ニ今日ニ於テ蕃政ニ關スル事務ノ隔離ハ專ラ警察ト專賣トノ間ニ在リコノ隔離ヲ生シタルモノハ兩者各々其固有事務ノ點ヨリシテ蕃人蕃地ヲ解釋スルニ熱心ニシテ蕃政大局ノ著眼ニ冷淡ナルノ致ス所ニアラザル莫キ乎是レ亦各々其職ニ忠ナルノ致ス所ニシテ已ムヲ得ザルニ出ヅト雖モ窃カニ恐ル斯ノ如クニシテ速ニ解決スル所ナクンバ蕃政遂ニ振刷ノ時機ナキノミナラズ弊害ヲ現在及ヒ將來ニ遺スモノナルコトヲ禍根ヲ刈リ弊源ヲ除クノ方策如何曰ク蕃政ヲ或ル一地ニ關スル警察本署ノ事務殖産局ノ事務及ビ專賣局ノ事務ヲ或ル一ノ行政機關ニ吸收シ之ヲシテ蕃政大局ヲ把持シ事務ヲ統理セシムルニ在リ此惟一ノ行政機關ハ森林行政ガ其主タル目的ニシテ將來ニ於テハ森林收入ノ增加ヲ圖リ一ノ作業トシテ本島ノ重要財源ヲ生出スベキ機關タルコトヲ期セザルベカラズ此蕃政惟一ノ行政機關ハ特立機關ヲ新設スベキ乎之ヲ林野局又ハ山林局若クハ現狀ヲ表出シテ蕃地事務局ト云フモ可ナリ或ハ警察本署ヲシテ之ニ當ラシムベキ乎或ハ專賣局ヲシテ之ニ當ラシムベキ乎若クハ殖産局ヲシテ之ニ當

ラシムベキ乎其利害得失並ニ方策ハ之ヲ次章ニ述ベントス要スルニ今日實際ノ必要ハ蕃政ヲ或ル惟一ノ行政機關ニ掌理セシムルコトヲ要求スルモノナリ

三、(一)蕃及防蕃

攻蕃ハ專ラ隘勇隊ヲシテ之ニ任ゼシムルヲ要ス必要ナル箇所ニ其屯營及分營ヲ設置スルコト肝要ナリ

防蕃ハ隘勇若クハ保甲壯丁ヲシテ之ニ任ゼシムルヲ要ス蕃地事業ノ保護ヲ要スル地域ハ隘勇ヲ以テ防蕃ニ當ラシメ事業保護ノ必要ナクシテ單ニ普通行政區域ノ保安ヲ要スル區域ハ保甲壯丁ヲ以テ之ニ當ラシムルヲ方針トス此區域ヲ爲シタル所以ハ隘勇ハ專ラ蕃地開拓ノ爲メ利益線ノ保護前進ノ爲メニ設置スルモノニシテ單ニ民莊保安ノ爲メナラバ保甲壯丁之ニ當ルベキハ當然ノ任務ナレバナリ但シ必要ナル場合ニ相當ノ保護奬勵ヲ保甲壯丁ニ與フルヲ要ス斯ノ如キ方法ヲ立テタルモノハ限リアル財源ヲ以テ討蕃計畫ニ從事セザルベカラザルガ故ニ防蕃隘勇ノ經費ヲ減ジ之ヲ防蕃隘勇ノ養成ニ使用センコトヲ欲スレバナリ

蕃地事業ハ必ズ討蕃計畫ノ地域內並ニ防蕃設備ノ實施シ得ル方面ニノミ限定スルヲ原則トス(此原則ハ專ラ北部兇蕃ニ面スル地方ニノミ適用ス蕃政ノ大局ヨリ見テ支障ナキ地方ハ除ク)是レ事業家ガ任意ニ蕃地ニ進入セシムルノ不可ナルコトハ既往ノ事跡ニ依リテ明瞭ナレバナリ若シ北進計畫ノ實行ニ依リ最北部ノ或ル蕃地ノ地域ヲ占領シ得ルトキハ此地方ニ於ケル製腦事業ハ復活セラレ專賣局所要ノ產額ノ過半ハ北部ニ於テ供給セラルベク隨テ中部ニ於ケル採腦ヲ減縮シ又防蕃線以外ノ採腦事業ヲ廢止シ得ベキナリ

四、事業家ノ選擇

蕃地ニハ多數ノ小企業家ヲ入ルベカラズ少數ノ大企業家ニ限リテ蕃地事業ヲ特許スルコトヲ要ス是レ亦過去ノ實驗ニ徵シテ明ナリトス

事業家ニ特許スベキ地域ハ討蕃計畫既ニ成立シ早晚占領ノ見込アル地方ニ限ルモノトス而シテ溪流ノ奔駛山脊ノ起伏等地理的自然區劃ニ依リテ地域ヲ分割特許スルヲ要ス此地域ハ大ナルベカラズ大ニ過グルトキハ將來全島ニ幾多ノ權力者ヲ生ジ制馭シ難カルベク又蕃地開拓ノ成功ヲ遲遠ナラシムベシ小ニ過グルトキハ資本缺乏シ開拓ノ成功ヲ期スルコト難カルベク今假リニ北進ノ方針ニ依リ早晚桃仔園廳及新竹廳ノ蕃地ガ占領セラルヽモノトセバ分割ス

ベキ地域左ノ如シ

屈尺方面
三角湧方面
大嶺炭方面
成柴硼方面
内灣及上坪方面
南庄方面

此分割ハ専門家ノ實査ヲ經タルモノニアラザレバ固ヨリ正確ナリト云フコトヲ得ズト雖モ大體ニ於テ誤リナカルベシト思惟ス要スルニ二廳管内ノ蕃地ヲ五分若クハ六分スルガ最適切ナル分割ナルベシト信ズ蕃地ヲ分割シテ惟一ノ事業家ニ特許スルハ事業家相互間ニ於ケル利害ノ衝突ヲ成ルベク防止シ又蕃地開拓ノ成功ヲ期スルニ在リ

特許事業家ハ其特許地域内ニ於ケル一切ノ事業即チ採腦伐木開墾等ニ從事シ蕃地ノ成功ヲ期セザルベカラズ

特許事業家ガ内地人ナルトキハ必ズ土人資產家ト合資協力セシムルコトヲ要ス是レ蕃地ノ移住開墾ハ土人ニ非ザレバ容易ニ行ハルベカラザレバナリ

事業家ニ負擔セシムベキ義務ハ左ノ如シ

蕃地(特許地域内)道路ノ開鑿
防蕃費ノ分擔

五、道路ノ開鑿

道路ノ開鑿ハ次ノ如ク負擔セシムルコトヲ要ス

蕃地内ニ於ケル道路　特許事業家
何トナレバ特許事業家ハ特許地域ノ經營及自己ノ利益ノ爲メニ當然道路ヲ開鑿セザルベカラザレバナリ

蕃界ト平地ノ集散點トノ間ノ道路　蕃界附近ノ街庄社

何トナレバ蕃地開拓ニ依リテ蕃界附近ノ街庄社ハ直接間接ニ利益ヲ受クルコト勘カラザレバナリ

六、移植開墾

移殖開墾ハ團體移住ヲ企テシメ保甲ヲ組織シテ且耕且衛ノ制ヲ立テシムルヲ

要ス國家ノ之ニ對スル消極的保護奬勵トシテハ銃器及彈藥ノ貸與若クハ給與權力機關ノ設置(總務課員派出所若クハ警察官吏派出所)及ビ一定ノ鍬下年限(例ヘバ五年若クハ七年)ヲ附スル等ナリトス

第七　行政機關及其經費

一、蕃地事務局ノ設置

今日蕃政ノ不統一ヲ來シタルモノハ全ク專賣局ガ製造特許ノ事務ヲ有スルニ基因セリ專賣局ハ某ノ製造人ニ某ノ蕃地ニ入リテ製腦ニ從事スルコトヲ特許スルノ事務ヲ掌管スル而シテ專賣局ハ民政部ヲ離レタル獨立官衙ナルガ故ニ其主管事務ニ關シテハ更ニ他ノ關係民政部局署ニ稟議スルヲ要スルコト莫シ是レ蕃政ニ關シテ專賣局ハ民政部局署ト其見解ヲ異ニシテ獨立ノ行動ヲ爲シ以テ事務ノ疎隔ヲ致セル所以ナリトス抑モ專賣局ノ見地ヨリスレバ蕃政大局ノ如何ハ敢テ顧慮スベキ所ニ非ズ唯豫期ノ數量一定ノ品質ノ產額ヲ一定ノ價格ニテ買收シ之ヲ特許販賣者ニ引渡シテ成ルベク多額ノ純益ヲ擧グルヲ其目的トスルニ在ルノミ是ニ於テカ多數ノ製腦家ヲ特許シテ蕃地ニ進入セシメタル結果ハ蕃情ノ擾乱ト爲リ蕃人ノ出草馘首ト爲リ蕃社ノ土匪隱匿ト爲リ事業中止ト爲リ討伐封鎖ト爲リ更ニ製腦家ヲシテ轉ジテ他ノ蕃地ニ進入セシメザルヲ得ザルニ至リシハ既ニ述ブル所ノ如シ右ノ如クナルヲ以テ事業線ハ徒ニ延長シ而シテ其間ニ桃仔園新竹廳管内及苗栗廳管内ノ一部分ノ如キ製腦中止ノ地方アルニ拘ハラズ警察ノ防蕃設備ハ討伐封鎖ノ地方ノ防備ヲ撤回スル能ハザルノ事情ヨリシテ現在ノ經費ニテハ以テ延長セル製腦事業線ヲ保護スルニ足ラズ是ニ於テカ警察ト專賣トノ間ニ蕃政問題ノ根本ノ見解ニ關シ隔離ヲ生ジタルモノナリトス專賣ノ蕃地自由放任論ハ專賣觀トシテハ恠ムニ足ラズ何トナレバ之レガ爲メニ專賣局ハ其豫期ノ製腦高ヲ獲得スルニ於テ毫モ痛痒ヲ感ゼザレバナリ然レドモ此方針ヲ執ルトキハ保安ノ目的林政ノ目的治水ノ目的等他ノ行政ノ目的ヲ侵害損傷スルノ事實アルヲ奈何セン專賣局ハ他ノ行政ノ目的ヲ侵害蠹食セザル範圍内ニ於テ其固有ノ任務即チ官ノ營利事業テフ目的ヲ達セザルベカラズ然ラズンバ專賣ノ功績ハ他ノ行政ノ目的ヲ犧牲トシタル結果ナリト謂ハザルベカラズ他ノ行政ノ目的ヲ犧牲トスルニアラザレバ樟腦專賣ハ成功スル能ハサル乎予ハ今日決シテ其然ラザルヲ信ズ果シテ然ラバ製腦專賣ハ宜シク他ノ行政ノ目的ヲ蠹食セザル範圍ニ於テ其固有任務ヲ盡ス

ベキナリ蓋シ斯ノ如クスルニ非ザレバ專賣ノ眞正ノ效果ヲ發揚スルコト能ハザルベシ抑々專賣ハ名ノ如ク專賣ナリ官ノ獨占營利事業ナリ樟腦專賣ノ主眼トスル所ハ世界市場ノ需要供給ノ關係ヲ察シ一箇年ニ於ケル所要產出額ヲ豫定シ之ヲ製腦特許者ニ配賦シテ所要額ヲ生產セシムルニ在リ故ニ專賣局ハ其所要ノ一定ノ產出額一定ノ品質ヲ一定ノ價額ニテ得ラルレバ足レリ其製腦ガ何人ノ手ニ依リテ製造セラレ何レノ山ニテ產出セラルヽ乎ハ當然關與スル所ニアラザルベシ之ヲ聞ク製造特許ハ元來殖產局ノ主管タリシニ論爭ノ未遂ニ專賣局ノ主管ニ移リタルモノナリト當時專賣局ノ理由ヲ聞クニ曰ク產權ヲ回復セザルベカラズ曰ク森林ヲ保護セザルベカラズ曰ク品質ヲ改良セザルベカラズト然レドモ商權ヲ回復スルニ其商品ガ何人ノ手ニシテ製造セラレ何レノ山ニテ產出セラルヽ乎ハ毫モ關係アルベカラズ森林ヲ保護スト云フト雖モ專賣局ハ却テ樟木ノ利用ヲ顧ミズ毫モ林政ニ注意セザルヤノ疑ナシトセズ品質ヲ改良スルニハ採腦事業ガ何人ノ手ニ在リ何レノ山ニテ營マルヽ乎ハ是レ又毫モ關係セザルナリ何トナレバ專賣局員ハ製造取締ノ側ヨリ自由ニ山元ニ立入リテ製腦ヲ監督指揮シ得ベケレバナリ由之觀之若シ他ノ行政機關ニシテ專賣局ノ要求通リ一定ノ產額一定ノ品質ヲ一定ノ價額ニテ供給シ得ルアラバ專賣局ハ毫モ山元ニ立チ入リ番人番地ニ關係ヲ有スベキ必要ヲ主張スルノ理由ヲ有セザルモノナリ故ニ若シ弊源ヲ根絕セント欲セバ宜シク先ヅ專賣局ノ主管事業ヨリ製造特許ノ事項ヲ削除シ之ヲ他ノ番政ノ惟一ノ行政機關ニ主掌セシムルヲ要ス斯ノ如クシテ初メテ樟腦專賣ハ他ノ行政ノ目的ヲ蠹食セザル範圍ニ於テ其固有ノ任務ヲ盡シ得ベキナリ斯クノ如クスルモ尙專賣局ハ幾分ノ便宜ヲ有セリ何トナレバ樟木拂下ハ製腦原料トシテ普通ノ拂下價額ノ標準ヲ脫シ非常ノ低價ニテ製腦家ニ拂下ゲ以テ之ヲ保護シ居レバナリ此點ハ森林收入ガ樟腦專賣ニ讓歩シ其功績ヲ補佐シツヽアルモノナリト謂ハザルベカラズ專賣局ノ主管事務ヨリ製造特許ノ事項ヲ削除シ其事務並ニ番界警察事務及殖產局拓殖課番人番地ニ關スル事務ヲ網羅一括シ之ヲ番政ノ惟一行政機關ニ主管セシムルトスレハ此番政ノ惟一行政機關ハ警察本署ヲシテ之ニ當ラシムベキ乎又ハ殖產局ヲシテ之ニ當ラシムベキ乎若シハ反對ニ警察本署ヨリ番界警察事務ヲ剝取シ殖產局ヨリ拓殖事務ヲ剝取シ專賣局ヲ以テ番政ノ惟一行政機關ト爲サシムベキ乎試ミニ其利害得失ヲ論究セントス

蕃政ノ惟一行政機關ハ殖產局タルベキ乎

本來ノ性質ヨリ云フトキハ蕃地問題ハ則チ森林問題ナリ而シテ森林行政ハ汎キ意味ニ於ケル殖產行政ノ一部分ナルガ故ニ殖產局ヲ以テ蕃政惟一ノ行政機關ト爲スヲ最穩當トス然レドモ現時ノ殖產局ハ平地ノ殖產行政ニ多端ニシテ蕃地問題即チ森林行政ヲ顧ミルノ遑アラザルハ從來蕃政ノ不振ニ徵シテ明ナリ且ツ殖民地經營ト云フハ畢竟殖產行政ニ外ナラザルモノニシテ此廣汎ナル任務ヲ一局ノ主管トスルハ寧ロ重荷ノ感ナクンバアラズ況ンヤ蕃地問題ハ其半面ニ於テ警察力ノ掌握ノ必要トスルモ殖產局ニ在リテハ之ヲ缺如セリ故ニ殖產局ヲ以テ蕃政ノ惟一ノ行政機關トナスニ足ラズ將來殖產局ハ主トシテ農工商行政ヲ掌ル所トシ森林行政ハ之ヲ他ノ行政機關ニ讓ルヲ便宜トス

蕃政ノ惟一行政機關ハ警察本署タルベキ乎

本來ノ性質ヨリ云フトキハ森林行政ハ經濟行政ニ屬スルガ故ニ之ヲ警察本署ノ主管ト爲スハ穩當ニアラズ然レドモ林政ハ警察力ヲ要スルモノナルノミナラズ(森林警察)本島ノ森林行政即チ蕃地問題ハ其半面ニ於テ警察力ニ依賴セザルベカラザルモノナルヲ以テ行政ノ實際ニ於テハ寧ロ之ヲ警察本署ニ屬セシ

ムルヲ便宜ト爲ス此場合ニハ民政部各局署ノ事務分掌及其分課ノ制定ハ總督ノ委任範圍內ニ在ルヲ以テ敢テ勅令ヲ要セズ府令分課規程ヲ改正シ警察本署ニ山林課又ハ拓殖課又ハ蕃地課ナル一課ヲ新設シ以テ蕃政總括ノ事務ヲ掌ラシムルヲ要ス但當局者ニ在リテハ警察觀ニ偏倚セズ蕃政大局觀經濟行政觀ヲ有スルコト尤モ肝要ナリ

此策ハ一時ノ姑息策トシテハ可ナリト雖モ之ヲ以テ永遠ノ方策ト爲スニ足ラズ何トナレバ蕃地問題ハ將來一ノ作業トシテ森林收入ヲ圖リ重要財源タルヲ期スルニ在ルガ故ニ公安維持ノ事務ニ作業的ノ事務ヲ附屬セシムルハ頗ル異樣ノ觀ヲ呈シ又弊害ノ源タルヲ保セザレバナリ

蕃政ノ惟一ノ行政機關ハ專賣局タルベキ乎

蕃政ノ將來ノ目的ガ作業的ニ森林收入ヲ擧グルニ在ル點ヨリスレバ其事務ノ性質上之ヲ專賣局ニ附屬セシムルコト最便宜ナルベシト雖モ現時ニ於ケル蕃政ノ最困難トスルハ本島ノ森林行政ニ附隨スル生蕃ヲ排除スルニ在リテ之ガ爲メニ警察力ノ掌握ヲ要スルモ專賣局ニ於テハ之ヲ有セザルヲ缺點トス又果シテ林政ヲ專賣局ニ於テ掌管スルトキハ專賣局ハ專賣局ニアラズシテ山林局

タラザルベカラズ何トナレバ樟腦ト云フモ林産物ノ一ニシテ畢竟山林收入ニ包括セラルレバナリ若シ之ニ反シ專賣局ノ從來ノ目的ヲ變更セズシテ蕃政ヲ之ニ附屬セシムルモノトセバ蕃政ハ樟腦專賣ノ犧牲ト爲ルベキハ過去ノ經驗ニ徵シテ明カナリ故ニ蕃政ノ專賣觀タル蕃地ノ自由放任論ニシテ採用セラルヽトキハ蕃政ヲ專賣局ニ附屬セシムルモ可ナルベシト雖モ然ラザル以上ハ之ヲ專賣局ニ附屬セシムベカラザルモノトス

以上孰レノ方策ヲ執ルモ經費ハ只各局署事務ノ變更ニ伴ヘル經費ノ組替ト及ビ森林收入トヲ以テ蕃政ニ充テシムレバ足レリ予輩ガ森林收入ヲ以テ蕃政ニ投資セシメントスルハ敢テ他ノ理由アルニアラズ蕃政ヲ擧ゲント欲セバ宜シク山ヨリ入ルノ收入ハ之ヲ山ニ投ジ以テ財政ノ涵養ヲ圖ルベシト云フニ在ルノミ

蕃地自由放任主義ヲ方針トスルニ非ザレバ蕃政ハ之ヲ專賣局ニ附屬セシムベカラズ蕃政ヲ警察本署ニ掌管セシムルハ一時ノ姑息策ニ過ギズ孰レモ萬全ノ方策ニアラズ故ニ予ハ獨立セル蕃政ノ惟一ノ行政機關ノ新設ヲ期望セザルヲ得サルナリ

蕃地事務局設置ノ必要

組織

一、獨立官衙トナス何トナレバ蕃地ハ今現ニ普通行政ノ管轄區域外ニ在レバナリ今日民政部及廳ニ於ケル蕃界事務トハ只民蕃ノ關係ニ於テハ蕃人蕃地ノ事務ヲ生ズルモノト見サルベカラズ但シ蕃地開拓ノ事業ニシテ成功シタル上ハ之ヲ山林局ト爲シテ民政部ノ一局ト爲スベキモノナレバ臨時的ノ性質ヲ有スル官衙トス

一、長官ハ民政長官ヲ以テ之ニ充テ次長ハ警視總長ヲ以テ之ニ充ツ事務官二名（拓殖課長（林務課長）警務課長（隘勇隊長）技師二名（林務（拓殖）其他屬警部技手若干名但屬警部技手ノ內若干名ハ北進計畫著手地方ニ在勤セシメ蕃地ノ事務及隘勇指揮ニ當ラシム其事務所ハ獨立官衙ヲ置クヲ要セズ便宜廳又ハ支廳ニ之ヲ置クモノトス

警視ノ內一名ハ地方ニ在勤シ隘勇大隊ノ指揮官トス

關係アル廳長ヲ兼任事務官トシ總務課長警務課長蕃界關係ノ支廳長及總務課蕃地事務ニ關係セル吏員ヲ凡テ兼任屬警部技手トス

但廳蕃地事務ニ從事スル定員ハ當然本局ノ吏員ト爲スベキモノナルモ或ル

時機迄ハ姑ラク現在ノ儘トス

權限

一、蕃地事務局ハ蕃地開拓ヲ目的トスルモノニシテ蕃人蕃地ノ處分ヲ掌ルモノトス

是故ニ現行分課規程警察本署警務課ノ「隘勇ニ關スル事項」同殖產局拓殖課ノ「蕃人蕃地ニ關スル事項」及ビ專賣局官制ノ「製造特許」ヲ創除シ此等ノ事項ハ總テ蕃地事務局ニ於テ取扱フモノトス

斯ノ如クスルトキハ民政部ハ普通行政區域ニ於テ民政ヲ掌リ蕃地事務局ハ蕃地ニ關スル一切ノ事務ヲ掌リ其間ニ判然區劃アルモノトス

警務課

隘勇ニ關スル事項

蕃人取締ニ關スル事項

拓殖課

蕃地拓殖ノ計畫

撫育及蕃地處分

製腦特許及移住開墾

林務課

林政ニ關スル事項

森林收入ニ關スル事項

別ニ地方ニ隘勇監督署ヲ設置スルモノトス

經費

經費ハ新タニ森林收入ノミヲ得レバ蕃地事務局ノ經費ヲ支出シテ尙隘勇隊五百人及其監督巡查ヲ養成シテ餘アルベシ尙漸次蕃地事業ニ關係ナキ地方ノ防蕃ハ保甲壯丁ヲシテ之ニ任ゼシメ其地方ニ於ケル隘勇線ヲ撤回スルトキハ新ニ經費ノ增加ヲ要求セズシテ優ニ一大隊ノ隘勇隊ヲ養成シ得ベシ之ヲ以テ攻勢ヲ執リ蕃地開拓ニ從事スルモノトス斯ノ如クスルトキハ將來防蕃設備ヲ以テ保護セラレザル蕃地事業ナキト同時ニ北進計畫ヲ實行シ漸次蕃地ヲ占領シ得ベシ

蕃地事務局費五萬千六百六拾九圓五拾錢ノ內壹萬八千六百八拾四圓ハ現在警

察本署殖產局專賣局ニ於テ蕃地事務ニ從事セル者ノ經費ナリ故ニ之ヲ控除スルトキハ蕃地事務局ヲ新設スルガ爲メニ新タニ增加スベキ經費ハ合計參萬貳千九百八拾五圓五拾錢ニ過ギザルモノトス尙詳細ハ別紙ノ如シ

蕃政統一ノ爲メニ財源ヲ集ムレバ

殖產局拓殖課全部(礦務掛ヲ除ク)　一一、二一六、〇〇〇

警察本署蕃地事務掛　二、七七二、〇〇〇

專賣局ノ一部　三、六九六、〇〇〇

山林收入　一二〇、〇〇〇、〇〇〇

計　一三七、六八〇、〇〇〇

新設蕃地事務局費　五一、六六九、五〇〇

蕃地事務局

右新設局費ヲ財源ヨリ差引ケバ　八六、〇一〇、五〇〇

殘額

此殘額ヲ以テ蕃地警備隊ヲ編成スレバ　八四、九七九、二五〇

蕃地警備隊費

(陰勇隊五〇〇人及其監督員)　一、〇三一、二五〇

猶差引殘　五一、六六九、五〇〇

臨時蕃地事務局豫算　三三、三八四、〇〇〇

臨時蕃地事務局費　一四、〇四〇、〇〇〇

俸給及諸給　一九、三四四、〇〇〇

奏任俸給　三、九〇〇、〇〇〇

判任俸給　一、一三一、〇〇〇

廳費　七八〇、〇〇〇

備品費　八一九、〇〇〇

圖書印刷費　三九〇、〇〇〇

筆紙墨文具費　五〇〇、〇〇〇

消耗費　一〇、〇〇〇、〇〇〇

通信運搬費

修繕費

旅費

內國旅費	一〇、〇〇〇、〇〇〇
雜給及雜費	三、八八五、五〇〇
給與	二三三、〇〇〇
雇員給	一、五〇〇、〇〇〇
傭人料	一、二九六、〇〇〇
被服料	一〇五、〇〇〇
雜費	七五一、五〇〇

說明

一俸給及諸給

奏任俸給　事務官二名警視二名技師二名計六名一名年俸千八百圓

判任俸給　屬十五名警部六名技手十名計三十一名五級俸平均

一廳費　長官以下三十九名一名百圓ト見積

一旅費　長官次長各年額四百圓事務官警視技師各年額五百圓判任官各年額二百圓ト見積

一雜給及雜費

雜給	雇員貳拾五圓平均五名分傭人八給仕三名一名拾貳圓小使四名一名拾八圓
給與	雇員一名貳拾五圓給仕一名拾貳圓小使一名拾八圓宛
被服料	給仕小使各一名拾五圓
雜費	諸廣告料諸謝金謄寫料賄料舟車馬賃道路疏水等手當見積七百五拾壹圓五拾錢

蕃地警備隊豫算

蕃地警備隊費	八三、四九四、七五〇
俸給及諸給	五七、一二〇、〇〇〇
巡查俸給手當	三、一二〇、〇〇〇
陰勇給	五四、〇〇〇、〇〇〇
旅費	二、八〇八、〇〇〇
內國旅費	二、八〇八、〇〇〇
修繕費	一、〇〇〇、〇〇〇
彈丸費	一五、五七〇、〇〇〇

銃器修繕費　三八四、七五〇
雜給及雜費　六、六一二、〇〇〇
巡査被服料　三九〇、〇〇〇
同手當　三六、〇〇〇
同賞與　三六、〇〇〇
險勇被服料　三、七五〇、〇〇〇
同手當　一、〇〇〇、〇〇〇
同賞與　一、〇〇〇、〇〇〇
雜費　四〇〇、〇〇〇

說明

一俸給及諸給

巡査俸給手當　險勇監督トシテ險勇四十名ニ對シ巡査一名ヲ要スト仕三名分一ヶ月俸給拾貳圓手當八圓ト見積

險勇給　險勇一名一箇月九圓五百名ノ見積

一旅費　巡査一名一日六拾錢ノ見込

一修繕費　本營一箇所分營二箇所ニ對ス

一彈丸費　巡査險勇一ヶ月一名五十發ト見積

一銃器修繕費　一挺七拾五錢ト見積

一雜給雜費

巡査衣服費　巡査一名參拾圓ト見積

同手當　公務負傷等ノ場合一名貳圓ト見積

同賞與　同前

險勇被服料一人七圓五拾錢ト見積

同賞與手當巡査ト同ジ

雜費　本營一箇所分營二箇所ノ薪炭石油等ヲ見積レリ

蕃政統一ノ爲メニ新設機關ニ對スル財源ヲ求ムレバ即チ　一一、二一六、〇〇〇

殖產局拓殖課全部　二、七七二、〇〇〇

（礦務掛ヲ除ク）　三、六九六、〇〇〇

警察本署蕃地係ノ分　三五三

專賣局ノ一部

山林收入　一二〇、〇〇〇、〇〇〇

計　一三七、六八〇、〇〇〇

是ヨリ新設局及警備隊費ヲ引去レバ左ノ如シ

蕃地事務局費	五一、六六九、五〇〇
蕃地警備隊費	八三、四九四、七五〇
差引殘	二、五一五、七五〇

此殘額ヲ以テ左ノ屯營々繕費ニ充ツ

大嵙崁枕頭山	本營
大豹社內	分營
馬武督鳥嘴山	分營
五指山	分營

現在隘勇線ハ右本營ノ設定ノ上ハ伸縮移動ヲ生ズルハ勿論ナルモ重ニ事業保護ニ充テ新設警備隊ヲ以テ行動ヲ專ラトスル見込ナリ

二、廳ノ位置變更

現在ニ於ケル蕃界事務ヲ有スル廳ハ甚ダ多數ニシテ北部ノ兇蕃アタイヤル族ニ面セルモノハミニテ臺東宜蘭深坑桃仔園新竹苗栗臺中南投ノ八廳アリ其他斗六嘉義阿猴蕃薯寮恒春皆蕃界事務ヲ有シ全ク平地事務ノミニ限ルモノハ臺北基隆彰化鹽水港臺南鳳山及澎湖ノ七廳ニ過ギズ同一ノ兇蕃ニ對シ關係スル所ノ行政廳多數ナルガ故ニ理蕃政策ノ一定セザル今日ニ於テハ其對蕃ノ方針處置區々ニ渉リ爲メニ蕃政ノ不統一ヲ致セリ又蕃地ハ普通行政區域外ニ在リテ平地行政ニ多端ナル地方ニ在リテハ勢ヒ蕃界事務ヲ顧ミル能ハザルハ固ヨリ已ムヲ得ザルコトナリトス今北進計畫ニ著手實行セント欲セバ宜シク先ヅ左ノ變更ヲ行ハザルベカラズ

一、桃仔園廳ヲ大嵙崁ニ移シ現在ノ桃仔園廳管內三角湧大嵙崁咸菜硼各支廳ノ區域及新竹廳管內樹杞林南庄各支廳ノ區域卽チ三角湧方面ヨリ南庄方面ニ至ル一帶ノ蕃界部落ヲ其管轄區域トシ以テ北蕃ニ蒞マシムルコト

桃仔園廳管內楊梅壢中壢大坵園各支廳ノ區域(但シ實際ノ調査ニ依リ多少ノ伸縮アルベシ)ヲ新竹廳ノ行政區域ニ併合シ桃仔園廳直轄ノ區域ヲ臺北廳ノ行政區域ニ併合スルコト

一、右變更ヲ行フモ敢テ經費ノ增加ヲ要セズ現在ノ行政廳費ニテ彼此流用シ

得ル見込トス

此變更ヲ行フトキハ兇蕃アタイヤル族ニ對スル北部ノ行政廳ハ宜蘭深坑大嵙崁ノ三廳ニ限リ北進計畫ヲ實行スルニ於テ頗ル便宜ヲ得ベシト信ズ

思フニ今日ノ行政廳ノ管轄區域ハ主トシテ對土匪策ヨリ割出サレタルモノナルベシト雖モ將來對蕃策ノ進行ニ伴ヒ多少行政廳ニ於ケル管轄區域ノ變更ヲ必要トスル場合アルベキ乎(去年馬那邦社討伐ノ結果臺中廳管内ニ接スル蕃地ノ一部ハ苗栗廳ノ主管ニ變更セラレタリ)

三、蕃地事務委員及蕃地事務調査掛ノ設置

以上ノ二策ハ固ヨリ弊源ヲ根本ヨリ絶チ理蕃政策ノ確立ヲ期スルモノナリト雖モ時運未ダ際會セズ根本ノ方策ヲ實行スルニ至ラズンバ左ノ方策ヲ望マザルヲ得ズ

一、蕃地事務委員ヲ置キ民政長官ヲ以テ委員長ト爲シ陸軍幕僚參謀長總督府參事官長警視總長財務局長殖産局長專賣局長參事官ヲ以テ委員ト爲ス技師ヲ以テ臨時委員ト爲スコトアルベシ

委員ハ臺灣總督ノ諮問ニ應ジ蕃地開拓ノ方法計畫及蕃地事務ニ關スル疑義ヲ

評決スルモノトス

右委員ハ別ニ勅令ノ制定ヲ要セズ府令ニテ之ヲ制定スルモノトス

一、總督府參事官室ニ蕃地事務調査掛ヲ置キ蕃地事務ノ調査ニ從事セシム

掛長ハ參事官ノ内ヨリ之ヲ命ジ掛員ハ總督府屬又ハ囑託ヲ以テ之ニ充ツ

第八　決定セラルベキ要點

以上述ブル所ニ依リ理蕃政策ヲ確立スルニ於テ決定セラルベキ要點ハ左ノ如シ

一、蕃人ノ身分ハ如何

熟蕃生蕃ヲ如何ニシテ區別スルヤ

將來化熟シタル蕃人ニ臣民籍ヲ許與スルノ可否及之ヲ許與スルトセバ其方針如何

二、蕃地ノ處分ハ如何

將來蕃人ニ土地所有權ヲ與フルノ可否及之ヲ與フルモノトセバ其方針如何

三、蕃地開拓ハ北進スルノ方針ヲ執ルトセバ其方法及計畫ハ如何

四、蕃地事業ト防蕃警備トノ間ニハ如何ナル方針ヲ執ルベキヤ

五、蕃地ヲ區劃シテ事業家ニ之ヲ特許スルノ可否及可ナリトセバ其方法如何
六、蕃地ノ移住開墾ヲ奬勵セント欲セバ如何ナル方法ヲ用ユベキヤ
七、蕃地ニ宗教ヲ弘布スルハ如何ナル方法ヲ用ユベキヤ
八、蕃人ニ教育ヲ實施スルノ方法如何
九、蕃產交換ハ如何ナル方法ヲ以テセバ之ヲ有效ナラシムベキヤ
一〇、森林收入ヲ擧グルノ方法如何
一一、蕃地ニ對シ惟一ノ行政機關ヲ設クルノ可否
一二、蕃地ヲ開拓スル場合ニ道路ハ如何ナル方法ヲ用ユベキヤ

越エテ明治三十六年ニ入リ三月總督ノ諮詢ニ應ジ蕃地開發ノ方法及ビ計畫並ニ蕃地事務ニ關スル諸般ノ事項ヲ審議セシムル爲メ總督府ニ蕃地事務委員會ヲ置キ又蕃人蕃地ニ關スル一切ノ事項ヲ調查スル爲メ民政部ニ臨時蕃地事務調查掛ヲ設クルコトヽナリシハ實ニ持地參事官ノ復命意見中後段ノ方策ノ採用セラレシモノニシテ之ヲ以テ將來理蕃政策ノ根本的ナル確立ヲ期スル爲メノ豫備的機關トセラレタリシナリ

（附錄第一）防隘制梗概

清國時代ニ於テ蕃人彈壓ノ目的ヲ以テ其ノ支那本土ニ於テ古來西疆ナル苗猺ヲ防遏スル爲メニ設ケタル隘寮ノ制ヲ酌ミ蕃界ニ隘寮ヲ設ケテ隘丁ヲ駐防セシメタリ而シテ此制度ノ變遷ヲ考フレバ民隘ノ私設ニ起源シ後ニ官設ニ變セシモノニシテ其ノ漸ク統一ノ緒ニ就キシハ乾隆五十三年ニ在リ爾來一張一弛アリシガ光緒十二年巡撫劉銘傳ノ島政ヲ刷新スルニ伴ヒ從來隘制ノ名アリテ實ナキヲ察シ更ニ勇營ノ制ヲ採リ隘勇ヲ組織シ之ヲ北路中路ニ實行シ別ニ宜蘭恒春臺東方面ニハ特殊ノ防兵機關ヲ配置シタリ既ニシテ巡撫ノ交迭ト共ニ諸般行政ノ縮少トヽ爲リ隘制モ亦再ビ弛頹シテ運施宜シキヲ得ザルニ至リ終ニ從來ノ官隘以外ニ民隘ヲ生ジ弊害百出往苒之ヲ改メズ以テ臺灣割讓ノ際ニ及ベリ而シテ我ガ領臺ノ當時所有隘寮概ネ廢撤ニ歸シ特リ今ノ臺中方面ニ於ケル官隘及ビ三角湧並ニ苗栗地方ニ於ケル少數ノ民隘ヲ存セシノミ斯クテ領臺後暫ク防蕃機關ヲ缺キシガ舊政府時代ニ於ケル中路隘線ニシテ當時ノ統領林朝棟ノ管帶ニ屬セシ水底寮ヨリ起リ埔里社ノ小埔社ニ至ル間（自己ノ所有地附近）ニ在ルモノハ改隸ノ後ニ至ルモ依然解散セズ朝棟ノ弟紹堂之ヲ承管シ防蕃防匪ノ功稍々見ルベキモノアリシニ由リ明治二十九年九月十九日當局者モ亦之ガ存置ノ必要ヲ認メ且ツ每月金貳

千圓ノ補助費ヲ下附スルコトヽナセリ其ノ理由ノ要旨ニ曰ク

內山一帶地勢險隘ニシテ行通容易ナラズ爲メニ政令普及シ難シ強盜ノ出沒生蕃ノ兇行其跡ヲ絕ツコト稀ナリ然ルニ是等ノ地方ハ多クハ樟腦ノ產地ニシテ其ノ製造ニ從事スル者ハ常ニ其ノ堵ニ安ンジ其ノ業ニ就ク能ハザリシヲ以テ從前淸國政府ノ治下ニ於テ隘勇隘丁ノ置キ以テ生蕃人ヲ取締リ其ノ業ヲ保護シタリ今ヤ右等ノ徒ハ之ヲ解散セシモノアリト雖モ臺中縣下紹堂配下ノ隘勇ハ客年故北白川宮殿下ニ稟申シテ其團體ヲ解カズ今日ニ至ルマデ自費ヲ以テ之ヲ繼續セリ曩ニ雲林地方土匪討伐ノ際ハ大ニ我軍ノ爲メニ力ヲ盡クシ數多ノ死傷者ヲ出スニ至レリ如斯團體ヲシテ一私人ノ手ニ屬セシメ其ノ費用ヲ自辨セシムルハ穩當ナラザル義ニ付官之ヲ利用シ我ガ爪牙トナシ生蕃取締ヲ主トシ旁ラ樟腦業等ノ保護ヲ爲サシムルハ實際ノ便益最モ多キヲ信ズ云々

乃チ之ト同時ニ總督ヨリ混成第二旅團及ビ臺中縣ニ左ノ內訓ヲ發シタリ

其ノ管下林紹堂ノ配下ニ屬セシ從來ノ隘勇隘丁ハ(隘勇ハ官設ノモノ又隘丁ハ民設ノモノナニリシ付實際ハ隘勇トシテ取扱フ)臺中縣知事ノ所轄トシ來ル十月一日ヨリ左記ノ方法ニ依リ傭使スベシ

一、林紹堂ノ配下ニ屬スル隘勇隘丁ハ臺中縣知事ノ統轄ニ屬シ蕃界ノ警備ニ服セシムルモノトス

二、非常若クハ事變ニ際シ必要ト認ムルトキハ戒嚴令宣告前ト雖モ第二旅團長ハ臨時隘勇隘丁ヲ使用スルコトヲ得

三、隘勇隘丁ノ人員ハ現在ノ通ニシテ手當金ハ一ケ月貳千圓以內ノ見込ヲ以テ警察費ノ內ヨリ流用支出スルコトヲ得但流用方法ハ更ニ伺出ベシ

四、兵器彈藥ハ必要ニ應ジ軍務局ヨリ支給ス

五、撫墾署官吏ニシテ行政施行上必要ノ塲合ニ於テ隘勇隘丁ヲ使用セント欲スル時ハ知事ニ請求スベシ但事緊急ニシテ己ムヲ得ザルトキハ使用後前段ノ手續ヲ爲スベシ

六、縣知事ハ隘勇隘丁ノ人員及ビ其監督ノ方法並ニ其所有ニ係ル兵器彈藥ヲ取調ベ總督ニ報告シ第二旅團長ニ通報スベシ

是レ實ニ領臺後ニ於ケル隘勇制度ヲ認メシ嚆矢トス

(參照)當時上記隘勇ノ組織現狀ハ大體左ノ如クナリキ

一、管帶　一月俸百貳拾圓

部下ヲ統御ス

一、會帶　月俸四拾圓

管帶ヲ補佐ス

一、書記　月俸七圓乃至拾貳圓

庶務會計ヲ掌ル

一、哨官　月俸拾六圓

管帶及ビ會帶ノ命ヲ受ケ部下ヲ監督ス

一、哨兵　月俸拾貳圓

哨官ニ屬ス

一、什長　月俸七圓

上班ノ命ヲ受ケ險勇ヲ監督ス

一、護勇　月俸七圓

傳令ヲ掌ル

一、險勇　月俸六圓

險寨ニ在リテ防蕃ニ當ル

一、炊事夫　月俸四圓七拾錢

炊事ヲ掌ル

此時ニ際シ蕃政施設機關タル撫墾署ノ對蕃方針ハ主トシテ綏撫ノ一方ニ偏スル
ノ傾向アリ明治三十年四月各撫墾署長ヲ總督府ニ會シテ蕃政施設ニ關スル協議
ヲ爲セリ其ノ諮問案ノ一ニ曰ク
在來ノ險勇險丁ハ撫蕃上如何ナル影響アルカ更ニ設備スル必要アルヤ如何
(理由)從來官設セラレダル險勇私設セラレタル險丁ハ舊政府時代蕃地ノ開發
ニ關スル保護上必要ニ迫リテ之ヲ設ケタルモノヽ如シ然ルニ撫蕃ニ對スル
新舊政務ハ稍々其趣ヲ異ニスルニモ係ハラズ等シク險勇險丁ノ必要ヲ感ズ
ルカ將タ土蕃ノ間ヲ阻隔スル胸壁トナリテ却テ不便ヲ感ズルガ如キ患ナキ
ヤ如何

之ニ對スル各撫墾署長ノ意見ハ「險制ニヨリテ彈壓ノ手段ヲ取ルハ撫墾ノ本旨ト
相反スト雖モ從來ノ沿革上一朝ニシテ之ヲ廢止セントスルガ如キハ事情ノ不
可ナルモノアリ故ニ既設ノモノハ漸次ニ撤去スルノ方針ヲ取リ更ニ新設ヲ爲ザ
ル樣取締ルベシ」ト云フニ大體一致セリ而シテ北部地方ニ於ケル生蕃ノ兇行日

々ニ甚ダシク勢ヒ綏撫ノミヲ以テ實功ヲ擧グルコトノ難キヲ認メ九月内務部長ヨリ生蕃兇行取締ニ關スル建議ヲ總督ニ提出シ宜シク從來ノ對蕃方針ヲ一變シ(一)蕃界警察ヲ組織シ隘勇隘丁若クハ警吏ノ如キ者ヲ使用シ(二)蕃民懲罰法ヲ設定シ以テ膺懲ノ實ヲ擧ゲ(三)之ガ管掌ヲ全然内務行政ニ屬セシムベキヲ切言セリ是ニ於テ生蕃取締方法調査委員ヲ設置セリ其議決ノ結果ハ普通警察ノ施設ヲ蕃界ニ擴張シ撫墾署以外ニ特立シテ其ノ取締ニ任ズルコトトナリ乃チ其ノ蕃害ノ最モ劇甚ナル新竹縣及ビ宜蘭廳ノ下ニ一ノ防蕃壕關ヲ新置シ警察官ヲシテ監督セシメ之ヲ警丁ト稱セリ是ヲ官設隘勇ノ權輿トナス(警丁ハ一ノ吏員トシテ待遇セラレ防蕃ノ他ニ傍ラ普通警察事務ヲ補助スルニ在リテ蕃界ノ警察ニ駐在シ相互ノ連絡ヲ通ジ以テ蕃界ノ保安ヲ計ルモノトス)而シテ三十年度ニ於テハ警察費外ノ民政費ヲ割キ之ガ經費ニ充テタリ(其ノ定員初メ新竹縣下ノ苗栗方面ニ一百人南庄方面ニ一百五十人ヲ配置シ後南庄方面ニ四十五人宜蘭廳下ニ三十人ヲ增加セリ)是ヨリ先キ新竹縣苗栗辨務署長鳥居和邦ハ「治蕃私擬」ト題スル意見書ヲ當局者ニ呈出セシガ中ニ防蕃施設ニ就キテ縷々千餘言ヲ累子大ニ防隘制ヲ擴張シ悉ク之ヲ統一シテ官設ニ歸スベキコトヲ切論セリ其ノ要旨ニ曰ク

臺灣全島我ガ版圖ニ歸セシ以來蕃界守備ノ隘勇ハ悉ク撤去シ各墾戶ハ自ラ隘丁ヲ置キタルモ生蕃ノ暴行ハ愈々甚ダシク爲メニ蕃窟ニ近キ開墾地ハ既ニ彼レ蕃人ニ蹂躙セラレ蕃境ニ接スル良民ノ生命モ尙ホ且ツ安全ナル能ハズ田園腦灶各々業ニ安ンジ之ヲ營ムヲ得ザルナリ約言スレバ是等良民ハ我ガ政府ノ保護恩澤ニ浴セザルモノヽ如シ故ニ製腦者ノ如キハ其ノ業ヲ棄テ他ニ轉ズル者モ亦少ナカラズトイフ此狀況現ニ製腦者ノ如キハ其ノ業ヲ棄テ他ニ轉ズル者モ亦少ナカラズトイフ此狀況ニシテ經過セバ向後ノ結果果シテ如何速ニ治蕃ノ策ヲ講ズルニ非ザレバ其ノ害タルヤ誠ニ鮮少ニアラザルヲ信ズ

然ラバ之ヲ如何ニスベキヤ世ノ議者皆曰ク生蕃ヲ討伐スベシ曰ク撫育ヲ以テ治ムベシト予私カニ憶フ二者共ニ其ノ治蕃ノ法ヲ得タルモノニ非ス之ヲ討伐スルハ或ハ一時ノ暴ヲ懲スニ於テハ蓋シ然ルベキモノアラン然レドモ全島ノ蕃人ヲ擧ゲテ之ヲ討伐スルガ如キハ頗ル難事ニ屬ス彼蕃人ハ恒ニ花實木果野草ヲ食シ裸體洗足能ク路ナキノ深山幽谷ヲ跋涉シ蒙茸斷岸モ敢テ意ト爲ザズ其ノ進退ノ自由ナル禽獸ノ如シ曾テ光緒十一年時ノ巡撫劉銘傳ハ大師營ヲ罩

蘭ノ東二里半許今ノ蕃社埋伏坪ニ置キ當時一帶ノ生蕃ヲ討伐シタルモ既ニ其ノ目的ヲ達スルコト能ハズシテ止ミタリ近クハ宜蘭管下征討ノ如キヲ見テモ討伐ノ目的ヲ遂行スルノ難事ナルノミナラズ假令討伐シ得ルトスルモ此等蕃民ノ爲メニ貴重ナル軍器軍費ヲ費シ且ツ文明ノ精兵ヲ傷クルノ甚ダ得策ナラザルヲ信ズ

然ラバ之ヲ撫育セバ如何ン當今ノ如キ撫育的方針ニテハ到底其ノ效ナキモノヽ如シ撫墾署ニテ蕃人ヲ迎フルニ酒肉ノ饗ヲ以テシ色絲玻璃玉色布ヲ與ヘ以テ業務ニ就クヲ奬勵シ而シテ堅ク殺害ヲ戒ムルト雖モ其ノ訓戒ニ服スル者果シテ幾人カアル未ダ其ノ者アルヲ聞カザルナリ反テ臺人ハ勿論内地人ノ害ヲ被ムルモノ日ニ多キヲ加フルノ跡アリ剩サヘ彼蕃人ノ傲慢無禮ナル動作ニ至リテハ憲兵ヲ要撃スルコトアリト聞ク憲兵其ノ暴擧ヲ懲ス爲メニ之ヲ威服セントスレバ彼レ忽チ劍ヲ提ゲテ之ニ擬ス汝等其ノ暴擧ヲ止メザレバ兵力ヲ以テ其ノ罪ヲ問フベシトイヘバ彼曰ク未ダ對攻セザレバ輸贏ヲ決シ難シ戰フテ若シ負クレバ其ノ命ニ從ハント恰然トシテ尚ホ暴ヲ爲スモノヽ如シ故ニ當局者ノ愛撫ハ世人ヲシテ却テ彼等ノ暴兇ヲ飼養スル者ニ非ザルカヲ疑ハシムルノ感アリ

然ラバ則チ治蕃ノ策議者ノ言ヲ措テ他ニ之レアルカ曰ク之レアリ請フ試ニ之ヲ述ベシ之ヲ治ムルハ之ヲ懲スニ在リ之ヲ懲スハ蓋シ反テ其ノ暴ヲ勵マセバナリ之ヲ撫スルハ恩ニ偏スベカラズ恩ニ偏スレバ必ズ之ニ狃ルレバナリ之ヲ懲スハ卽チ彼レガ對抗力ヲ奪フニ在リ其ノ銃器鎗刀ヲ棄テヽ鋤犁ヲ執ラシムルニ在リ牽制ト云ハヾ何ゾ曰ク現今私設ノ隘丁ノ法ヲ改メ更ニ官ニ於テ各要所ニ屯丁ヲ置キ彼レ蕃人ヲシテ一步タリトモ隘線外ニ出ヅルヲ許サズ全ク治外ノ民タラシメ土人ト彼等トヲ隔離スルニ在リ土人彼等ト相近カズンバ蕃害ニ觸ルヽノ恐レナシ然レドモ此ノ如クセバ彼等唯一ノ需用タル鹽ノ供給ヲ欠クヲ以テ反テ必死ノ對抗ヲナスノ虞アリ是ニ於テカ撫墾署ノ如キモノヲ線内咽喉ノ地ニ移シ單ニ需用ノ交換ニ應ゼシメバ必ズヤ平身低頭シテ交換ヲ請フベシ加之須ラク通事ノ動作行止ニ注意シ銃器彈藥ヲ彼レニ與フルコトヲ嚴禁シ若シ之ヲ犯ストキハ法ヲ以テ之ヲ處斷セバ蕃人何ニヨリテ之ヲ得ン之ヲ得ルノ道遮斷センカ必ズ一兩年ニシテ彼ガ有スル所ノ彈藥ハ消盡セン是レ彼等ガ禽獸ヲ射獲スルニ

不便アランモ敢テ意トスルニ足ラズ其ノ實業ニ就カシムルニハ復タ敎ヘザルノ捷徑ナラン況シテ殺人ノ慾ヲ制スベク何ゾ銃反抗ノ暇アランヤ必ズヤ刀ヲ賣リ犢ヲ買ヒ銃ヲ以テ鋤犁ニ換フベシ此時ニ至リテ撫墾ノ當局ハ彼等ノ良友ナリ百事皆其ノ頤使ニ服從スベシ是ニ於テカ以テ撫スベシ以テ敎フベシ敎ヘテ以テ人ニ化スベキナリ(中略)彼ノ險丁ナルモノハ土人ヲ以テ充ツベカラズ抑々土匪ト稱シ强盜ト稱スルモノモ總テ此土人ヨリ出ヅ彼ノ强盜等ハ常ニ深山地方ヲ巢窟トセリ然ルニ險丁ハ山谷ニ在リテ日々發銃ヲ鍛練スルガ故ニ一朝土匪蜂起ノ曉ニハ之ニ應ズルノ虞アリ又中心應セザルトスルモ其ノ附近墾戶ノ之ヲ煽動スル恐レアリ現ニ昨年雲林地方土匪騷擾ノ時ノ如キモ管內ノ險丁三四十ノ人員ヲ減ゼリトイフ又以テ鑒ムベシ而モ人民ヲシテ兵器ヲ握ラシムルハ假令少數者タリト雖モ其ノ不可ナルヲ認ムレバナリ故ニ之ガ私設ヲ廢シ官設ト爲シ險丁ニ換ユルニ熟蕃屯丁ヲ以テスルノ適當ナルヲ認ム(下略)

然レドモ撫墾署ヲ廢止スルマテハ險勇ノ官設ニ對シテハ反對ノ意向依然一方ニ勢力ヲ占メ尙ホ北部ニ於ケル既設ノ蕃界警察ニ對シテモ撫墾署ハ是ヲ策ノ得タルモノニアラスト爲セリ

(參照)是ヨリ先キ我ガ領臺ノ際苗栗方面ニ於ケル官設險勇ヲ撤去シタル爲メ蕃界接壤地ノ安寧ヲ保スベカラザルヲ慮リ各自業主ハ私險ヲ設ケテ防守シタリ(其ノ險線ハ太湖ヨリ起リ桂竹林、八角林ヲ經テ獅潭ニ至ル)然レドモ此等ノ私險ハ固ヨリ一定ノ規律アルニアラズ加フルニ其ノ險丁數モ亦多カラクサルヲ以テ十分ナル防蕃ノ目的ヲ達シ難ク南湖ノ水流東以南大湖ノ東方蕃界及ビ水尾坪桂竹林ノ關牛窩等既墾田園ハ悉ク荒蕪ニ委ズルノ已ムナキニ至レリ是ニ於テ二十九年十月以來同地方大寮庄業主吳定連ヲ初メ廣泰成代辦廣荷金復順險首詹其石、金永昌主劉宏方等ノ名ヲ以テ官ヨリ險費ノ支給ヲ得ンコトヲ苗栗支廳長ニ出願セリ當時同支廳ニ於テハ之ニ對スル處分ノ先決問題トシテ「該出願ノ旨意ヲ採用シ一切ノ經費ヲ官ヨリ支給スルコト、センヨリ寧ロ他ニ方法ヲ設ケテ支廳ノ監督ニ歸スルカ將タ撫墾署ノ監督ニ歸スルカ何レカ一ヲ取ルヲ以テ適當ノ措置ト認ムル然ラズシテ舊規例ニ則リツヽアル私設險ニ對シ官費ヲ支給スルトセバ一面ニハ從來總督ノ訓戒ニ依リテ主トシテ生蕃綏撫ノ方針ヲ取リナガラ一面ニハ反テ之ヲ殺戮スルヲ奬勵スルモノヽ如ク政令一致ヲ缺クノ虞アルヲ免カレス故ニ生蕃ノ綏撫ト險丁官設トノ方針確定セル上ニアラザレ

バ往々彼此撞著ノ嫌アリ實際生蕃接壤ノ地方ニ於テハ取締上ニ不都合ノ廉少ナシトセズ既ニ埔里社地方ニ於テハ隘費ヲ補助セラルヽヲ以テ我庄ノ民隘ニモ何分ノ詮議ヲ請フ」トノ願書ヲ立案シ總督府ニ提出セントシタルモ暫ラク時機ヲ待ツベシトノ議出デヽ之ヲ中止シ三十年ニ迨ヒ再ビ廣泰成ノ一股ト稱スル葫蘆墩ノ陳瑞昌ヨリ隘費ノ官給ヲ苗栗辦務署ニ出願セリ是ニ於テ同署長ハ署員ニ命ジテ管下隘制組織ノ舊慣沿革ヲ調査セシメ其ノ査定ト共ニ官隘設置ノ意見ヲ呈出スルニ至リシナリ

翌三十一年六月官制改正ノ結果新竹縣廢セラルヽニ及ビ内訓ヲ以テ從來其ノ管下ニ屬セシ十股南庄間ハ臺北廳ノ管轄ニ歸シ依然舊制ヲ持續シ苗栗方面ハ臺中縣ノ管轄ニ歸シ同時ニ警丁ハ廢撤セラレテ亦補助隘勇ノ制トナリ一ケ月金壹千四百圓ヲ擔當者黃運添ニ交附シ別ニ銃器彈藥ヲ給付スルコトニ決定ス乃チ同年十二月ノ事ナリ此月同縣下林紹堂主管ノ隘線ハ實ニ埔里社街道ニ於ケル一般交通者ノ保護トナルコト多大ナリトノ理由ニヨリ改メテ一ケ月金貳千八百圓ヲ補助シ且ツ銃器彈藥ヲ給付スル旨内訓セリ

三十二年六月樟腦局ヲ新設スルヤ蕃界ノ事業ハ積極的ノ新面目ヲ開キ爾來製腦ノ著手漸ク增加シ尚ホ蕃害頻仍ノ虞アリシニ由リ七月先ヅ叭哩沙樟腦局試驗所ノ保護防禦ニ充ツル爲メ元軍役壯丁ヲ羅東樟腦局ニ於テ採用シ之ヲ樟腦局壯丁ト稱シ（初メ五十人ノ定員ナリシガ後參十人ヲ增加セリ）給料ノ外被服及ビ銃器彈藥ヲ官給セリ次テ三十三年一月追加豫算トシテ樟腦製造所費ノ款蕃界諸費ノ項ニ「防蕃費」金貳萬四千六百貳拾圓ヲ配布シ二月内訓ヲ以テ臺北縣下三角湧景尾南庄ノ各方面及ビ臺中縣下東勢角罩蘭竝銃櫃庄附近ハ從來樟腦業者及ビ一般交通者ノ往來頻繁ナルモ未ダ隘制ノ設備ナカリシ爲メ蕃害ヲ被ル者少カラザルヲ以テ其ノ保護ニ充ツルコトヽシ乃チ三月以降漸次隘勇ヲ配置シ其ノ傭使解傭及ビ指揮監督ヲ縣知事ニ委任セリ（臺北縣ニアリテハ三角湧方面二百五十人景尾方面六十人南庄方面八十人臺中縣ニテハ罩蘭方面六十人東勢角方面十人銃櫃附近十五人トス）中ニ就キ罩蘭方面ノ設隘ハ人民ノ受負ニ歸シ官ノ補助ニ係ルモノニシテ其ノ他ハ全然官設ナリ同三月内訓ヲ以テ臺北縣下宜蘭廳下ノ警丁及ビ樟腦局壯丁ヲ廢シ以テ隘勇ニ變更シ且ツ臺中縣下ノ隘勇ヲ增設シ其ノ民設ニシテ補助費ヲ給スルモノヲ隘丁ト稱シ官設ノモノヲ隘勇ト稱シ之ヲ區別セリ

（參照）當時（即チ三十三年度）ニ於ケル官設隘勇ノ配備ハ之ヲ一表ニ示セバ大略左ノ如クナリキ

縣廳	辦務署	隘勇員	配置區域	警備目的
臺北	景尾	六〇	同管內北粗掘ヲ起點トシ南方直潭塗潭四十份雷公坡双溪口礦掘仁叭仔等ヲ經テ橫溪ニ至ル間	蕃界村落保護
	三角湧	四〇	同管內大嵙崁奧蕃地水流東ヶ起點トシテカナピラ社ハブン社ラハウ社ケイフイ社シナジイ社阿母坪舊柑坪石門ヲ經テ十寮ニ至ル間	樟腦製造保護
		一八〇	咸菜硼方面十寮駐在ノ隘勇ニ接續シ十股赤柯坪ヲ經テ南河中城ニ至リ馬福社隘勇ト連絡ス	蕃界村落保護
		三〇	同管內馬福社ヲ起點トシテ南方內灣上坪大坪ヲ經テ南庄大東河ニ至ル間	蕃界村落保護
	新竹	一二〇	南庄奧柏色窩ヲ起點トシテ中和亭風尾鱸鰻窟大湳八卦力小東勢ヲ經ヲ獅里興ニ至ル間	樟腦製造保護
		八〇		
計		五一〇		

縣廳	辦務署	隘勇員	配置區域	警備目的
臺中	苗栗	一〇〇	同管內小東勢ヲ起點トシテ大東勢八卦力沙武鹿關牛窩三寮坑ヲ經テ汶水河ニ至ル間（從前敷設サレタル大河底ヨリ小東勢附近ニ至ル隘勇ハ之ヲ廢ス）	樟腦製造保護
		一五〇	汶水河ヨリ鵝婆山社寮角小馬那邦大馬那邦大稻埕ヲ經テ竹橋頭ニ至ル間	樟腦製造保護
		一〇〇	竹橋頭ヨリ食水山內灣頭部ヲ經テ房裡溪ニ至ル間（從前敷設ノ竹橋頭ヨリ新開庄ヲ經テ壢西坪ニ至ル間ノ隘勇ハ之ヲ廢ス）	蕃界村落保護
		一五	同管內東勢角支署附近	支署保護
	臺中	二二五	同管內水底寮ヨリ馬鞍龍二櫃三隻寮水馬流ヲ經テ三層埔ニ至ル間	樟腦製造保護
		一八〇	三層埔ヨリ北港溪大坪頂ヲ經テ小埔社ニ至ル間及三層埔ヨリ內國聖ヲ經テ龜仔頭ニ至ル支線	公道往來及蕃界村落保護（間接製腦保護）
	南投	一四	同管內白葉坑嶺ヨリ鹿高仔附近ニ至ル間	同上
		一五	同銃櫃庄附近	同上
計		七九九		

縣廳	辦務署	險勇員	配置區域	警備目的
宜蘭	宜蘭	一四〇	宜蘭辦務署管內大礁溪大湖庄再連圍ヲ經テ羅東辦務署管內天送埤阿里史大坡冬瓜山糞箕湖庄ヲ經テ白米甕南方澳ニ至ル間	蕃界村落保護
	羅東	九〇	羅東辦務署管內叭哩沙樟腦試製場附近	樟腦試製場保護
計		二三〇		
合計		一、五九三		

四月九日內訓ヲ以テ左ノ險勇傭使規程ヲ定メ臺北臺中兩縣知事及ビ宜蘭廳長ニ通達セリ

第一章　採用

第一條　險勇ハ年齡滿十八歲以上四十五歲以下ニシテ左ノ各號ニ抵觸セザルモノヲ採用ス

一、重罪ノ刑又ハ盜罪詐欺取財ノ罪ニ依リ重禁錮ノ刑ニ處セラレタル者

二、阿片ヲ吸食スル者

三、酒癖又ハ暴行ノ癖アル者

四、懲戒ニ依リ險勇ヲ免セラレ一箇年ヲ經過セザル者

第二條　險勇ノ體格健全ハ左ノ各號ニ適合スル者タルベシ

一、體格健全ニシテ險難ニ堪ユル者

二、視力聽力完全ノ者

三、充分ノ發聲ニ堪ユル者

四、精神完全ナル者

第二章　給料